

岡崎市
読書に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和7年3月

岡 崎 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	調査の主な結果.....	2
	（1）小学生・中学生・高校生.....	2
	（2）保護者.....	5
II	調査結果.....	9
1	小学生・中学生・高校生.....	9
	（1）あなたのいつもの読書などについて.....	9
	（2）学校の図書室の利用について.....	23
	（3）岡崎市の図書館などの利用について.....	29
	（4）読書に対する考え方などについて.....	40
2	保護者.....	43
	（1）あなた自身の読書活動等について.....	43
	（2）お子さんの読書活動について.....	47
	（3）岡崎市の図書館などの利用について.....	57
	（4）子どもの読書活動や読書に対する考え方などについて.....	67
III	調査結果を踏まえた課題等.....	70
	（1）小学生・中学生・高校生.....	70
	（2）保護者.....	72

I 調査の概要

1 調査の目的

このアンケート調査は、平成31年4月に策定した第三次計画の対象期間が令和7年度までであることから、当事者である当市の子ども及び、それに関わる保護者の読書に関する実態を把握し、次期計画の基礎資料とするためのものです。

※本報告書における「読書」とは、紙及び電子媒体で本を読むこととし、漫画・雑誌・教科書や参考書は除きます。

2 調査対象

保育園・こども園児童の保護者（0～5歳児） 小学生の保護者（2・4・6年生）
小学生本人（4・6年生） 中学生本人（2年生） 高校生本人（2年生）

3 調査期間

令和6年11月

4 調査方法

インターネット回答

5 回収状況

	対象人数	有効回答数	有効回答率
園児保護者	781人	290通	37.1%
小学生保護者	794人	429通	54.0%
小学生	536人	436通	81.3%
中学生	738人	636通	86.2%
高校生	1,340人	691通	51.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、集計結果の分析コメントを記載していません。
- ・本調査は、親子関係をクロス集計できるように小学4年生と6年生については、児童とその保護者を対象としています。保護者の回答に対し、小学生本人の回答を組み合わせることにより、親子の意見や行動の相違や共通点を分析します。（例：【小学生保護者 子ども本人は読書が好きか別】）

7 調査の主な結果

(1) 小学生・中学生・高校生

① あなた自身の読書活動等について

ア 本を読むことが好きか（Ⅱ 調査結果 p.9）

本を読むことが好きかについて、小学生では“好き”の割合が51.6%、中学生では49.5%、高校生では59.3%となっており、平成30年度調査と比較すると、小学生、中学生において“好き”の割合が減少しています。

イ この1か月に、本を何冊くらい読んだか（Ⅱ 調査結果 p.10）

この1か月に読んだ本の冊数は、「1～3冊」の割合が小学生（39.4%）、中学生（54.9%）で最も高く、高校生では、「0冊」の割合が51.7%と最も高くなっています。また、「0冊」の割合は、小学生で17.4%、中学生で27.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0冊」の割合が小学生（17.4%）、中学生（27.0%）で10ポイント以上上昇し、高校生は大きな変化はみられません。

ウ 本を読んでいる頻度（Ⅱ 調査結果 p.11）

本を読んでいる頻度は、小学生で「ほぼ毎日」の割合が26.8%、中学生で「週に3～4回」の割合が24.7%、高校生で「年に数回」の割合が35.0%と最も高くなっています。

また、平成30年度調査と比較すると、「年に数回」「読まない」の割合が増加しています。

エ 読書の方法（Ⅱ 調査結果 p.12）

読書の方法は、「紙の本」の割合が小学生（78.4%）、中学生（70.5%）、高校生（77.4%）で最も高くなっています。

オ 読書をするようになったきっかけ（Ⅱ 調査結果 p.13）

読書をするようになったきっかけは、小学生、中学生、高校生すべてで、「家に本がたくさんあったから」の割合が上位となっています。一方、平成30年度調査と比較して「家で本を読んでもらったから」はすべてで減少しています。また、小学生では、「学校の図書室を使うようになったから」の割合も15ポイント以上減少しています。

カ 本を読まない理由（Ⅱ 調査結果 p.14）

小学生、中学生では、「本を読むのはつまらないから（読書よりもおもしろいものがあるから）」、高校生では、「忙しくて時間がないから」の割合が最も高くなっています。中学生では、「身近に読みたい本がないから」の割合が45.0%と他に比べ高くなっています。

キ 家族が本を読んでいるか（Ⅱ 調査結果 p.16）

読書は好きか別に家族が本を読んでいる頻度をみると、各学年で本を好きな子どもほど、その家族も「よく本を読んでいる」「時々本を読んでいる」を合わせた割合が高くなっています。

ク 他の人に本を読んでもらうことが好きか（Ⅱ 調査結果 p. 18）

小学生で「とても好き」「好き」を合わせた割合は32.6%となっており、平成30年度調査と比較すると減少しています。

ケ 読みたい本のジャンル（Ⅱ 調査結果 p. 19）

小学生では、「物語の本」の割合が46.6%と最も高く、次いで「歴史・地理・伝記の本」の割合が21.8%、「図工・スポーツの本」の割合が20.9%となっています。

中学生では、「小説」の割合が59.9%と最も高く、次いで「芸術・スポーツの本」の割合が20.9%、「歴史・地理・伝記の本」の割合が18.2%となっています。

高校生では、「小説」の割合が74.4%と最も高く、次いで「歴史・地理・伝記の本」の割合が19.5%、「芸術・スポーツの本」の割合が16.8%となっています。

コ 知りたいことや分からないことがあった時にどのように調べるか（Ⅱ 調査結果 p. 20）

知りたいことや分からないことがあった時、「インターネットで調べる」の割合が小学生では8割以上、中学生、高校生ではともに9割以上となっています。

サ 1日にスマートフォン（携帯電話）やタブレットを使用する時間（Ⅱ 調査結果 p. 21）

小学生では、「1時間未満」「1～2時間」「2～3時間」の割合が2割を超えています。

中学生では、「4時間以上」「2～3時間」の割合が2割半ばとなっています。

高校生では、「2～3時間」の割合が28.5%と最も高く、次いで「1～2時間」の割合が26.3%となっています。

小学生、中学生では、本を読む冊数が多い人ほど、スマートフォン（携帯電話）やタブレットを使用する時間は2時間未満の人が多くなっています。

② 学校の図書室の利用について

ア 学校の図書室をどれくらい利用しているか（Ⅱ 調査結果 p. 23）

小学生では、週に1回以上利用している割合が27.6%となっており、年齢が上がるにつれその割合は減少しています。

イ 学校の図書室を利用する目的（Ⅱ 調査結果 p. 24）

小学生、中学生では、「本を借りるため」「本を読むため」の割合が高くなっています。

高校生では、「本を借りるため」の割合が最も高くなっていますが、次いで「勉強するため」となっています。

また、小学生では、平成30年度調査と比較すると、「友達や図書室の先生と交流するため」の割合が増加しています。

ウ 学校の図書室で1か月に何冊くらい本を借りているか（Ⅱ 調査結果 p. 25）

小学生では、「1～3冊」の割合が38.8%と最も高くなっています。

中学生、高校生では、「借りない」の割合が最も高くなっています。

エ 学校の図書室を利用しない理由（Ⅱ 調査結果 p. 26）

小学生、中学生では、「読みたい本がないから」の割合が最も高く、次いで「行く時間がないから」となっています。

高校生では、「行く時間がないから」の割合が最も高く、次いで「読みたい本がないから」となっています。

平成30年度調査と比較すると、小学生、中学生、高校生で「使い方がわからないから」の割合が増加しています。

オ 学校の図書室をもっと多くの人に利用してもらうために必要なこと（Ⅱ 調査結果 p. 27）

小学生では、「新しい本を増やすこと」の割合が最も高く、次いで「面白いイベントがあること」「落ち着ける場所であること」となっています。

中学生では、「新しい本を増やすこと」の割合が最も高く、次いで「授業で図書室を使うこと」、「面白いイベントがあること」となっています。平成30年度調査と比較すると、「勉強するスペースを広くすること」の割合が増加しています。

高校生では、「勉強するスペースを広くすること」の割合が最も高く、次いで「落ち着ける場所であること」、「新しい本を増やすこと」の割合となっています。

③ 岡崎市の図書館などの利用について

ア 中央図書館（りばら内）や市民センター図書室など、施設を利用したことがあるか（Ⅱ 調査結果 p. 29）

「利用したことがある」の割合は、小学生で56.9%、中学生で74.8%、高校生で69.2%となっています。

イ 図書館や市民センター図書室などをどれくらい利用しているか（Ⅱ 調査結果 p. 31）

「年に数回」の割合が、小学生で59.1%、中学生で78.7%、高校生で59.6%となっています。

ウ 図書館や市民センター図書室などで1か月に何冊くらい本を借りているか（Ⅱ 調査結果 p. 32）

「借りない」の割合が小学生で42.1%、中学生で72.1%、高校生で84.0%となっています。

エ 図書館や市民センター図書室などを利用する目的（Ⅱ 調査結果 p. 33）

小学生、中学生では、「本を読むため」の割合が最も高くなっています。次いで、小学生では「本やDVD、CDを借りるため」、中学生では「勉強するため」となっています。

高校生では、「勉強するため」の割合が7割を超えています。

オ 中央図書館・額田図書館では、中高生向けの図書を置いてあるコーナー（ティーンズコーナー）の利用状況（Ⅱ 調査結果 p. 34）

中学生、高校生ともに、「知らない」の割合が6割を超えています。

カ ティーンズ向け図書館情報紙「図書缶」を読んでいるか（Ⅱ 調査結果 p. 35）

「知らない」の割合が中学生で49.4%、高校生で36.1%となっています。

キ 図書館や市民センター図書室などを利用したことがない理由（Ⅱ 調査結果 p.36）

小学生、中学生では、「本を読まないから」の割合が最も高くなっています。中学生では次いで「近くにないから」となっています。

高校生では、「岡崎市以外の図書館などを使っているから」の割合が最も高く、次いで「近くにないから」となっています。

ク 図書館や市民センター図書室などをもっと多くの小学生、中学生、高校生に利用してもらうために必要なこと（Ⅱ 調査結果 p.38）

小学生では、「まんがや雑誌を置くこと」の割合が最も高く、次いで「年齢に応じた本を増やすこと」「落ち着ける場所であること」となっています。

中学生では、「まんがや雑誌を置くこと」の割合が最も高く、次いで「勉強できる場所を増やすこと」「友達と話したり、グループ学習ができる場所があること」となっています。

高校生では、「勉強できる場所を増やすこと」の割合が最も高く、次いで「友達と話したり、グループ学習ができる場所があること」「まんがや雑誌を置くこと」の割合が31.0%となっています。

④ 読書に対する考え方などについて

ア 紙の本と電子の本について（Ⅱ 調査結果 p.40）

小学生では、「物語や小説が読みやすい」、中学生では、「読み返しやすい」、高校生では、「文字を目で追いやすい」で「紙の本」の割合が高くなっており、小学生では、「文字が読みやすい」、中学生、高校生では、「情報量が豊富」で「電子書籍」の割合が高くなっています。

イ もっと読書をするために必要なこと（Ⅱ 調査結果 p.41）

小学生では、「学校の図書室の本を増やすこと」の割合が最も高く、次いで「学校の図書室をもっと使いやすくすること」「面白いイベントが行われること」となっています。

中学生では、「学校の授業で読書をする時間をとること」の割合が最も高く、次いで「面白いイベントが行われること」「学校の図書室の本を増やすこと」となっています。

高校生では、「学校の授業で読書をする時間をとること」の割合が最も高く、次いで「学校の図書室をもっと使いやすくすること」「家の近くに図書館などをもっと増やすこと」となっています。

（2）保護者

① あなた自身の読書活動等について

ア 本を読むことが好きか（Ⅱ 調査結果 p.43）

「とても好き」と「好き」を合わせた割合は園児保護者で53.1%、小学生保護者で52.7%となっています。

子ども本人で読書があまり好きでない、嫌いと答えた保護者においても、「あまり好きでない」と「嫌い」を合わせた割合が高くなっています。

イ 直近1か月に、本を何冊くらい読んだか（Ⅱ 調査結果 p. 44）

「0冊」の割合は、園児保護者で43.1%、小学生保護者で41.7%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「0冊」の割合が減少しています。

ウ 本を読んでいる頻度（Ⅱ 調査結果 p. 44）

週1回以上読書する割合は園児保護者で34.2%、小学生保護者で36.1%となっています。
平成30年度調査と比較すると、園児保護者で週1回以上読書する割合が10ポイント以上増加しています。

エ 読書の方法（Ⅱ 調査結果 p. 46）

「紙の本」の割合は、園児保護者で69.2%、小学生保護者で68.0%と最も高くなっています。
また、紙の本との併用を合わせ電子書籍を利用している割合は、園児保護者で30.8%、小学生保護者で32.0%となっています。

オ 1日にスマートフォン（携帯電話）やタブレットを使用する時間（Ⅱ 調査結果 p. 46）

園児保護者では、「1～2時間」の割合が31.4%、小学生保護者では、「2～3時間」の割合が32.6%と最も高くなっています。

② お子さんの読書活動について

ア 子どもは本が好きだと思うか（Ⅱ 調査結果 p. 47）

「比較的好きだと思う」と「とても好きだと思う」を合わせた割合は、園児保護者で87.2%、小学生保護者で51.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、小学生保護者で「比較的好きだと思う」と「とても好きだと思う」を合わせた割合が10ポイント以上減少しています。

イ 子どもは家庭でどの程度読書をしているか（Ⅱ 調査結果 p. 49）

「ほぼ毎日だと思う」と「週に3～4回程度だと思う」を合わせた割合は、園児保護者で65.9%、小学生保護者で27.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎日だと思う」と「週に3～4回程度だと思う」を合わせた割合は、園児保護者で増加、小学生保護者で減少しています。

ウ 子どもの読書の状況についての考え（Ⅱ 調査結果 p. 50）

園児保護者では、「丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい」の割合が55.2%、小学生保護者では、「もう少し読書をすべきだと思う」の割合が65.7%と最も高くなっています。

エ 家庭で、子どもに読み聞かせをしたり、一緒に読書をしたりすることはあるか

（Ⅱ 調査結果 p. 52）

園児保護者では、「ほぼ毎日行っている」の割合が33.1%、小学生保護者では、「行っていない」の割合が49.4%と最も高くなっています。

オ 本を与える際、主に、どこでその本を入手しているか（Ⅱ 調査結果 p. 53）

園児保護者では、「購入する」の割合が47.2%と最も高く、次いで「図書館などの市の施設で借りる」の割合が32.4%、「保育園やこども園で借りる」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「図書館などの市の施設で借りる」の割合が増加しています。

小学生保護者では、「購入する」の割合が58.5%と最も高く、次いで「図書館などの市の施設で借りる」の割合が37.5%となっています。

エ 子ども向けの本の所有状況（Ⅱ 調査結果 p. 54）

園児保護者では、「50冊以上」の割合が27.9%と最も高く、次いで「30～39冊」の割合が20.0%、「20～29冊」の割合が18.6%となっています。

小学生保護者では、「50冊以上」の割合が26.8%と最も高く、次いで「10～19冊」の割合が21.2%、「1～9冊」の割合が15.4%となっています。

園児保護者、小学生保護者ともに、子どもが読書をほぼ毎日していると思うで「50冊以上」の割合が高くなっています。

③ 岡崎市の図書館などの利用について

ア 中央図書館（りばら内）、市民センター図書室などの施設の利用状況（Ⅱ 調査結果 p. 57）

「利用したことがある」の割合は、園児保護者で79.0%、小学生保護者で87.4%となっています。

イ 図書館などをどの程度利用しているか（Ⅱ 調査結果 p. 60）

園児保護者では、「年に数回」の割合が51.1%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が40.8%となっています。

小学生保護者では、「年に数回」の割合が69.7%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が23.1%となっています。

ウ 図書館などで1か月に何冊程度本を借りるか（Ⅱ 調査結果 p. 61）

「借りない」を除くと、園児保護者では「10冊以上」の割合が24.9%、小学生保護者では「1～3冊」の割合が22.3%と高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「借りない」の割合が小学生保護者で増加しています。

エ 図書館などを利用する目的（Ⅱ 調査結果 p. 62）

園児保護者では、「図書館資料の貸出のため」の割合が55.8%と最も高く、次いで「本、新聞、雑誌を読むため」「調べ物をするため」となっています。

小学生保護者では、「図書館資料の貸出のため」の割合が46.3%と最も高く、次いで「調べ物をするため」「本、新聞、雑誌を読むため」となっています。

小学生保護者では、園児保護者に比べ「調べ物をするため」の割合が高く、平成30年度調査と比べ「図書館資料の貸出のため」の割合が10ポイント以上減少しています。

オ 図書館などを利用したことがない理由（Ⅱ 調査結果 p. 63）

園児保護者では、「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が38.6%と最も高く、次いで「近くにないから」「本は買って読むから」となっています。

小学生保護者では、「本は買って読むから」「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が43.4%と最も高く、次いで「本を読まないから」となっています。

カ 図書館に関する情報の入手手段（Ⅱ 調査結果 p. 64）

「市政だより」の割合が、園児保護者、小学生保護者ともに41.7%と最も高く、次いで「ホームページやSNS」「館内掲示」となっています。

キ おはなし会など、聞く側として参加したことがある場所（Ⅱ 調査結果 p. 65）

「中央図書館（りぶら内）」の割合が園児保護者で46.6%、小学生保護者で44.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」の割合が増加している一方で、「健診時の読み聞かせ」「保育園や幼稚園」の割合が減少しています。

ク 読み聞かせボランティアのための養成講座の認知度（Ⅱ 調査結果 p. 66）

「知らなかった」の割合が、園児保護者で73.4%、小学生保護者で68.1%と最も高くなっていますが、平成30年度調査と比較すると、「知らなかった」の割合は減少しています。

④ 子どもの読書活動や読書に対する考え方などについて

ア 紙の本と電子書籍について（Ⅱ 調査結果 p. 67）

園児保護者、小学生保護者ともに、紙の本については「内容を理解しやすい」「文字を目で追いやすい」「読み返しやすい」「子どもに与えたい」の割合が7割を超えています。

また、小学生保護者に比べ園児保護者で「子どもに与えたい」の割合が高くなっています。

イ 子どもの読書活動を活発化させるために、学校等、地域、家庭で必要な取組（Ⅱ 調査結果 p. 68）

園児保護者では、「読み聞かせをする」の割合が74.1%と最も高く、次いで「家族みんなで読書をしたり、読書の会話をしたりする」の割合が45.2%、「保育園・幼稚園、学校の先生がおすすめの本を子どもに紹介する」の割合が33.4%となっています。

小学生保護者では、「学校の授業に読書を取り入れる」の割合が41.7%と最も高く、次いで「家族みんなで読書をしたり、読書の会話をしたりする」の割合が40.6%、「読み聞かせをする」の割合が36.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保護者が、おすすめの本を子どもに紹介する」の割合が減少しています。

Ⅱ 調査結果

1 小学生・中学生・高校生

(1) あなたのいつもの読書などについて

1 あなたは、本を読むことが好きですか。(1つを選んでください)

【小学生：問2 中学生：問2 高校生：問2】

小学生では、「とても好き」と「好き」を合わせた“好き”の割合が51.6%、「あまり好きではない」と「きらい」を合わせた“きらい”の割合が25.3%となっています。

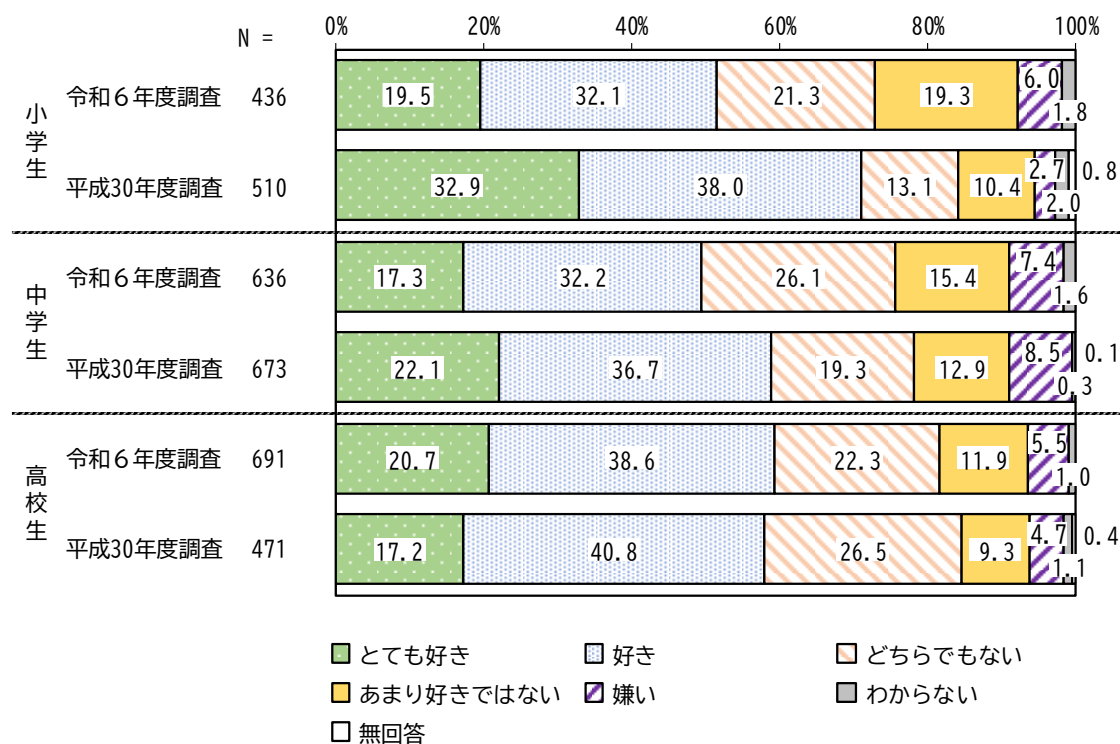
平成30年度調査と比較すると、“きらい”の割合が増加しています。一方、“好き”の割合が減少しています。

中学生では、“好き”の割合が49.5%、“きらい”の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、“好き”の割合が減少しています。

高校生では、“好き”の割合が59.3%、“きらい”の割合が17.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2 あなたは、この1か月に、本を何冊くらい読みましたか。
 (学校の読書の時間で読んだ本も含めます)(1つを選んでください)
 【小学生：問3 中学生：問3 高校生：問3】

小学生では、「1～3冊」の割合が39.4%と最も高く、次いで「0冊」の割合が17.4%、「10冊以上」の割合が17.0%となっています。

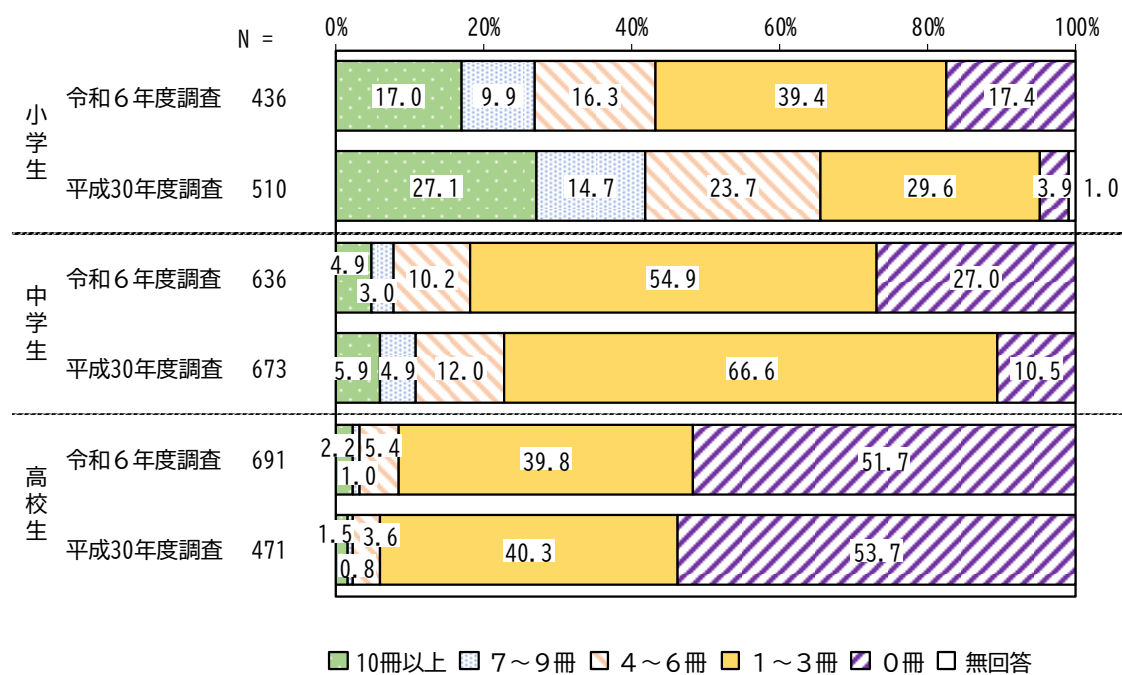
平成30年度調査と比較すると、「0冊」の割合が13.5ポイントと大きく増加しています。一方、「10冊以上」「4～6冊」の割合が減少しています。

中学生では、「1～3冊」の割合が54.9%と最も高く、次いで「0冊」の割合が27.0%、「4～6冊」の割合が10.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0冊」の割合が16.5ポイントと大きく増加しています。一方、「1～3冊」の割合が減少しています。

高校生では、「0冊」の割合が51.7%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が39.8%、「4～6冊」の割合が5.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3 あなたは、どれくらい本を読んでいますか。（学校の読書の時間で読んだ本も含めます）
（1つを選んでください）【小学生：問4 中学生：問4 高校生：問4】

小学生では、「ほぼ毎日」の割合が26.8%と最も高く、次いで「週に3～4回」の割合が25.7%、「月に数回」の割合が15.8%となっています。

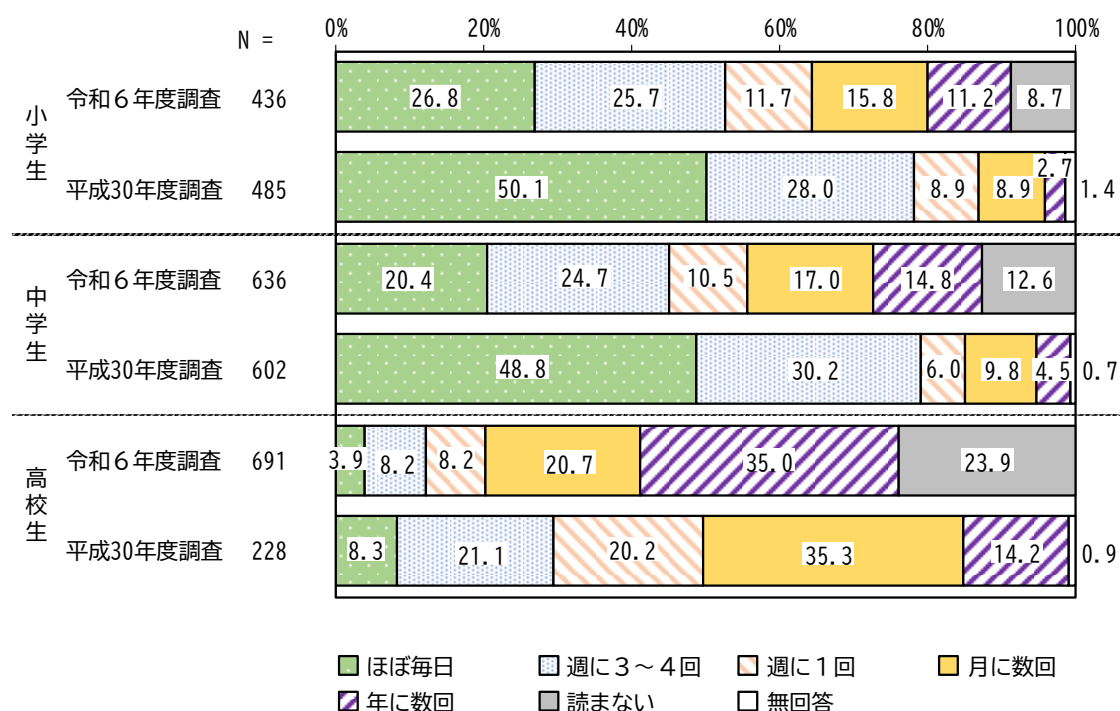
平成30年度調査と比較すると、「年に数回」「読まない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」の割合が減少しています。

中学生では、「週に3～4回」の割合が24.7%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が20.4%、「月に数回」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「年に数回」「読まない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」「週に3～4回」の割合が減少しています。

高校生では、「年に数回」の割合が35.0%と最も高く、次いで「読まない」の割合が23.9%、「月に数回」の割合が20.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「年に数回」「読まない」の割合が増加しています。一方、「週に3～4回」「週に1回」「月に数回」の割合が減少しています。



『問4で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1回」「月に数回」「年に数回」と答えたかたにお尋ねします』

4 あなたは、どのような方法で読書しますか。（1つを選んでください）

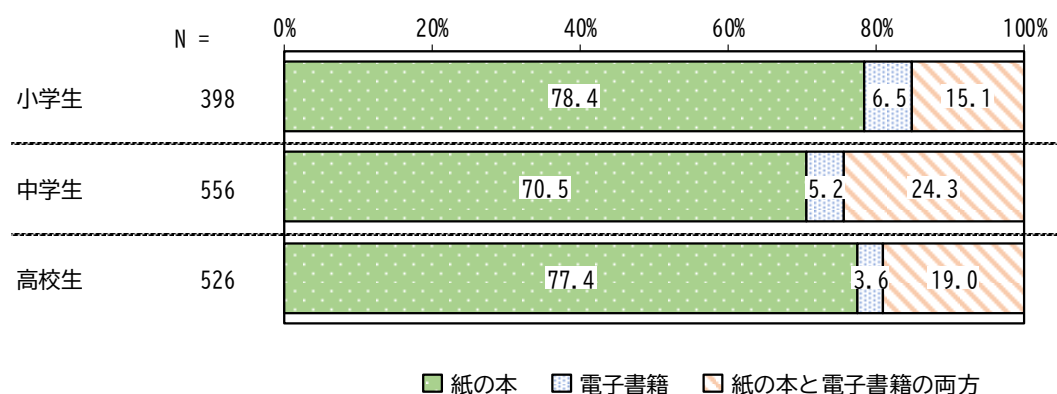
【小学生：問5 中学生：問5 高校生：問5】

※今年度調査からの新規設問

小学生では、「紙の本」の割合が78.4%と最も高く、次いで「紙の本と電子書籍の両方」の割合が15.1%、「電子書籍」の割合が6.5%となっています。

中学生では、「紙の本」の割合が70.5%と最も高く、次いで「紙の本と電子書籍の両方」の割合が24.3%、「電子書籍」の割合が5.2%となっています。

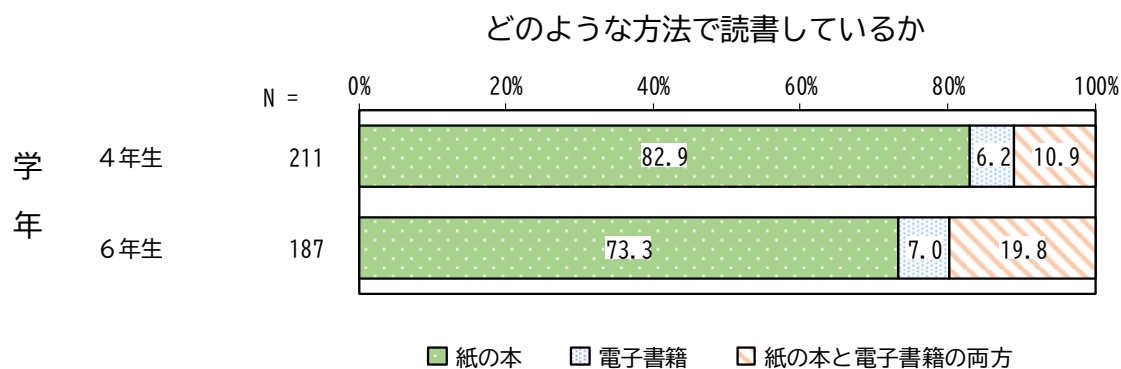
高校生では、「紙の本」の割合が77.4%と最も高く、次いで「紙の本と電子書籍の両方」の割合が19.0%、「電子書籍」の割合が3.6%となっています。



※「紙の本」、「電子書籍」、「紙の本と電子書籍の両方」の選択肢は、小学生調査では「紙の本を読んでいる」、「スマートフォン（けいたい電話）やタブレットで本を読んでいる」、「紙の本を読んだり、スマートフォン（けいたい電話）やタブレットで読んだりしている」となっています。

【小学生 学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。



『問4で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1回」「月に数回」「年に数回」と答えたかたにお尋ねします』

5 あなたが、読書をするようになったきっかけは何ですか。

(あてはまるものすべてを選んでください)【小学生：問6 中学生：問6 高校生：問6】

小学生では、「家に本がたくさんあったから」の割合が29.9%と最も高く、次いで「特にきっかけはない」の割合が23.4%、「学校の図書室を使うようになったから」の割合が21.9%となっています。

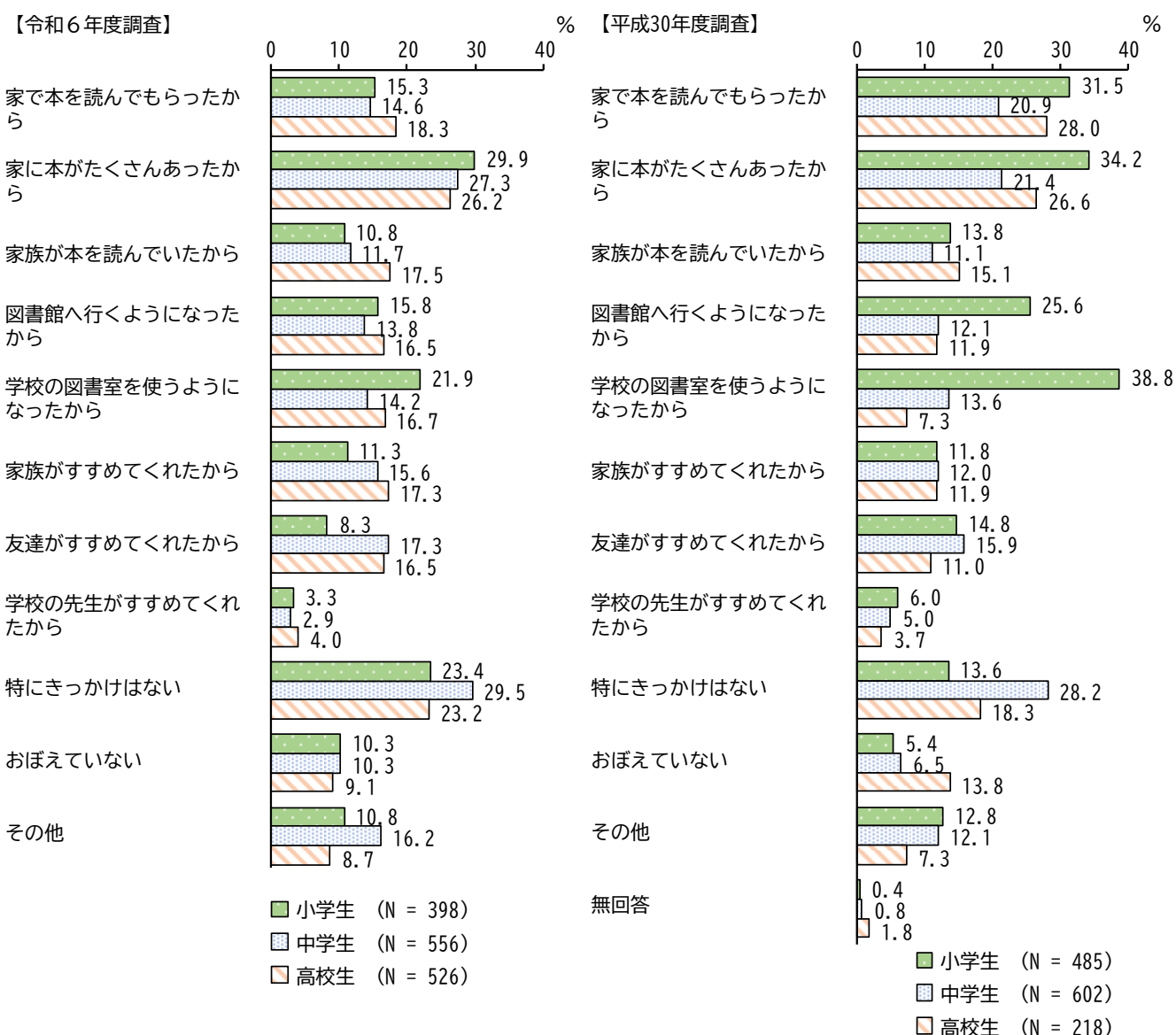
平成30年度調査と比較すると、「特にきっかけはない」の割合が増加しています。一方、「家で本を読んでもらったから」「図書館へ行くようになったから」「学校の図書室を使うようになったから」「友達がすすめてくれたから」の割合が減少しています。

中学生では、「特にきっかけはない」の割合が29.5%と最も高く、次いで「家に本がたくさんあったから」の割合が27.3%、「友達がすすめてくれたから」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「家に本がたくさんあったから」の割合が増加しています。一方、「家で本を読んでもらったから」の割合が減少しています。

高校生では、「家に本がたくさんあったから」の割合が26.2%と最も高く、次いで「特にきっかけはない」の割合が23.2%、「家で本を読んでもらったから」の割合が18.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「学校の図書室を使うようになったから」「家族がすすめてくれたから」「友達がすすめてくれたから」の割合が増加しています。一方、「家で本を読んでもらったから」の割合が減少しています。



『問4で「読まない」と答えたかたにお尋ねします』

6 あなたが、本を読まない理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選んでください)
【小学生：問7 中学生：問7 高校生：問7】

小学生では、「本を読むのはつまらないから（読書よりも面白いものがあるから）」の割合が36.8%と最も高く、次いで「本を読むのは面倒だから」の割合が26.3%、「身近に読みたい本がないから」、「どのような本を読めばよいのかわからないから」の割合が15.8%となっています。

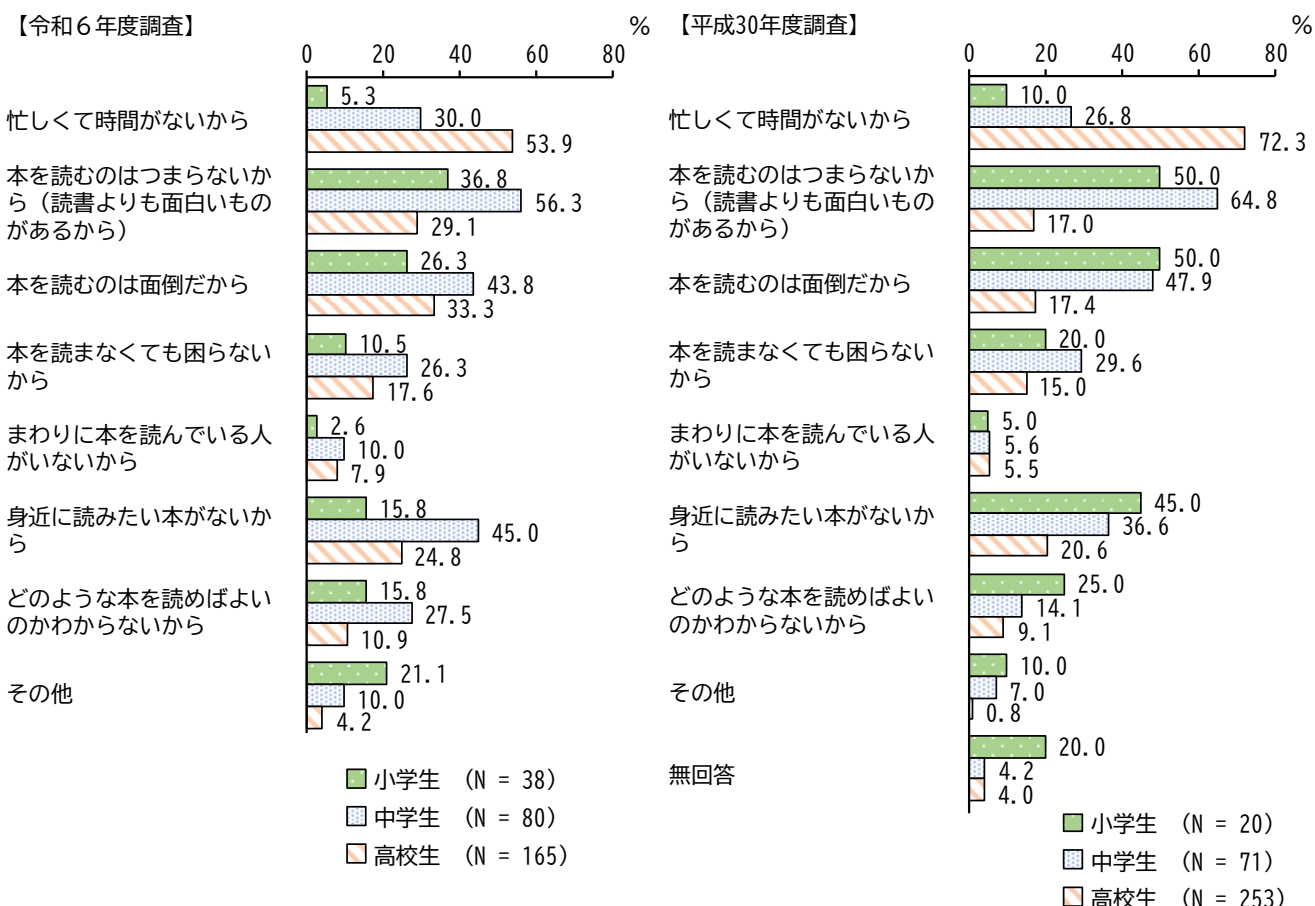
平成30年度調査と比較すると、「その他」の割合が増加しています。一方、「本を読むのはつまらないから（読書よりも面白いものがあるから）」「本を読むのは面倒だから」「本を読まなくても困らないから」「身近に読みたい本がないから」「どのような本を読めばよいのかわからないから」の割合が減少しています。

中学生では、「本を読むのはつまらないから（読書よりも面白いものがあるから）」の割合が56.3%と最も高く、次いで「身近に読みたい本がないから」の割合が45.0%、「本を読むのは面倒だから」の割合が43.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「身近に読みたい本がないから」「どのような本を読めばよいのかわからないから」の割合が増加しています。一方、「本を読むのはつまらないから（読書よりも面白いものがあるから）」の割合が減少しています。

高校生では、「忙しくて時間がないから」の割合が53.9%と最も高く、次いで「本を読むのは面倒だから」の割合が33.3%、「本を読むのはつまらないから（読書よりも面白いものがあるから）」の割合が29.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「本を読むのはつまらないから（読書よりも面白いものがあるから）」「本を読むのは面倒だから」の割合が増加しています。一方、「忙しくて時間がないから」の割合が減少しています。



【小学生 学年別】

学年別にみると、4年生で「どのような本を読めばよいかわからないから」の割合が高くなっています。

本を読まない理由

単位：％

学
年

区分	回答者数(件)	忙しくて時間がないから	本を読むのはつまらないから(読書よりも面白いものがあるから)	本を読むのは面倒だから	本を読まなくても困らないから	まわりに本を読んでいる人がいないから	身近に読みたい本がないから	どのような本を読めばよいかわからないから	その他
全 体	38	5.3	36.8	26.3	10.5	2.6	15.8	15.8	21.1
4年生	13	—	23.1	23.1	—	—	15.4	23.1	15.4
6年生	25	8.0	44.0	28.0	16.0	4.0	16.0	12.0	24.0

7 あなたの家では、家族が本を読んでいますか。（1つを選んでください）

【小学生：問8 中学生：問8 高校生：問8】

小学生では、「時々本を読んでいる」の割合が31.0%と最も高く、次いで「あまり本を読んでいる」の割合が23.4%、「よく本を読んでいる」の割合が21.1%となっています。

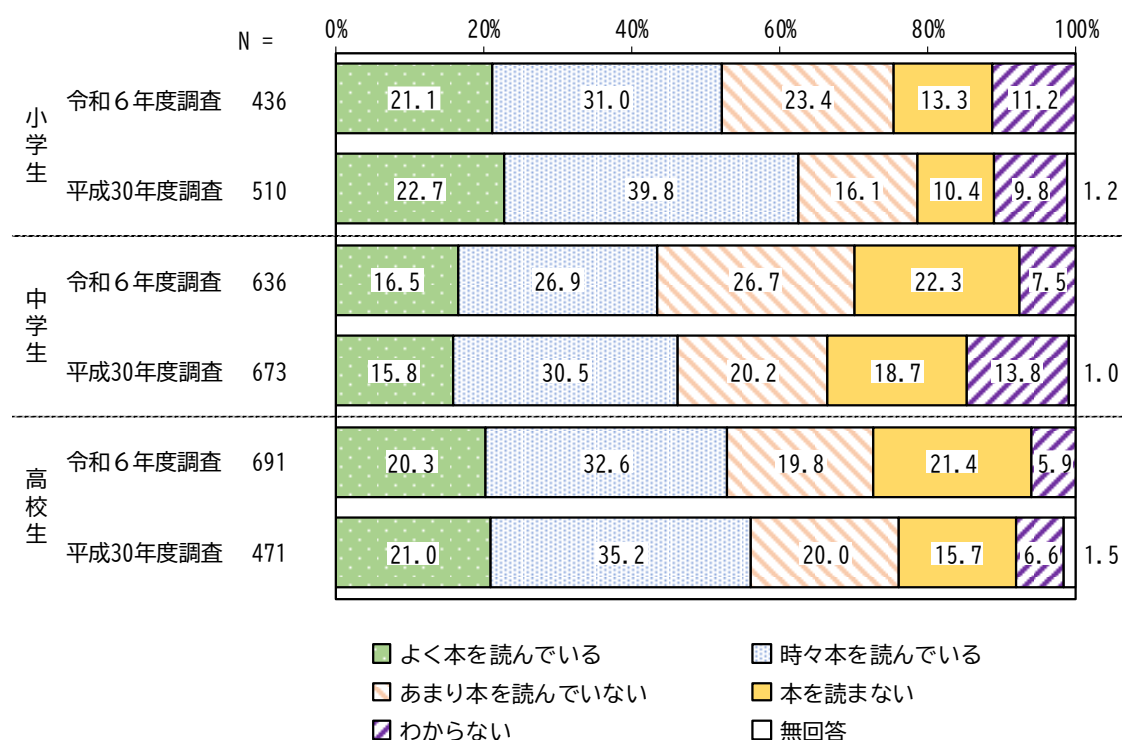
平成30年度調査と比較すると、「あまり本を読んでいる」の割合が増加しています。一方、「時々本を読んでいる」の割合が減少しています。

中学生では、「時々本を読んでいる」の割合が26.9%と最も高く、次いで「あまり本を読んでいる」の割合が26.7%、「本を読まない」の割合が22.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あまり本を読んでいる」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

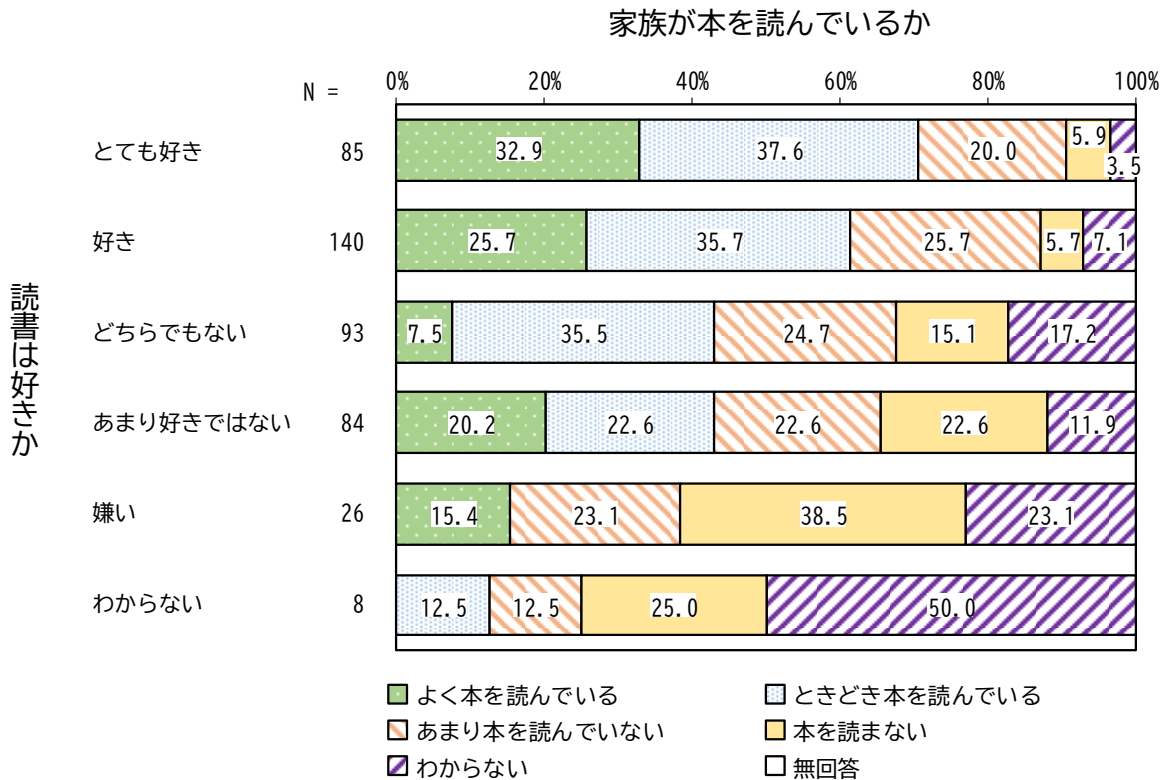
高校生では、「時々本を読んでいる」の割合が32.6%と最も高く、次いで「本を読まない」の割合が21.4%、「よく本を読んでいる」の割合が20.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「本を読まない」の割合が増加しています。



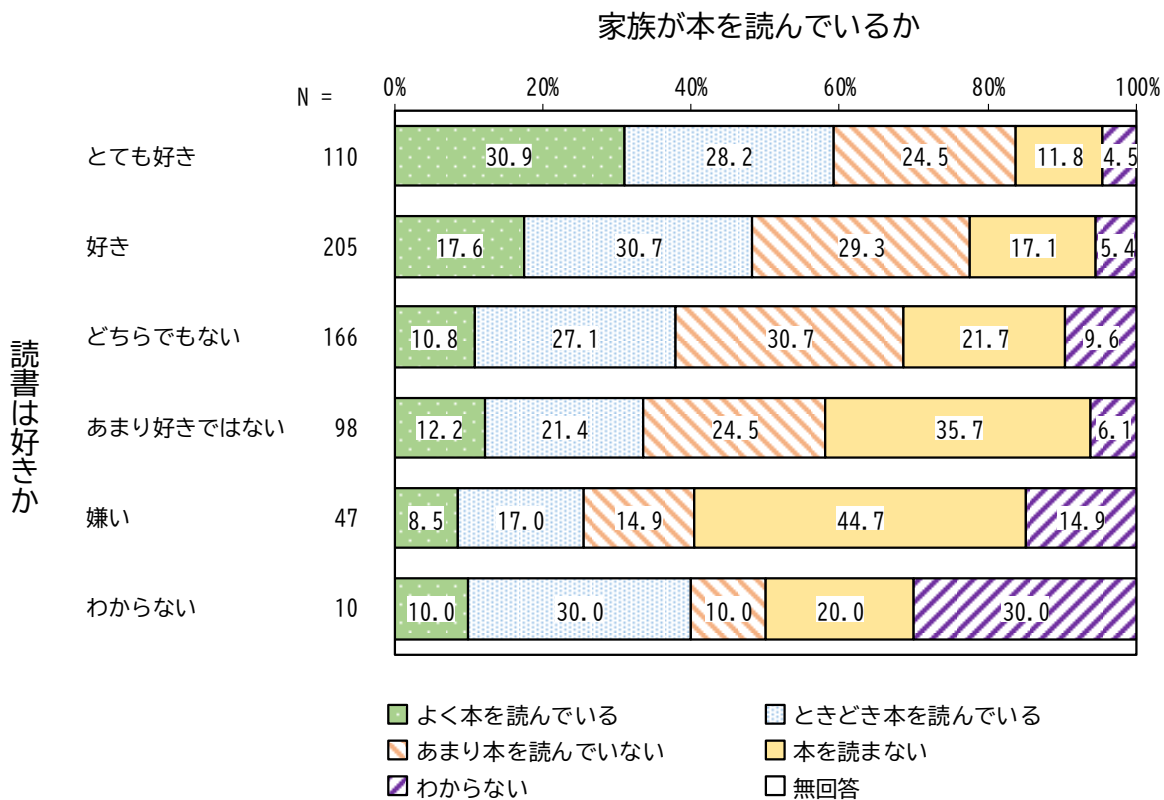
【小学生 読書は好きか別】

読書は好きか別にみると、嫌いで「本を読まない」の割合が高くなっています。



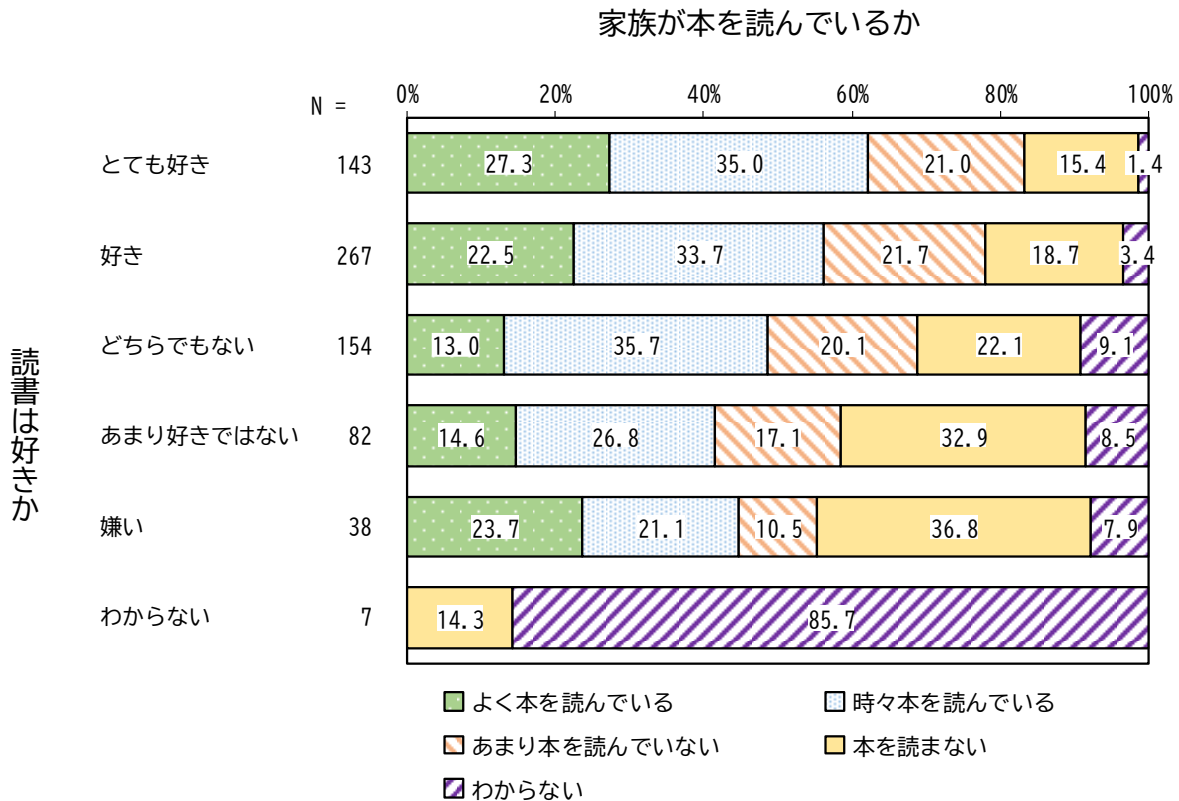
【中学生 読書は好きか別】

読書は好きか別にみると、嫌いで「本を読まない」の割合が高くなっています。



【高校生 読書は好きか別】

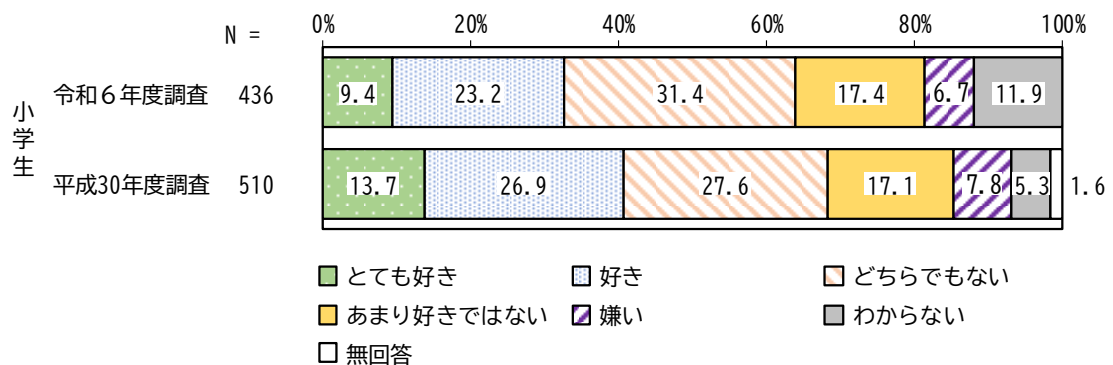
読書は好きか別にみると、嫌いで「本を読まない」の割合が高くなっています。



8 あなたは、他の人に本を読んでもらうことが好きですか。(1つを選んでください) 【小学生：問9】

小学生では、「どちらでもない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「好き」の割合が23.2%、「あまり好きではない」の割合が17.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



9 あなたが、読みたい本のジャンルは何ですか。(あてはまるものすべてを選んでください)

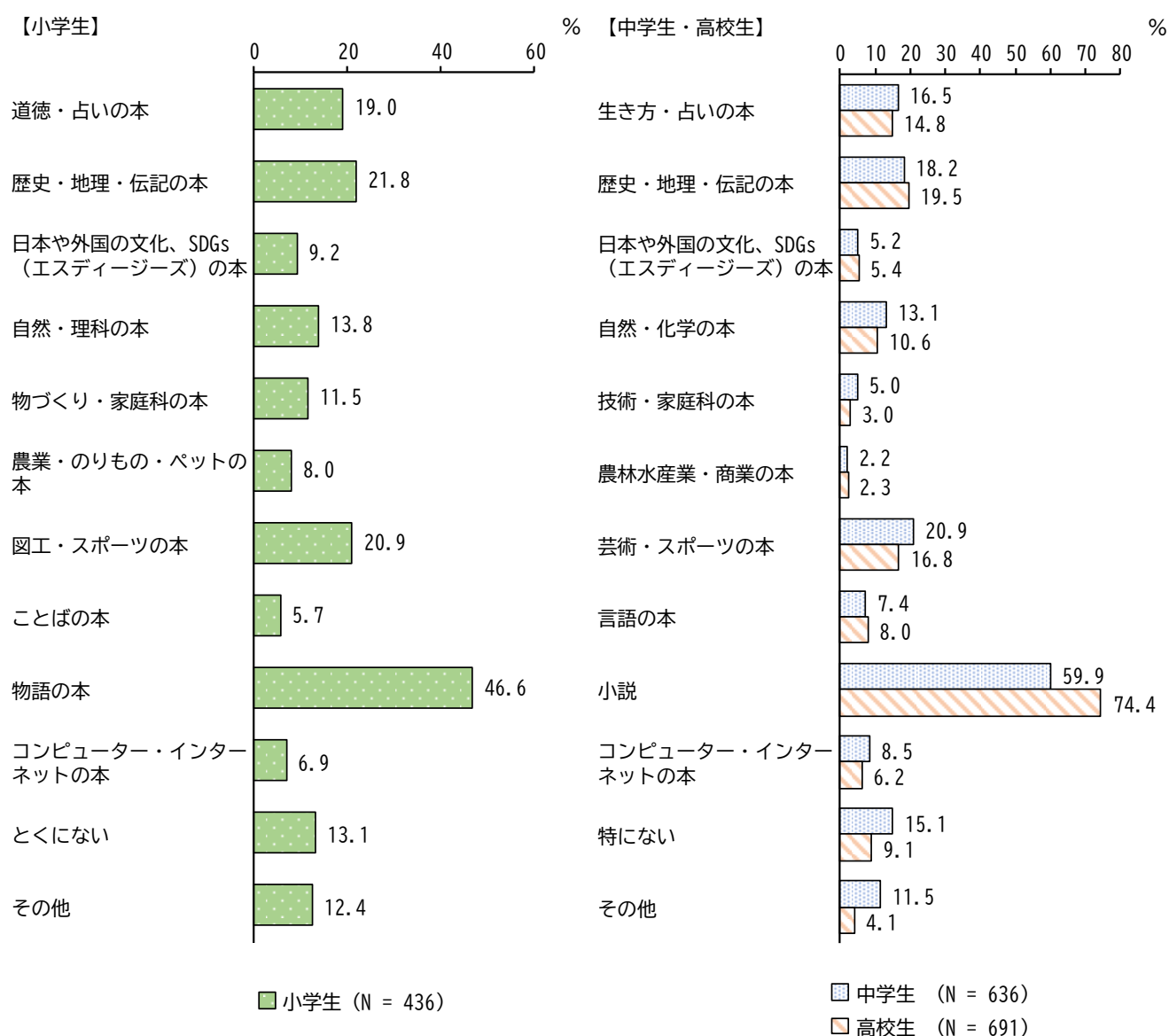
【小学生：問10 中学生：問9 高校生：問9】

※今年度調査からの新規設問

小学生では、「物語の本」の割合が46.6%と最も高く、次いで「歴史・地理・伝記の本」の割合が21.8%、「図工・スポーツの本」の割合が20.9%となっています。

中学生では、「小説」の割合が59.9%と最も高く、次いで「芸術・スポーツの本」の割合が20.9%、「歴史・地理・伝記の本」の割合が18.2%となっています。

高校生では、「小説」の割合が74.4%と最も高く、次いで「歴史・地理・伝記の本」の割合が19.5%、「芸術・スポーツの本」の割合が16.8%となっています。

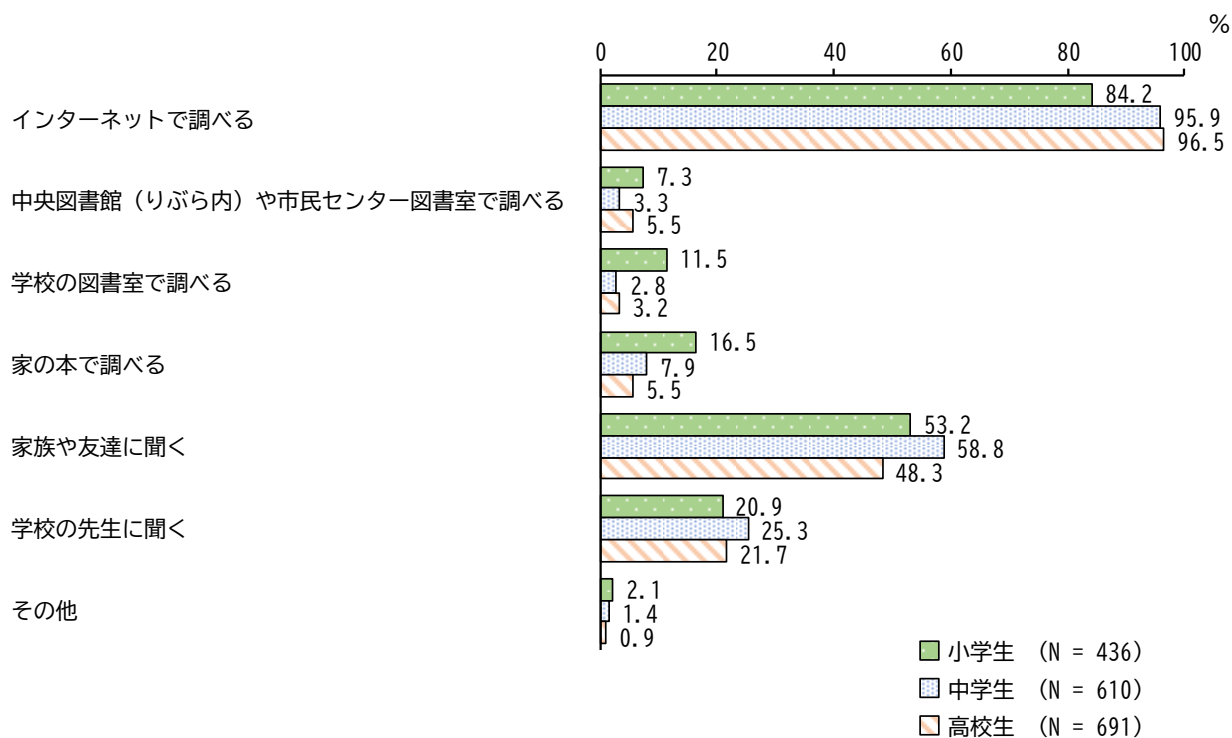


10 あなたは、知りたいことや分からないことがあった時、どのように調べますか。
 (3つまで選んでください)【小学生：問11 中学生：問10 高校生：問10】
 ※今年度調査からの新規設問

小学生では、「インターネットで調べる」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「家族や友達に聞く」の割合が 53.2%、「学校の先生に聞く」の割合が 20.9%となっています。

中学生では、「インターネットで調べる」の割合が 95.9%と最も高く、次いで「家族や友達に聞く」の割合が 58.8%、「学校の先生に聞く」の割合が 25.3%となっています。

高校生では、「インターネットで調べる」の割合が 96.5%と最も高く、次いで「家族や友達に聞く」の割合が 48.3%、「学校の先生に聞く」の割合が 21.7%となっています。

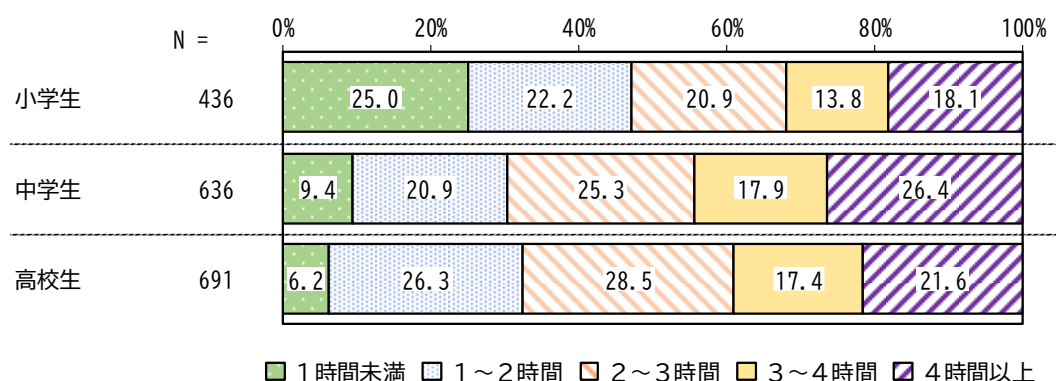


11 あなたは、1日にスマートフォン（携帯電話）やタブレットを何時間使いますか。自分用をお持ちでないかたは、家族などから借りて使う時間をお答えください。
（1つを選んでください）【小学生：問12 中学生：問11 高校生：問11】
※今年度調査からの新規設問

小学生では、「1時間未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「1～2時間」の割合が22.2%、「2～3時間」の割合が20.9%となっています。

中学生では、「4時間以上」の割合が26.4%と最も高く、次いで「2～3時間」の割合が25.3%、「1～2時間」の割合が20.9%となっています。

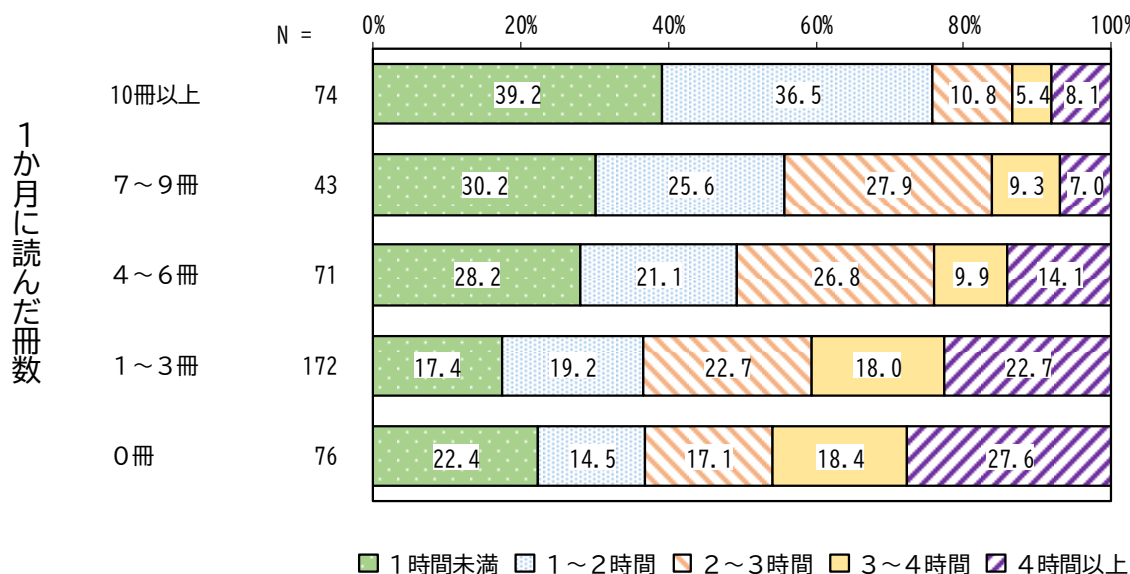
高校生では、「2～3時間」の割合が28.5%と最も高く、次いで「1～2時間」の割合が26.3%、「4時間以上」の割合が21.6%となっています。



【小学生 1か月に読んだ冊数別】

1か月に読んだ冊数別にみると、10冊以上で「1～2時間」の割合が高くなっています。

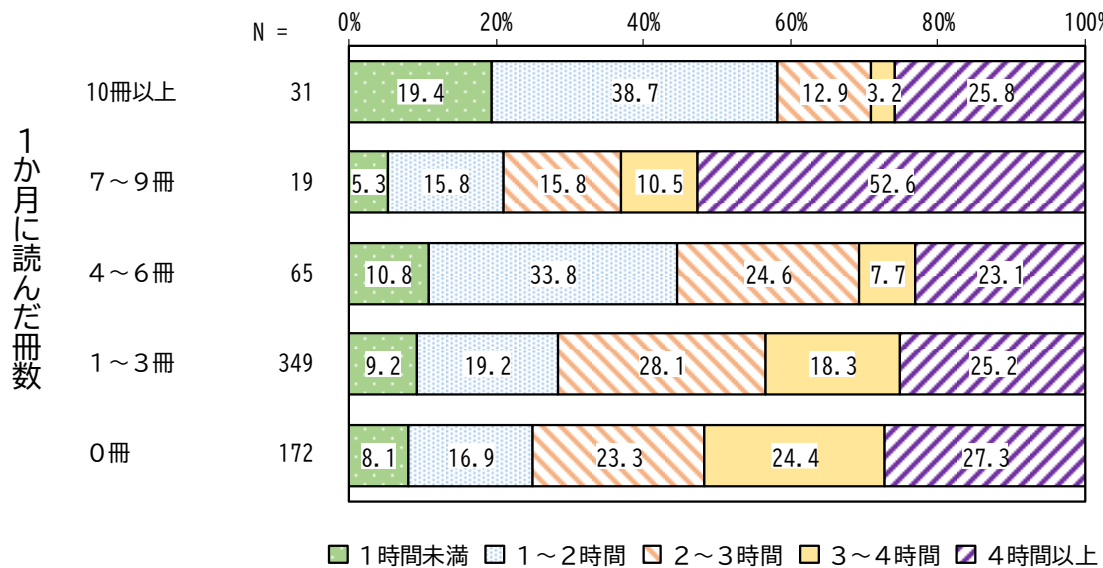
1日あたりのスマートフォン（携帯電話）やタブレットの使用時間



【中学生 1か月に読んだ冊数別】

1か月に読んだ冊数別にみると、7～9冊で「4時間以上」の割合が高くなっています。

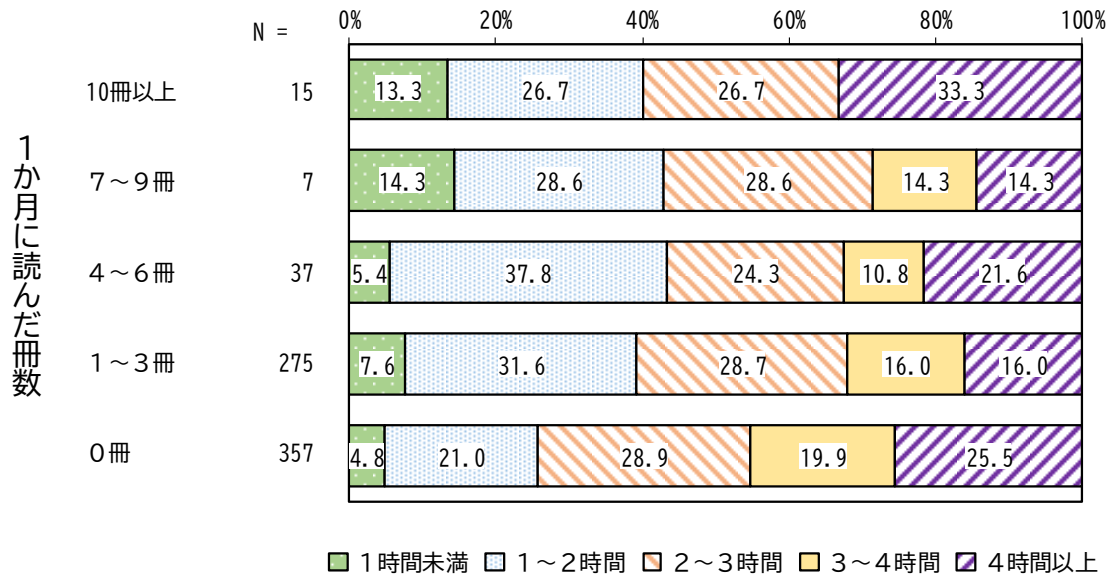
1日あたりのスマートフォン（携帯電話）やタブレットの使用時間



【高校生 1か月に読んだ冊数別】

1か月に読んだ冊数別にみると、10冊以上で「4時間以上」の割合が高くなっています。

1日あたりのスマートフォン（携帯電話）やタブレットの使用時間



(2) 学校の図書室の利用について

12 あなたは、学校の図書室をどれくらい利用しますか。(1つを選んでください)

【小学生：問13 中学生：問12 高校生：問12】

小学生では、「ほとんど利用しない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が20.6%、「月に数回」の割合が18.6%となっています。

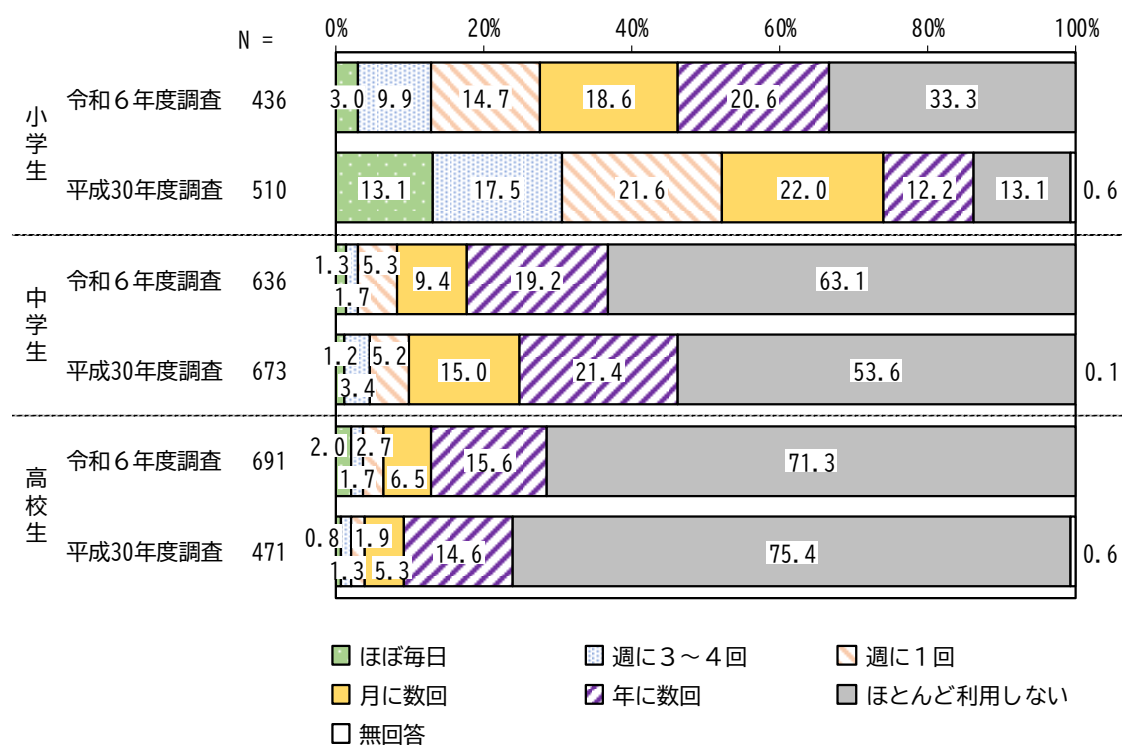
平成30年度調査と比較すると、「年に数回」「ほとんど利用しない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1回」の割合が減少しています。

中学生では、「ほとんど利用しない」の割合が63.1%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が19.2%、「月に数回」の割合が9.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほとんど利用しない」の割合が増加しています。一方、「月に数回」の割合が減少しています。

高校生では、「ほとんど利用しない」の割合が71.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が15.6%、「月に数回」の割合が6.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



『問 13（小学生）、12（中学生・高校生）で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1回」「月に数回」「年に数回」と答えたかたにお尋ねします』

13 あなたが、学校の図書室を利用する目的は何ですか。

（あてはまるものすべてを選んでください）【小学生：問 14 中学生：問 13 高校生：問 13】

小学生では、「本を借りるため」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「本を読むため」の割合が 48.1%、「落ち着いて過ごすため」の割合が 22.3%となっています。

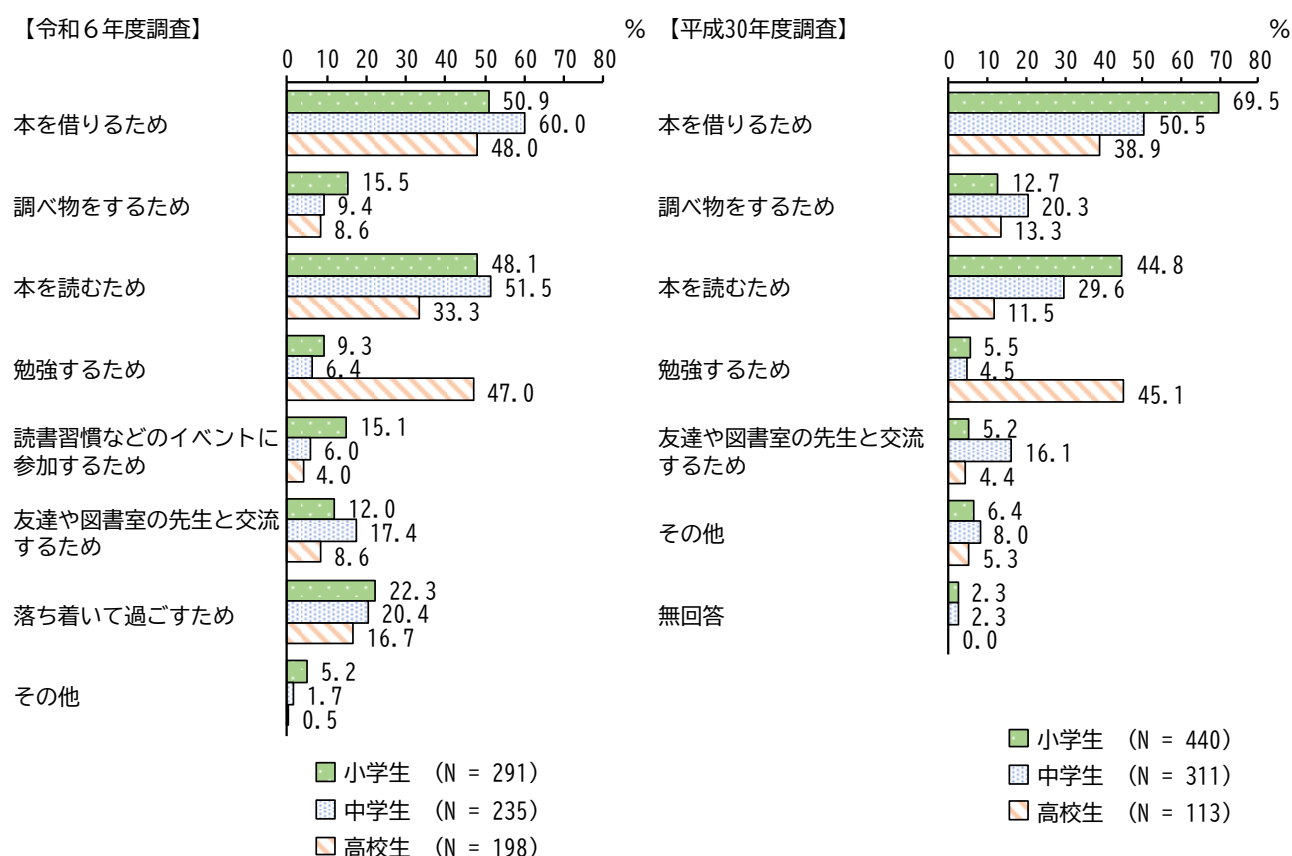
平成 30 年度調査と比較すると、「友達や図書室の先生と交流するため」の割合が増加しています。一方、「本を借りるため」の割合が減少しています。

中学生では、「本を借りるため」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「本を読むため」の割合が 51.5%、「落ち着いて過ごすため」の割合が 20.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「本を借りるため」「本を読むため」の割合が増加しています。一方、「調べ物をするため」の割合が減少しています。

高校生では、「本を借りるため」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「勉強するため」の割合が 47.0%、「本を読むため」の割合が 33.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「本を借りるため」「本を読むため」の割合が増加しています。



※前回調査では、「本を借りるため」の選択肢は「個人で読む本を借りるため」、「調べ物をするため」の選択肢は「授業の宿題などのための調べ物をするため」、「友達や図書室の先生と交流するため」の選択肢は小学生調査では「本のさがし方や調べものを手伝ってくれる学校図書館担当の人や、友だちと交流するため」、中学生調査・高校生調査では「友人や司書と交流するため」となっていました。

※前回調査では、「読書習慣などのイベントに参加するため」、「落ち着いて過ごすため」の選択肢はありませんでした。

『問 13（小学生）、12（中学生・高校生）で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1回」「月に数回」「年に数回」と答えたかたにお尋ねします』

14 あなたは、学校の図書室で1か月に何冊くらい本を借りていますか。
（1つを選んでください）【小学生：問 15 中学生：問 14 高校生：問 14】

小学生では、「1～3冊」の割合が38.8%と最も高く、次いで「借りない」の割合が36.8%、「4～6冊」の割合が10.3%となっています。

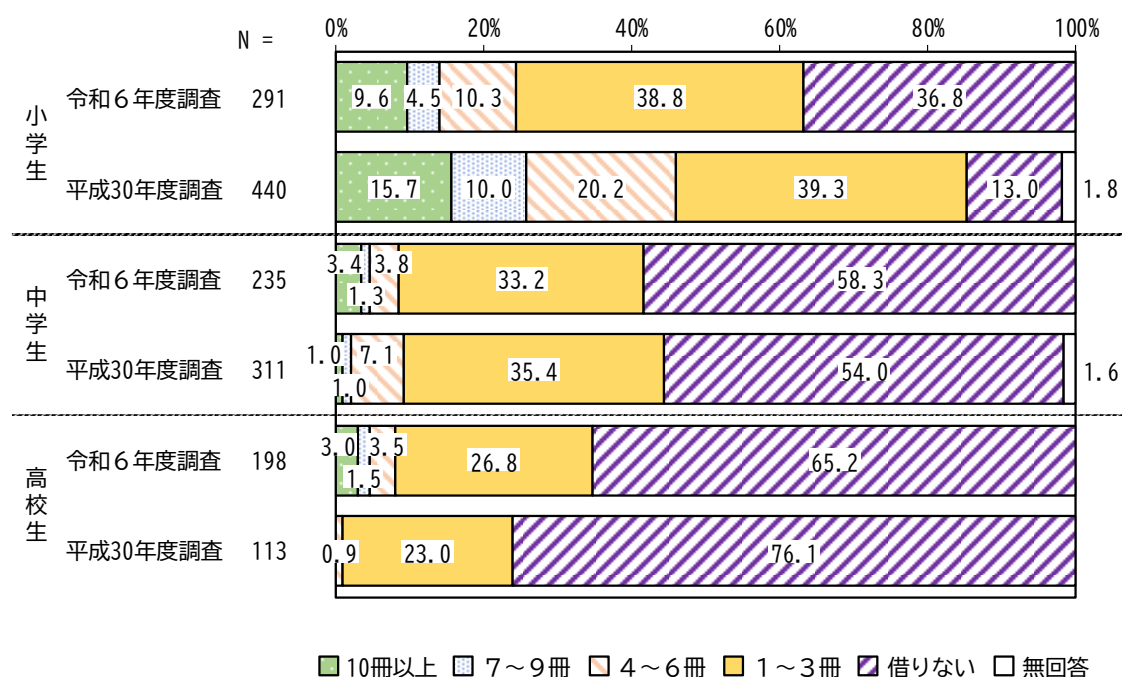
平成30年度調査と比較すると、「借りない」の割合が増加しています。一方、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」の割合が減少しています。

中学生では、「借りない」の割合が58.3%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が33.2%、「4～6冊」の割合が3.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「借りない」の割合が65.2%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が26.8%、「4～6冊」の割合が3.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「借りない」の割合が減少しています。



『問 13（小学生）、12（中学生・高校生）で「ほとんど利用しない」と答えたかたにお尋ねします』

15 あなたが、学校の図書室を利用しない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてを選んでください）【小学生：問 16 中学生：問 15 高校生：問 15】

小学生では、「読みたい本がないから」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「行く時間がないから」の割合が 24.1%、「勉強や宿題に使う本がないから」の割合が 4.1%となっています。

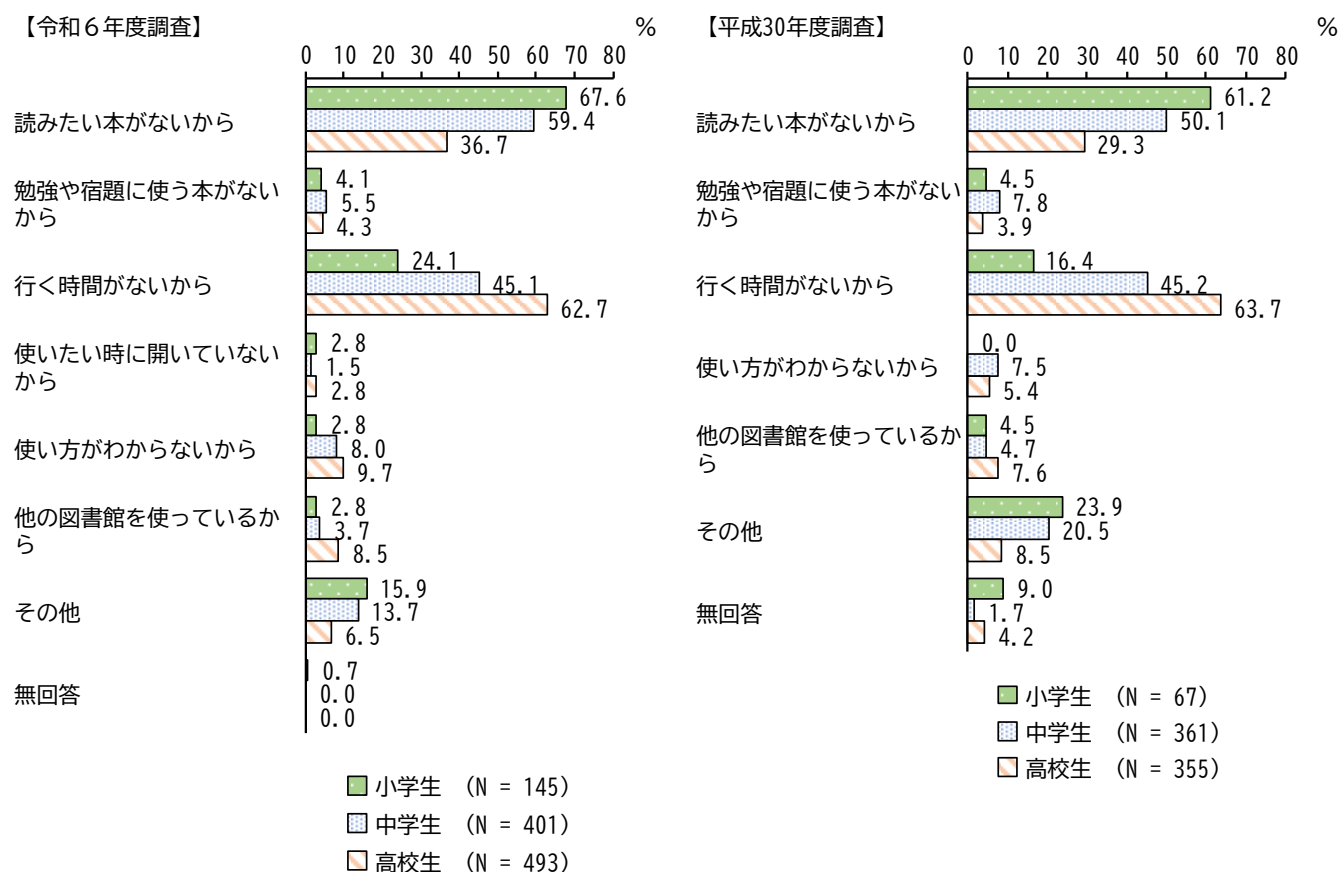
平成 30 年度調査と比較すると、「読みたい本がないから」「行く時間がないから」の割合が増加しています。

中学生では、「読みたい本がないから」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「行く時間がないから」の割合が 45.1%、「使い方がわからないから」の割合が 8.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「読みたい本がないから」の割合が増加しています。

高校生では、「行く時間がないから」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「読みたい本がないから」の割合が 36.7%、「使い方がわからないから」の割合が 9.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「読みたい本がないから」の割合が増加しています。



※中学生調査・高校生調査では、「勉強や宿題に使う本がないから」の選択肢は「勉強や宿題に必要な本がないから」となっていました。

※前回調査では、「使いたい時に開いていないから」の選択肢はありませんでした。

【小学生 学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

学校の図書室を利用しない理由

単位：％

学
年

区分	回答者数 (件)	読みたい本がないから	勉強や宿題に使う本がないから	行く時間がないから	使いたいときに開いていないから	使い方がわからないから	他の図書館を使っているから	その他	無回答
全 体	145	67.6	4.1	24.1	2.8	2.8	2.8	15.9	0.7
4 年生	56	60.7	3.6	19.6	1.8	1.8	3.6	19.6	—
6 年生	89	71.9	4.5	27.0	3.4	3.4	2.2	13.5	1.1

16 あなたは、学校の図書室をもっと多くの人に利用してもらうためには、どんなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてを選んでください)

【小学生：問 17 中学生：問 16 高校生：問 16】

小学生では、「新しい本を増やすこと」の割合が 56.4％と最も高く、次いで「面白いイベントがあること」の割合が 43.1％、「落ち着ける場所であること」の割合が 36.7％となっています。

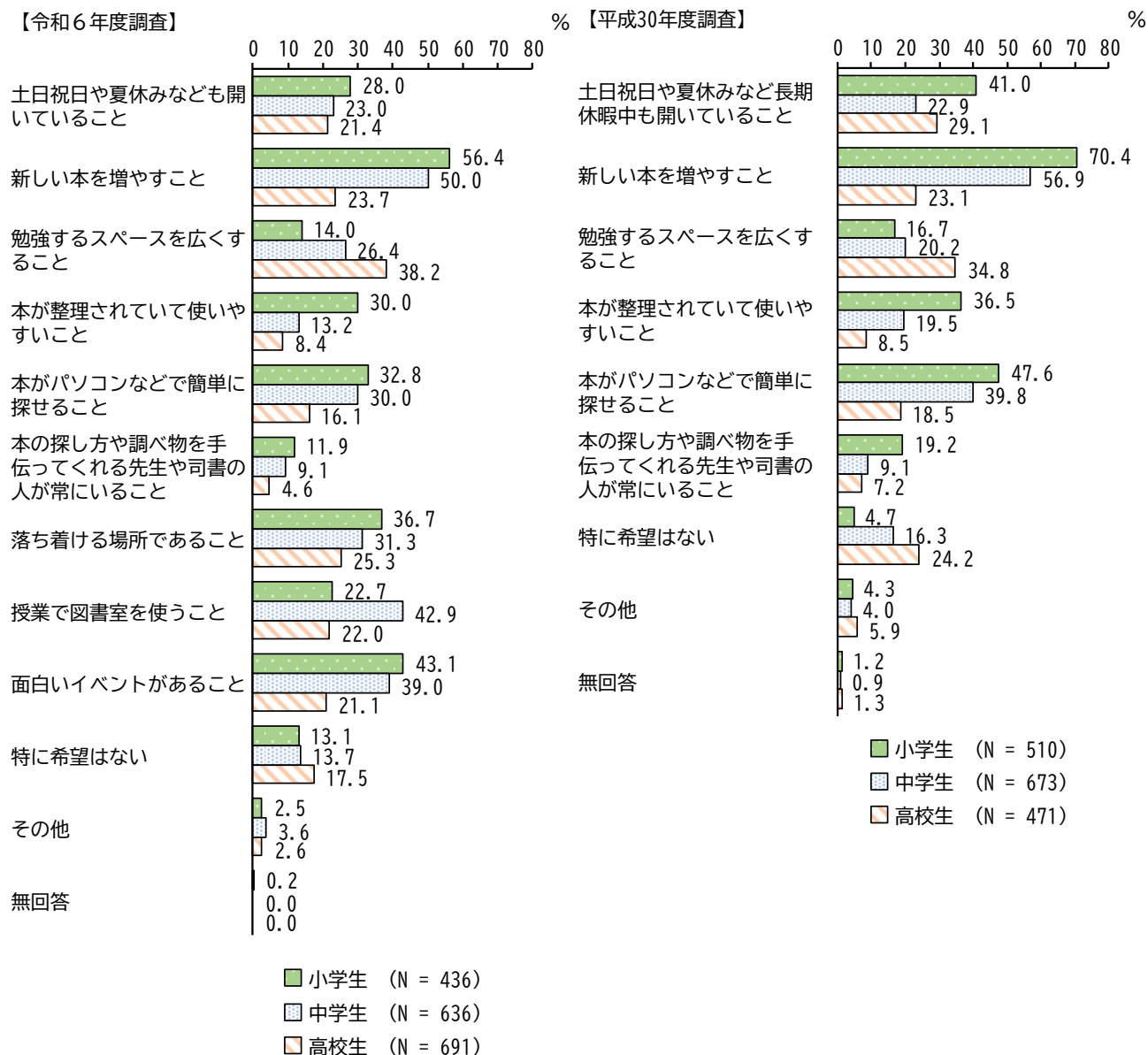
平成 30 年度調査と比較すると、「特に希望はない」の割合が増加しています。一方、「土日祝日や夏休みなども開いていること」「新しい本を増やすこと」「本が整理されていて使いやすいこと」「本がパソコンなどで簡単に探せること」「本の探し方や調べものを手伝ってくれる先生や担当の人がいつもいること」の割合が減少しています。

中学生では、「新しい本を増やすこと」の割合が 50.0％と最も高く、次いで「授業で図書室を使うこと」の割合が 42.9％、「面白いイベントがあること」の割合が 39.0％となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「勉強するスペースを広くすること」の割合が増加しています。一方、「新しい本を増やすこと」「本が整理されていて使いやすいこと」「本がパソコンなどで簡単に探せること」の割合が減少しています。

高校生では、「勉強するスペースを広くすること」の割合が 38.2％と最も高く、次いで「落ち着ける場所であること」の割合が 25.3％、「新しい本を増やすこと」の割合が 23.7％となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「土日祝日や夏休みなども開いていること」「特に希望はない」の割合が減少しています。



※小学生調査では、「本の探し方や調べ物を手伝ってくれる先生や司書の人が常にいること」の選択肢は「本の探し方や調べものを手伝ってくれる先生や担当の人がいつもいること」、中学生調査・高校生調査では、「土日祝日や夏休みなども開いていること」の選択肢は「土日祝日や夏休みなど長期休暇中も開いていること」となっていました。

※前回調査では、「落ち着ける場所であること」、「授業で図書室を使うこと」、「面白いイベントがあること」の選択肢はありませんでした。

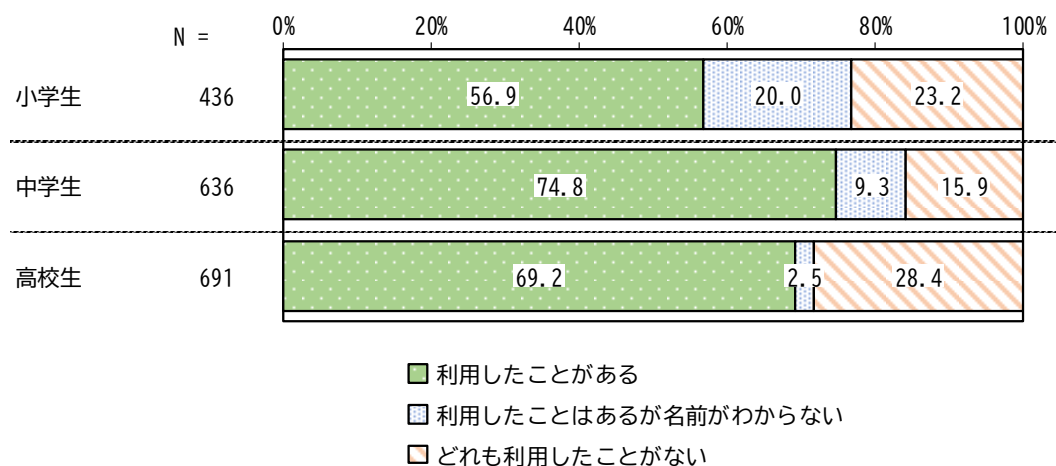
(3) 岡崎市の図書館などの利用について

17 あなたは、中央図書館（りぶら内）や市民センター図書室など、施設を利用したことがありますか。（1つを選んでください）【小学生：問18 中学生：問17 高校生：問17】

小学生では、「利用したことがある」の割合が56.9%と最も高く、次いで「どれも利用したことがない」の割合が23.2%、「利用したことはあるが名前がわからない」の割合が20.0%となっています。

中学生では、「利用したことがある」の割合が74.8%と最も高く、次いで「どれも利用したことがない」の割合が15.9%、「利用したことはあるが名前がわからない」の割合が9.3%となっています。

高校生では、「利用したことがある」の割合が69.2%と最も高く、次いで「どれも利用したことがない」の割合が28.4%、「利用したことはあるが名前がわからない」の割合が2.5%となっています。



『問 18（小学生）、17（中学生・高校生）で「利用したことがある」と答えたかたにお尋ねします』

18 利用したことがある施設はどれですか。（あてはまるものすべてを選んでください）

【小学生：問 19 中学生：問 18 高校生：問 18】

小学生では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 91.9%と最も高く、次いで「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 26.6%、「額田図書館（こもれびかん内）」の割合が 13.7%となっています。

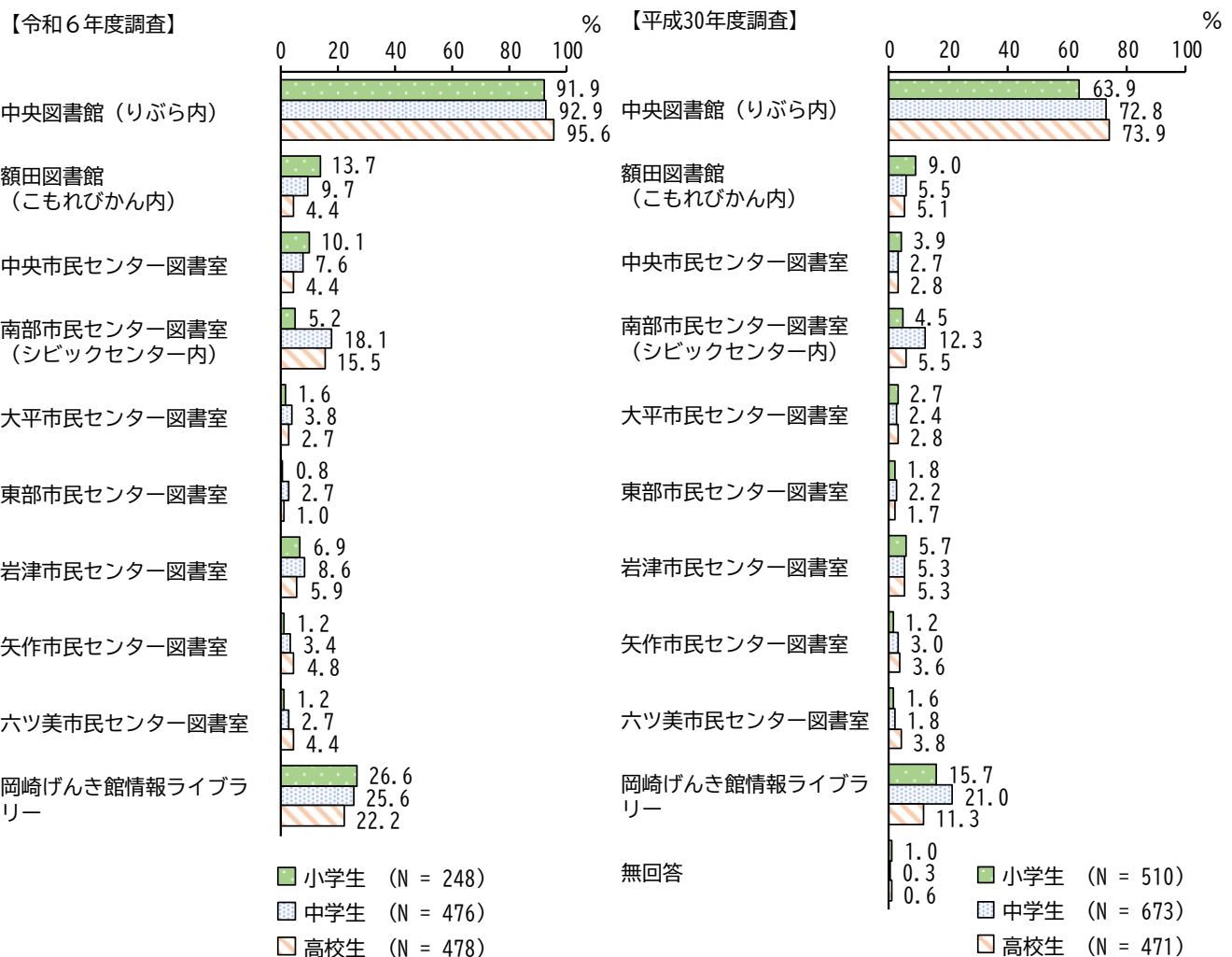
平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」「中央市民センター図書室」「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が増加しています。

中学生では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 92.9%と最も高く、次いで「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 25.6%、「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」の割合が 18.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」の割合が増加しています。

高校生では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 95.6%と最も高く、次いで「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 22.2%、「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」の割合が 15.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が増加しています。



『問 18（小学生）、17（中学生・高校生）で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』

19 あなたは、図書館や市民センター図書室などをどれくらい利用していますか。
（1つを選んでください）【小学生：問 20 中学生：問 19 高校生：問 19】

小学生では、「年に数回」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 26.6%、「週に 1 回」の割合が 10.1%となっています。

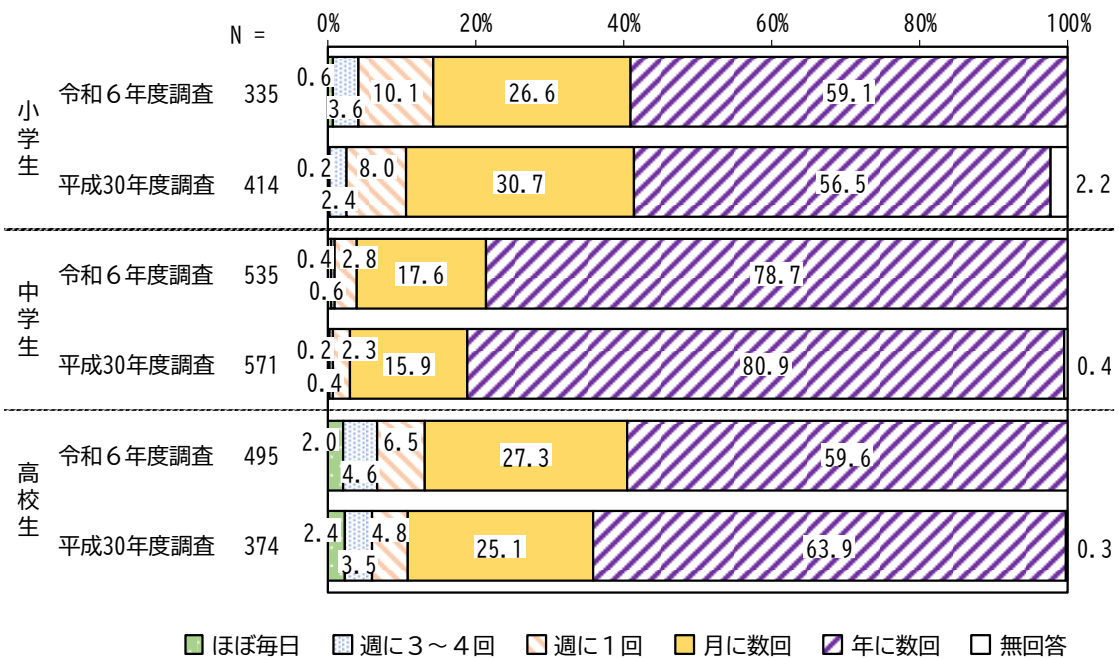
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生では、「年に数回」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 17.6%、「週に 1 回」の割合が 2.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「年に数回」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 27.3%、「週に 1 回」の割合が 6.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



『問 18（小学生）、17（中学生・高校生）で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』

20 あなたは、図書館や市民センター図書室などで1か月に何冊くらい本を借りていますか。
（1つを選んでください）【小学生：問 21 中学生：問 20 高校生：問 20】

小学生では、「借りない」の割合が42.1%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が30.4%、「4～6冊」の割合が11.0%となっています。

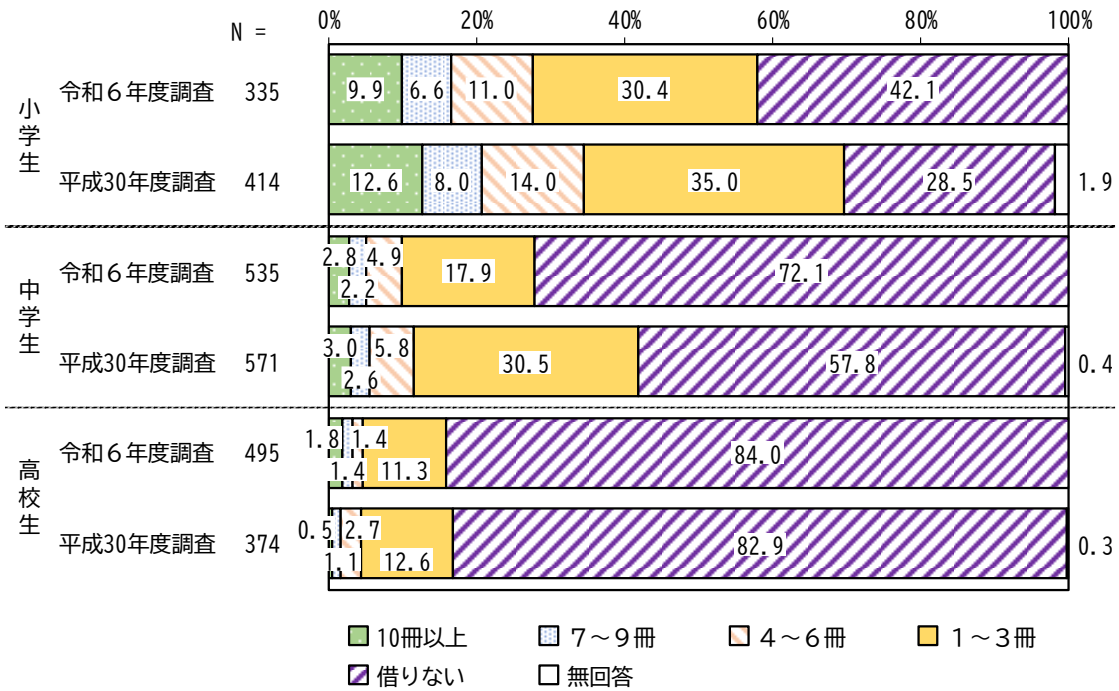
平成30年度調査と比較すると、「借りない」の割合が増加しています。

中学生では、「借りない」の割合が72.1%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が17.9%、「4～6冊」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「借りない」の割合が増加しています。一方、「1～3冊」の割合が減少しています。

高校生では、「借りない」の割合が84.0%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が11.3%、「10冊以上」の割合が1.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



『問 18（小学生）、17（中学生・高校生）で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』

21 あなたが、図書館や市民センター図書室などを利用する目的は何ですか。
（あてはまるものすべてを選んでください）【小学生：問 22 中学生：問 21 高校生：問 21】

小学生では、「本を読むため」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「本やDVD、CDを借りるため」の割合が 34.0%、「調べ物をするため」、「落ち着いて過ごすため」の割合が 19.7%となっています。

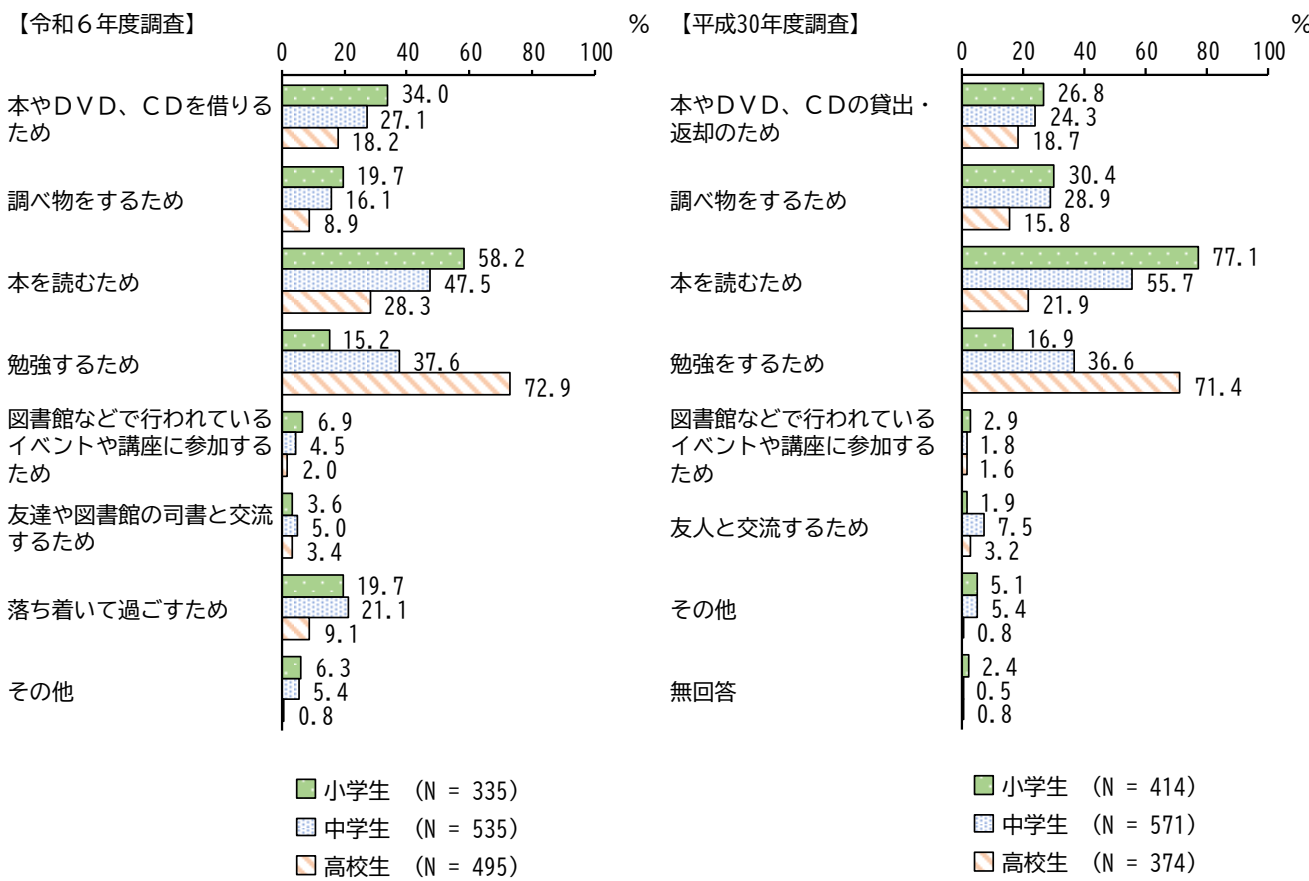
平成 30 年度調査と比較すると、「本やDVD、CDを借りるため」の割合が増加しています。一方、「調べ物をするため」「本を読むため」の割合が減少しています。

中学生では、「本を読むため」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「勉強するため」の割合が 37.6%、「本やDVD、CDを借りるため」の割合が 27.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「調べ物をするため」「本を読むため」の割合が減少しています。

高校生では、「勉強するため」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「本を読むため」の割合が 28.3%、「本やDVD、CDを借りるため」の割合が 18.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「本を読むため」の割合が増加しています。一方、「調べ物をするため」の割合が減少しています。



※前回調査では、「本やDVD、CDを借りるため」の選択肢は小学生調査では「本やDVD、CDをかりたり返したりするため」、中学生調査・高校生調査では「本やDVD、CDの貸出・返却のため」、「友達や図書館の司書と交流するため」の選択肢は小学生調査では「友達ちと交流するため」、中学生調査・高校生調査では「友人と交流するため」となっていました。

※前回調査では、「落ち着いて過ごすため」の選択肢はありませんでした。

『問 17 で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』（中学生・高校生）

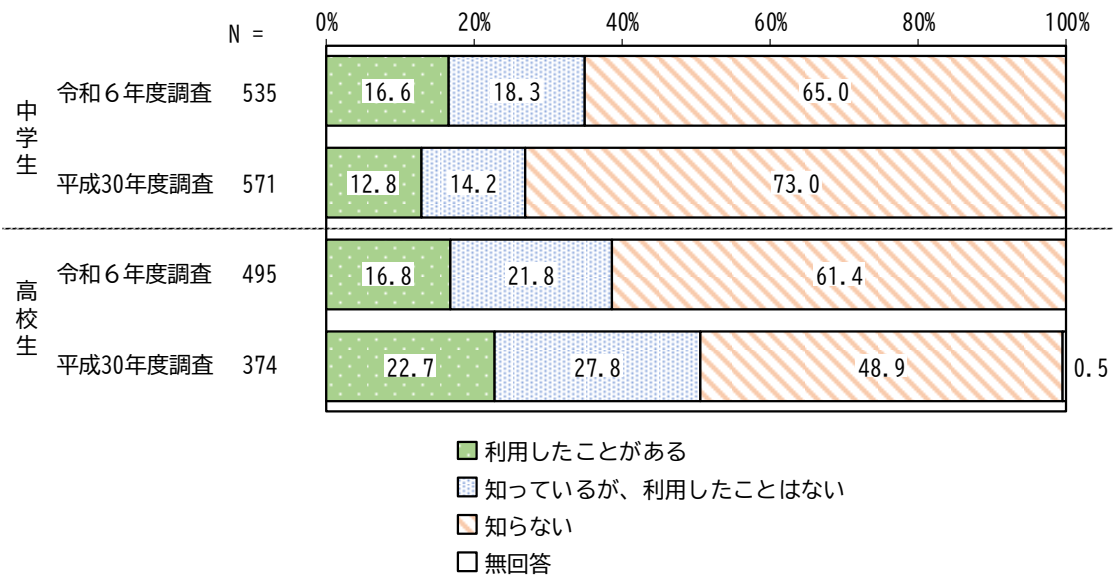
22 中央図書館・額田図書館では、中高生向けの図書を置いてあるコーナー（ティーンズコーナー）がありますが、利用したことはありますか。（1つを選んでください）
【中学生：問 22 高校生：問 22】

中学生では、「知らない」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が 18.3%、「利用したことがある」の割合が 16.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が減少しています。

高校生では、「知らない」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が 21.8%、「利用したことがある」の割合が 16.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。一方、「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の割合が減少しています。



『問 17 で「利用したことがある」と答えたかたにお尋ねします』（中学生・高校生）

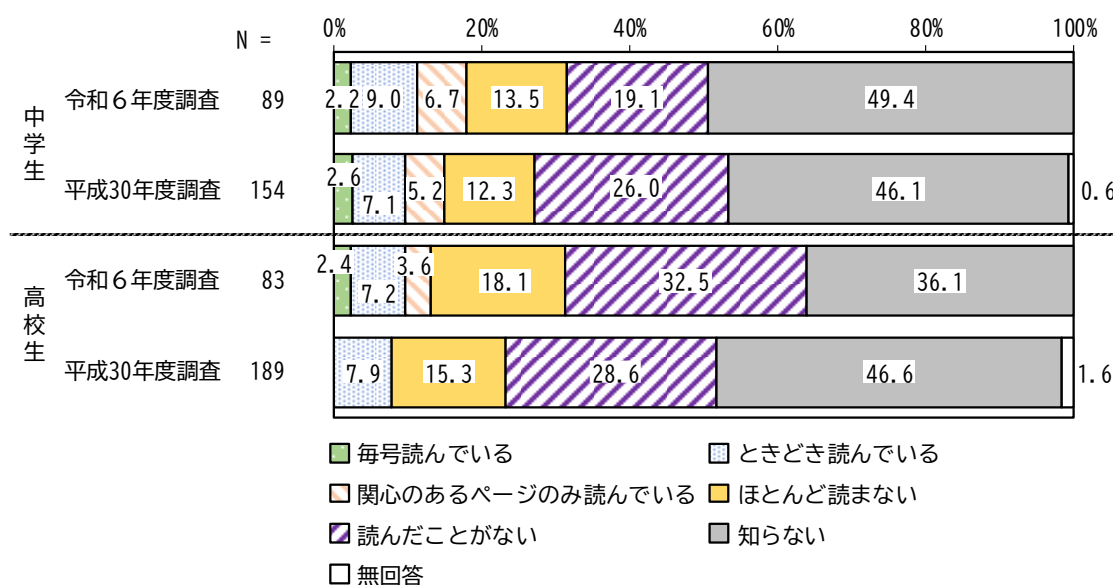
23 あなたは、ティーンズ向け図書館情報紙「図書缶」を読んでいますか。
（1 つを選んでください）【中学生：問 23 高校生：問 23】

中学生では、「知らない」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「読んだことがない」の割合が 19.1%、「ほとんど読まない」の割合が 13.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「読んだことがない」の割合が減少しています。

高校生では、「知らない」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「読んだことがない」の割合が 32.5%、「ほとんど読まない」の割合が 18.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知らない」の割合が減少しています。

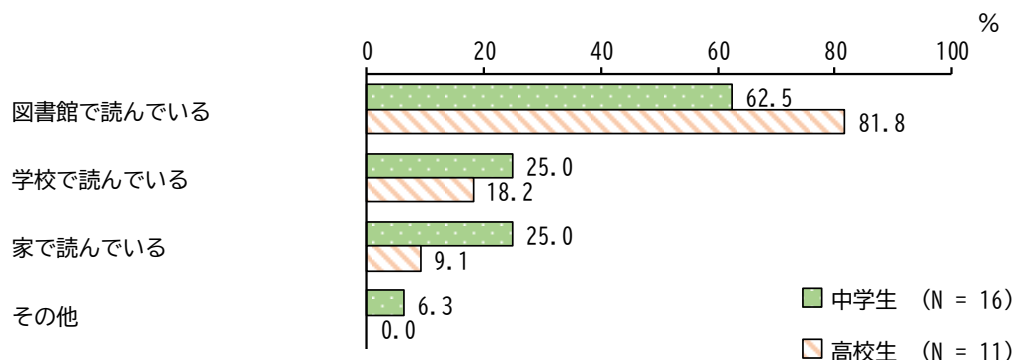


『問 23 で「毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」「関心のあるページのみ読んでいる」と答えたかたにお尋ねします』（中学生・高校生）

24 23 で「図書缶」を読んでいると答えたかたは、どこで読んでいますか。
（あてはまるものすべてを選んでください）【中学生：問 24 高校生：問 24】
※今年度調査からの新規設問

中学生では、「図書館で読んでいる」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「学校で読んでいる」、「家で読んでいる」の割合が 25.0%となっています。

高校生では、「図書館で読んでいる」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「学校で読んでいる」の割合が 18.2%、「家で読んでいる」の割合が 9.1%となっています。



『問 18（小学生）、17（中学生・高校生）で「どれも利用したことがない」と答えたかたにお尋ねします』

25 あなたが、図書館や市民センター図書室などを利用したことがない理由は何ですか。
（あてはまるものすべてを選んでください）【小学生：問 23 中学生：問 25 高校生：問 25】

小学生では、「本を読まないから」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「本は買って読むから」の割合が 30.7%、「行く時間がないから」の割合が 24.8%となっています。

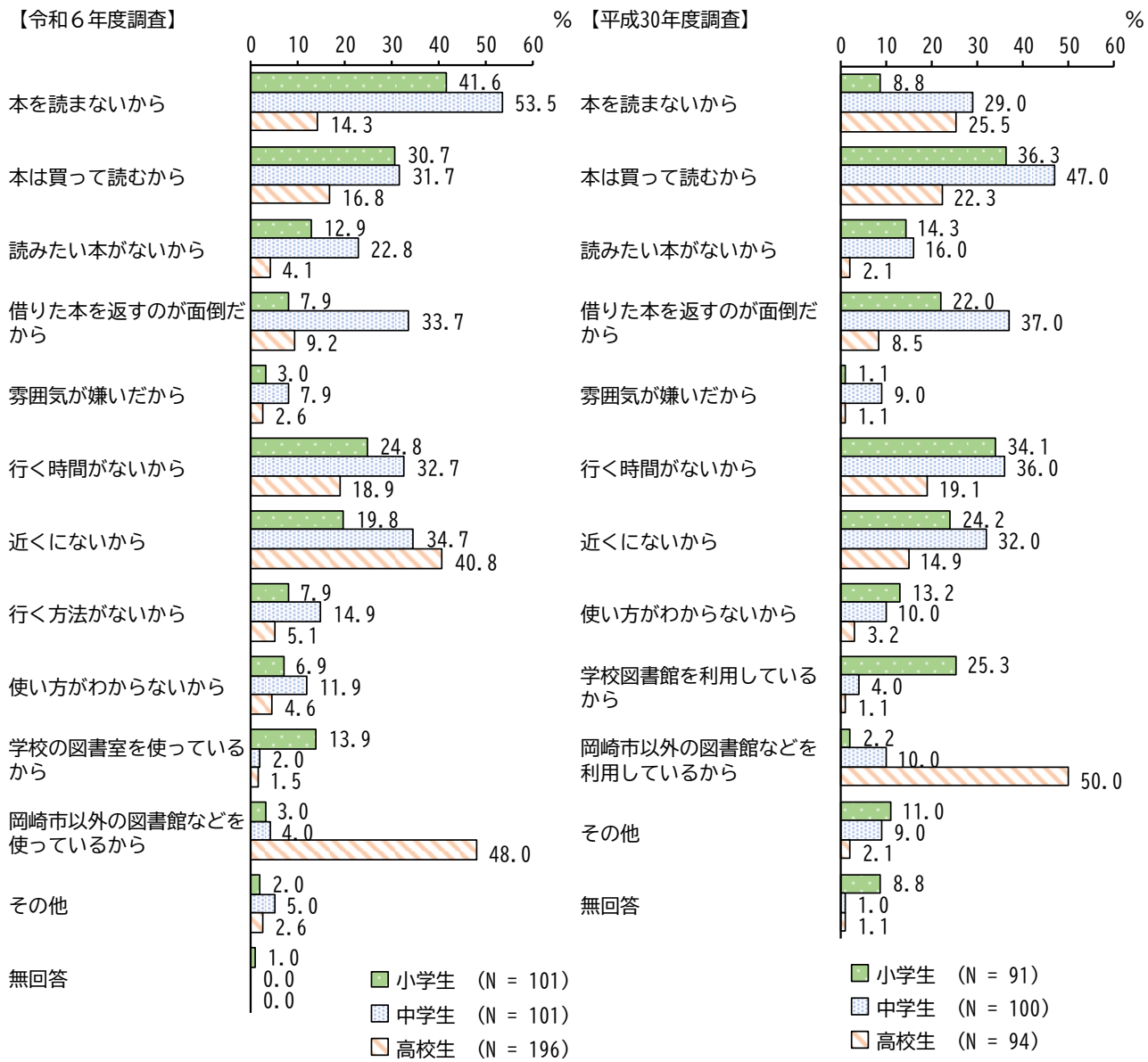
平成 30 年度調査と比較すると、「本を読まないから」の割合が増加しています。一方、「本は買って読むから」「借りた本を返すのが面倒だから」「行く時間がないから」「使い方がわからないから」「学校の図書室を使っているから」の割合が減少しています。

中学生では、「本を読まないから」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「近くにないから」の割合が 34.7%、「借りた本を返すのが面倒だから」の割合が 33.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「本を読まないから」「読みたい本がないから」の割合が増加しています。一方、「本は買って読むから」「岡崎市以外の図書館などを使っているから」の割合が減少しています。

高校生では、「岡崎市以外の図書館などを使っているから」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「近くにないから」の割合が 40.8%、「行く時間がないから」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「近くにないから」の割合が増加しています。一方、「本を読まないから」「本は買って読むから」の割合が減少しています。



※前回調査では、「行く方法がないから」の選択肢はありませんでした。

【小学生 学年別】

学年別にみると、6年生で「本を読まないから」の割合が高くなっています。

図書館などを利用したことがない理由

単位：％

学 年	区分	回答者数（件）	本を読まないから	本は買って読むから	読みたい本がないから	借りた本を返すのが面倒だから	雰囲気が嫌いだから	行く時間がないから	近くにないから	行く方法がないから	使い方がわからないから	学校の図書室を使っているから	岡崎市以外の図書館などを使っているから	その他	無回答
	全 体	101	41.6	30.7	12.9	7.9	3.0	24.8	19.8	7.9	6.9	13.9	3.0	2.0	1.0
	4 年生	53	34.0	35.8	11.3	7.5	3.8	22.6	13.2	1.9	5.7	18.9	1.9	3.8	—
	6 年生	48	50.0	25.0	14.6	8.3	2.1	27.1	27.1	14.6	8.3	8.3	4.2	—	2.1

26 図書館や市民センター図書室などをもっと多くの小学生、中学生、高校生に利用してもらうためには、どんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてを選んでください)【小学生：問24 中学生：問26 高校生：問26】

小学生では、「まんがや雑誌を置くこと」の割合が49.3%と最も高く、次いで「年齢に応じた本を増やすこと」の割合が46.8%、「落ち着ける場所であること」の割合が33.9%となっています。

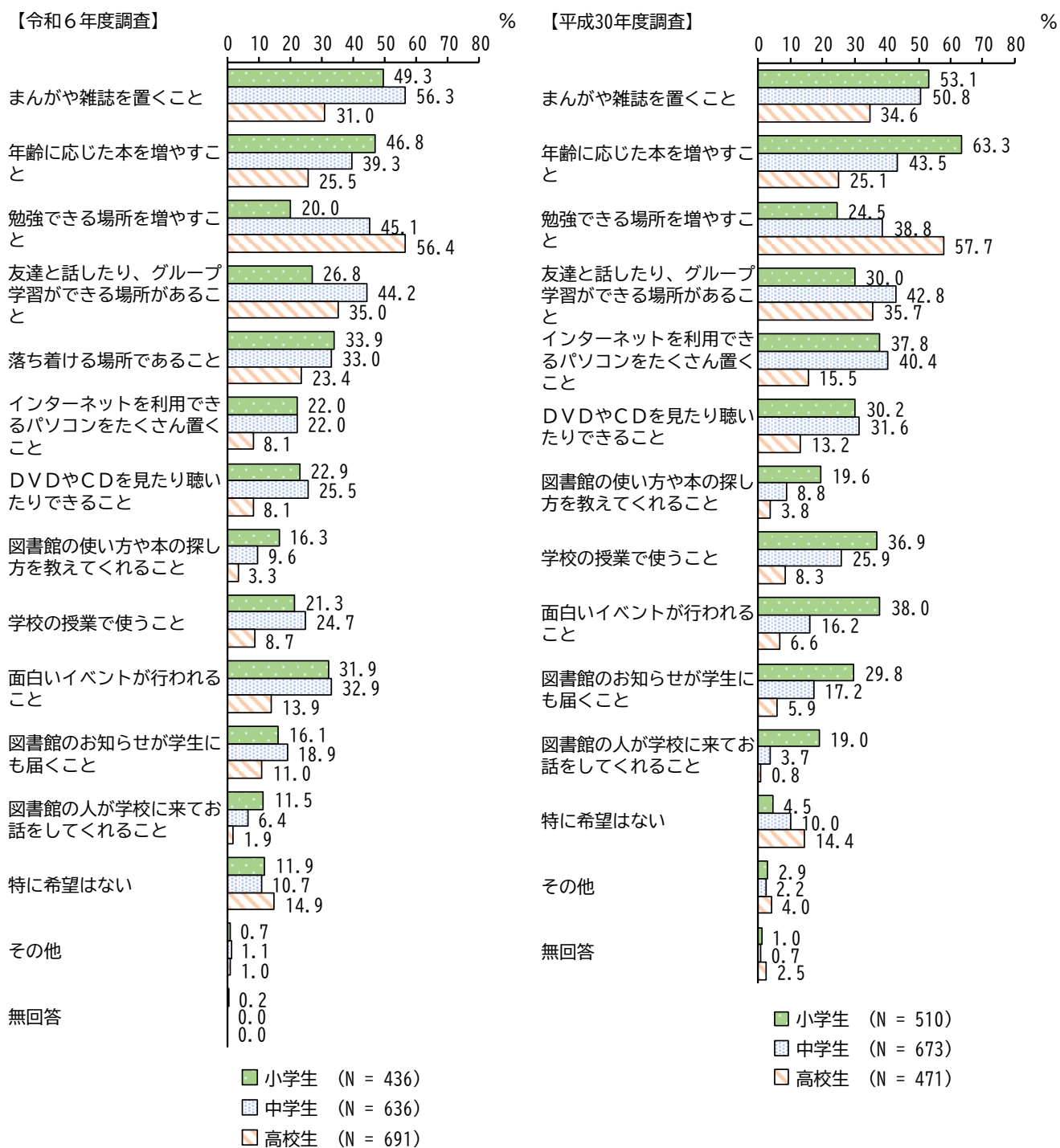
平成30年度調査と比較すると、「特に希望はない」の割合が増加しています。一方、「年齢に応じた本を増やすこと」「インターネットを利用できるパソコンをたくさん置くこと」「DVDやCDを見たり聴いたりできること」「学校の授業で使うこと」「面白いイベントが行われること」「図書館のお知らせが学生にも届くこと」「図書館の人が学校に来てお話をしてくれること」の割合が減少しています。

中学生では、「まんがや雑誌を置くこと」の割合が56.3%と最も高く、次いで「勉強できる場所を増やすこと」の割合が45.1%、「友達と話したり、グループ学習ができる場所があること」の割合が44.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「まんがや雑誌を置くこと」「勉強できる場所を増やすこと」の割合が増加しています。一方、「インターネットを利用できるパソコンをたくさん置くこと」「DVDやCDを見たり聴いたりできること」の割合が減少しています。

高校生では、「勉強できる場所を増やすこと」の割合が56.4%と最も高く、次いで「友達と話したり、グループ学習ができる場所があること」の割合が35.0%、「まんがや雑誌を置くこと」の割合が31.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「図書館のお知らせが高校生にも届くこと」の割合が増加しています。一方、「インターネットを利用できるパソコンをたくさん置くこと」「DVDやCDを見たり聴いたりできること」の割合が減少しています。



※前回調査では、「落ち着ける場所であること」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「面白いイベントが行われること」の選択肢は、「図書館で年齢に応じたイベントを開催すること」となっていました。

※「年齢に応じた本を増やすこと」の選択肢は、小学生調査では「小学生向けの本を増やすこと」、中学生調査・高校生調査では「中高生向けの本を増やすこと」、「図書館のお知らせが学生にも届くこと」の選択肢は、小学生調査では「図書館のお知らせが小学生にもとどくこと」、中学生調査では「図書館のお知らせが中学生にも届くこと」、高校生調査では「図書館のお知らせが高校生にも届くこと」となっています。

(4) 読書に対する考え方などについて

27 あなたは、下のア～カについて、紙の本と電子の本のどちらがより当てはまると思いますか。(○はそれぞれ1つ)【小学生：問25 中学生：問27 高校生：問27】
※今年度調査からの新規設問

小学生では、『ア. 内容が分かりやすい』で「どちらも同じ」の割合が、『ウ. 文字が読みやすい』で「電子書籍」の割合が高くなっています。

中学生では、『ア. 内容を理解しやすい』で「どちらも同じ」の割合が、『イ. 情報量が豊富』で「電子書籍」の割合が高くなっています。また、『エ. 読み返ししやすい』で「紙の本」の割合が高くなっています。

高校生では、『イ. 情報量が豊富』で「どちらも同じ」の割合が高くなっています。

【小学生】

回答者数 = 436

ア. 内容が分かりやすい

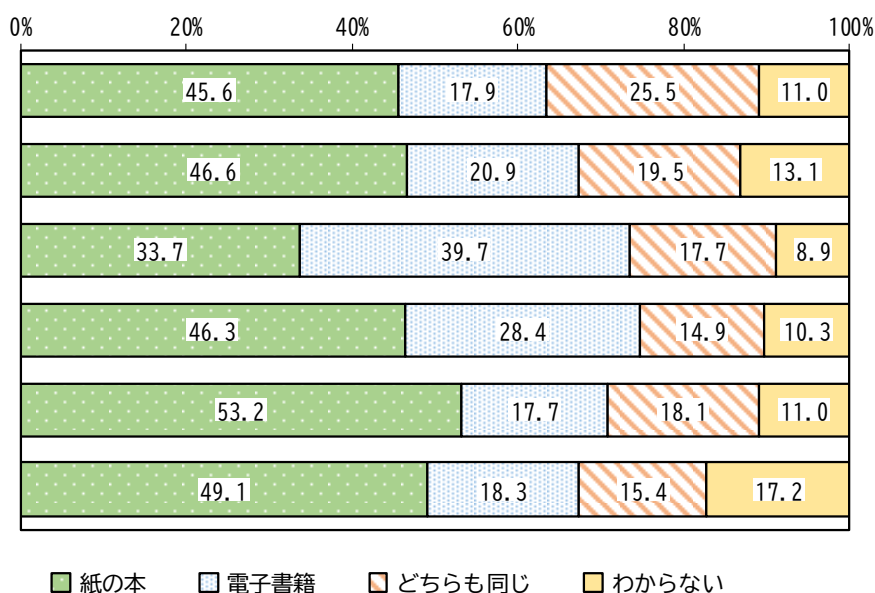
イ. たくさんの事が書いてある

ウ. 文字が読みやすい

エ. 簡単にもう一度読むことができる

オ. 物語や小説が読みやすい

カ. 図鑑や辞典・事典が読みやすい



【中学生】

回答者数 = 636

ア. 内容を理解しやすい

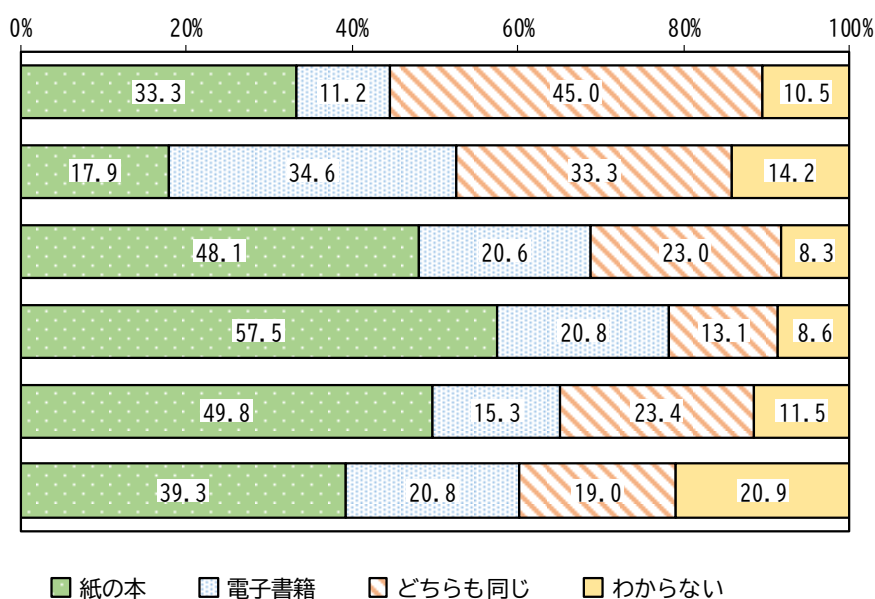
イ. 情報量が豊富

ウ. 文字を目で追いやすい

エ. 読み返ししやすい

オ. 物語や小説が読みやすい

カ. 図鑑や辞典・事典が読みやすい



【高校生】

回答者数 = 691

ア. 内容を理解しやすい

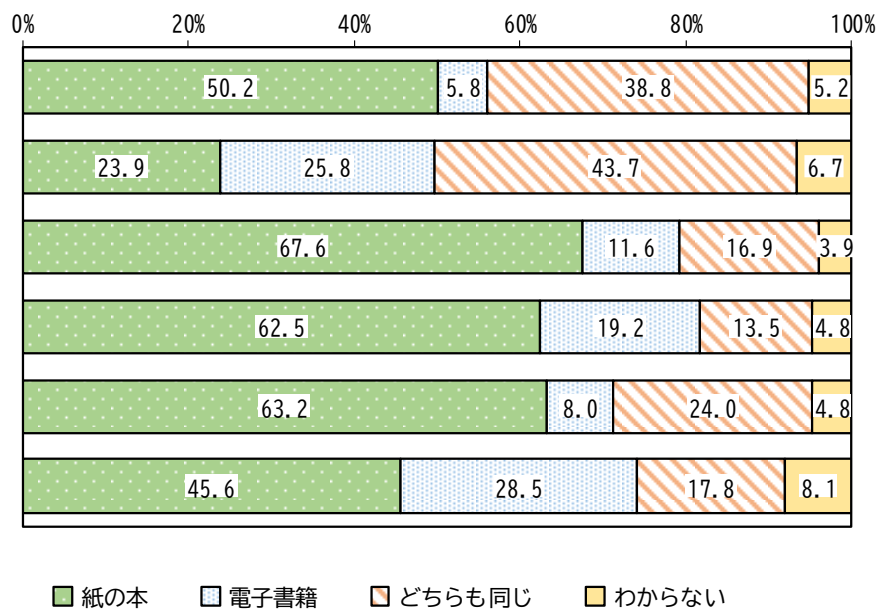
イ. 情報量が豊富

ウ. 文字を目で追やすい

エ. 読み返ししやすい

オ. 物語や小説が読みやすい

カ. 図鑑や辞典・事典が読みやすい



28 もっと読書をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで選んでください)【小学生：問26 中学生：問28 高校生：問28】

小学生では、「学校の図書室の本を増やすこと」の割合が40.6%と最も高く、次いで「学校の図書室をもっと使いやすくすること」の割合が35.6%、「面白いイベントが行われること」の割合が29.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「学校の図書室をもっと使いやすくすること」「わからない」の割合が増加しています。一方、「学校の授業で読書をする時間をとること」の割合が減少しています。

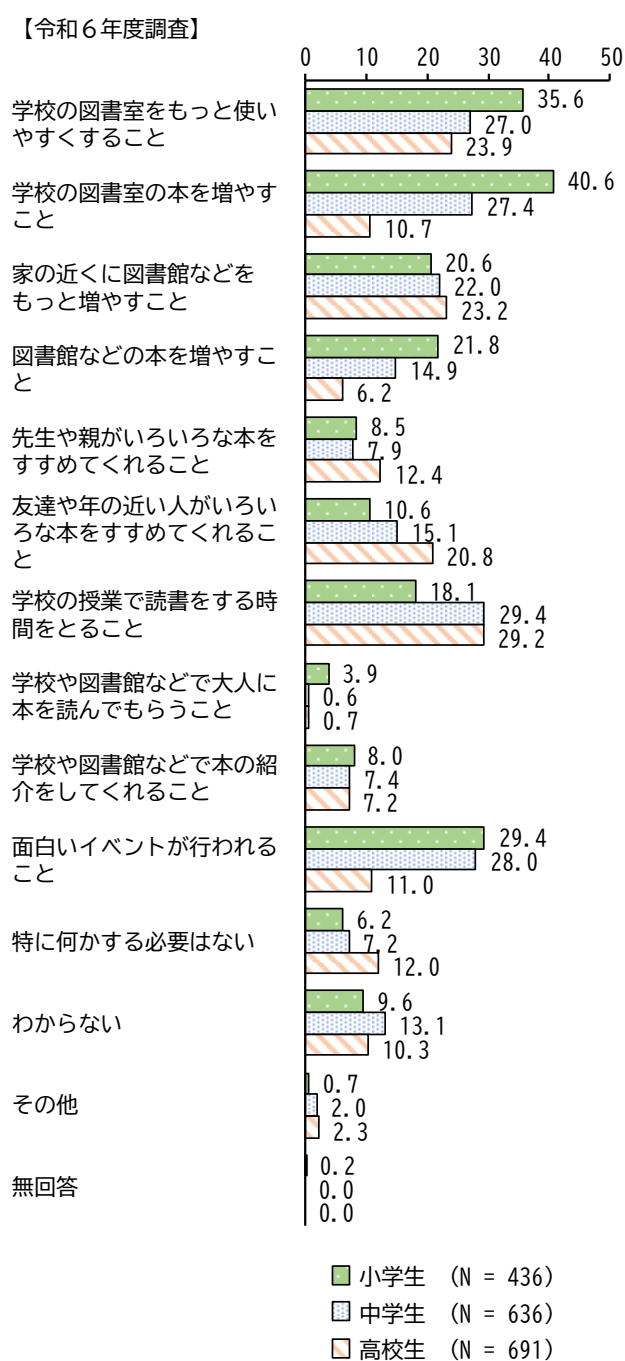
中学生では、「学校の授業で読書をする時間をとること」の割合が29.4%と最も高く、次いで「面白いイベントが行われること」の割合が28.0%、「学校の図書室の本を増やすこと」の割合が27.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。

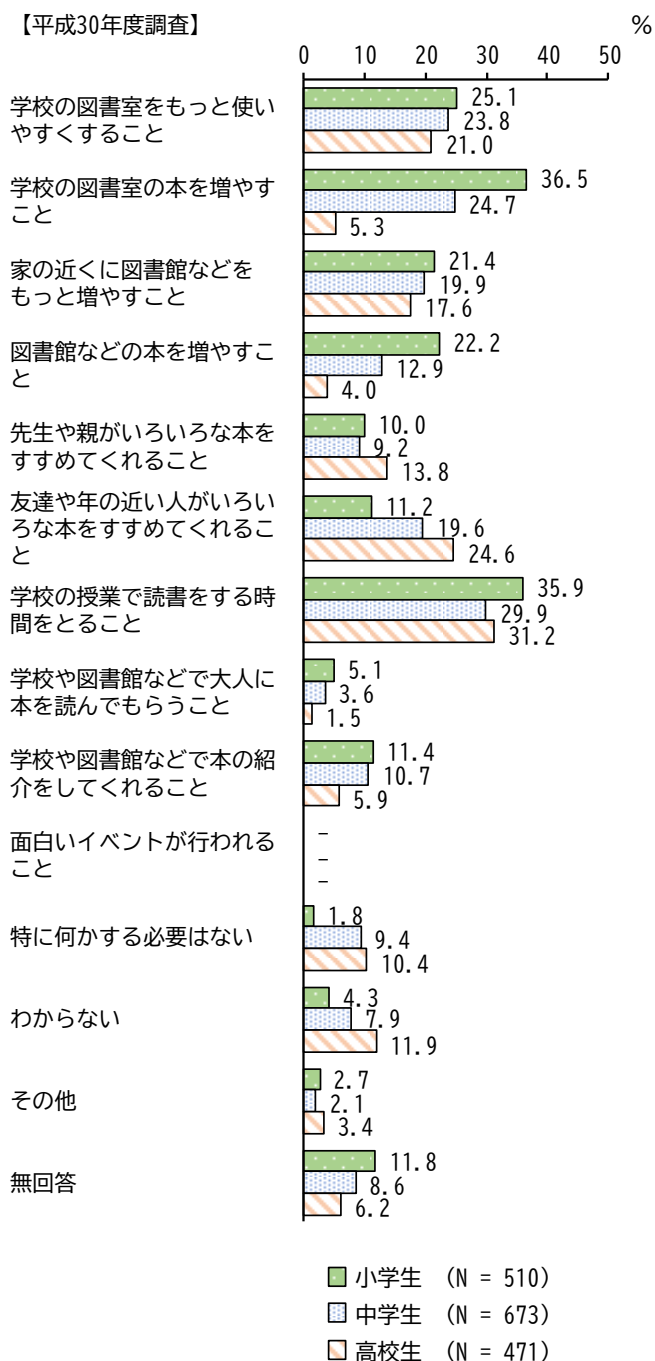
高校生では、「学校の授業で読書をする時間をとること」の割合が29.2%と最も高く、次いで「学校の図書室をもっと使いやすくすること」の割合が23.9%、「家の近くに図書館などをもっと増やすこと」の割合が23.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「学校の図書室の本を増やすこと」「家の近くに図書館などをもっと増やすこと」の割合が増加しています。

【令和6年度調査】



【平成30年度調査】



※前回調査では、「友達や年の近い人がいろいろな本をすすめてくれること」の選択肢は「友人や同世代の人がいろいろな本をすすめてくれること」、「学校や図書館などで大人に本を読んでもらうこと」の選択肢は「学校や図書館などで読み聞かせや朗読会などをしてもらおうこと」となっていました。

※前回調査では、「面白いイベントが行われること」の選択肢はありませんでした。

2 保護者

(1) あなた自身の読書活動等について

1 あなたは、本を読むことが好きですか。(1つを選んでください)

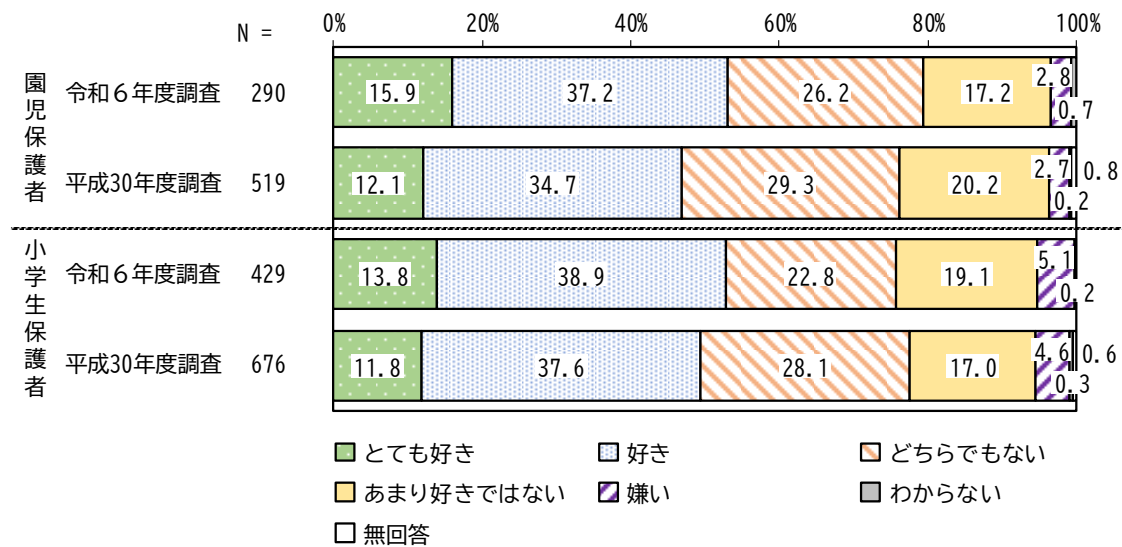
【園児保護者：問3 小学生保護者：問3】

園児保護者では、「好き」の割合が37.2%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が26.2%、「あまり好きではない」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

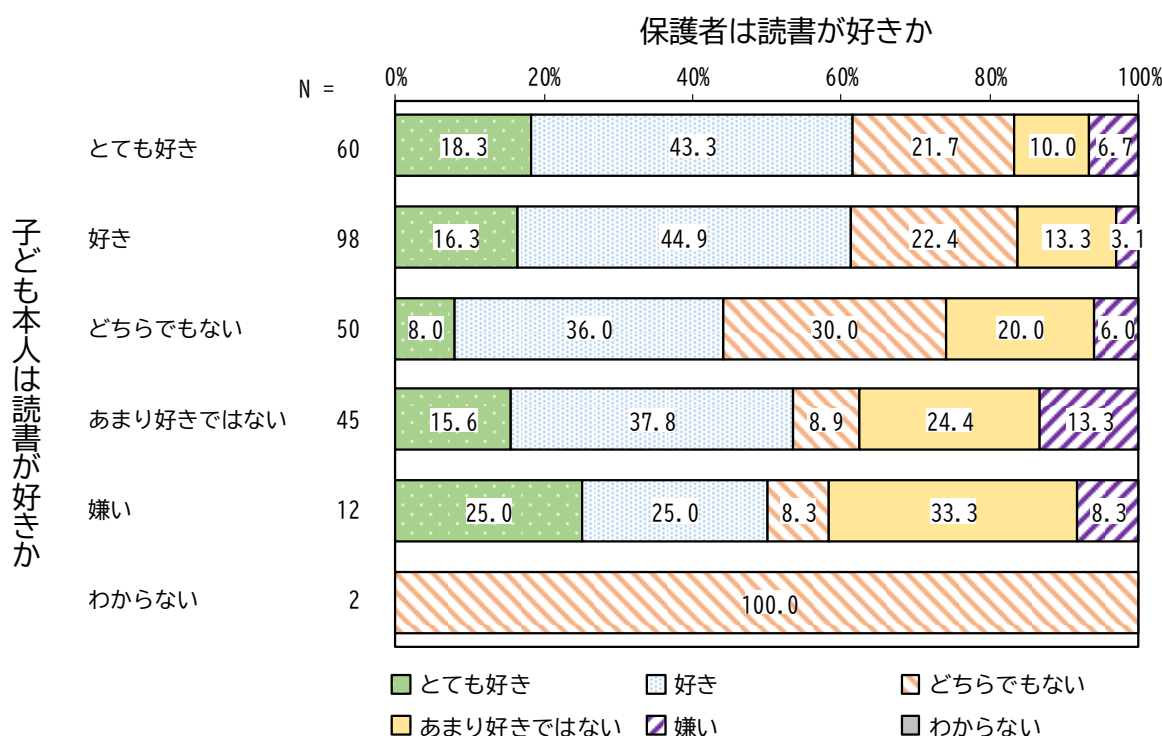
小学生保護者では、「好き」の割合が38.9%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が22.8%、「あまり好きではない」の割合が19.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「どちらでもない」の割合が減少しています。



【小学生保護者 子ども本人は読書が好きか別】

子ども本人は読書が好きか別にみると、嫌いで「あまり好きではない」の割合が高くなっています。



2 あなたは、直近1か月に、本を何冊くらい読みましたか。（1つを選んでください）

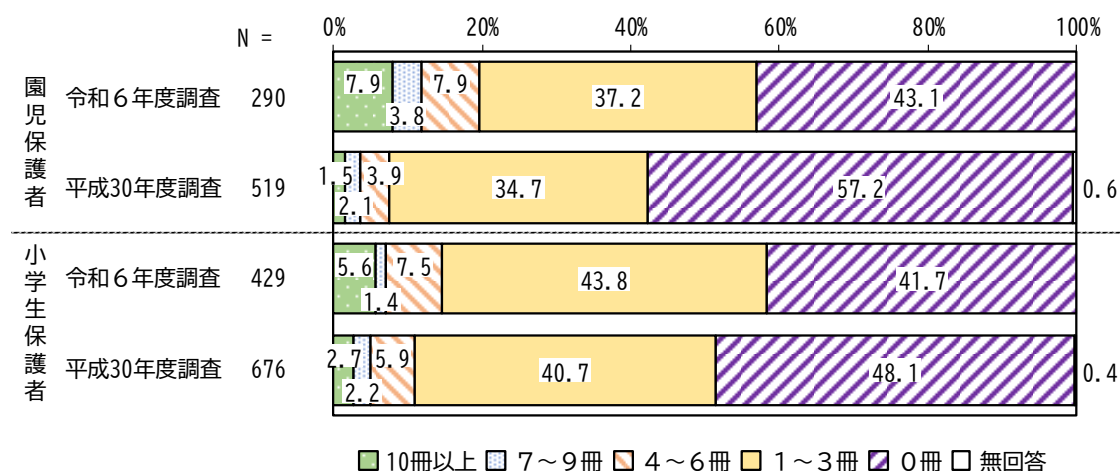
【園児保護者：問4 小学生保護者：問4】

園児保護者では、「0冊」の割合が43.1%と最も高く、次いで「1～3冊」の割合が37.2%、「10冊以上」、「4～6冊」の割合が7.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10冊以上」の割合が増加しています。一方、「0冊」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「1～3冊」の割合が43.8%と最も高く、次いで「0冊」の割合が41.7%、「4～6冊」の割合が7.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0冊」の割合が減少しています。



3 あなたは、普段、どれくらいの頻度で本を読んでいますか。（1つを選んでください）

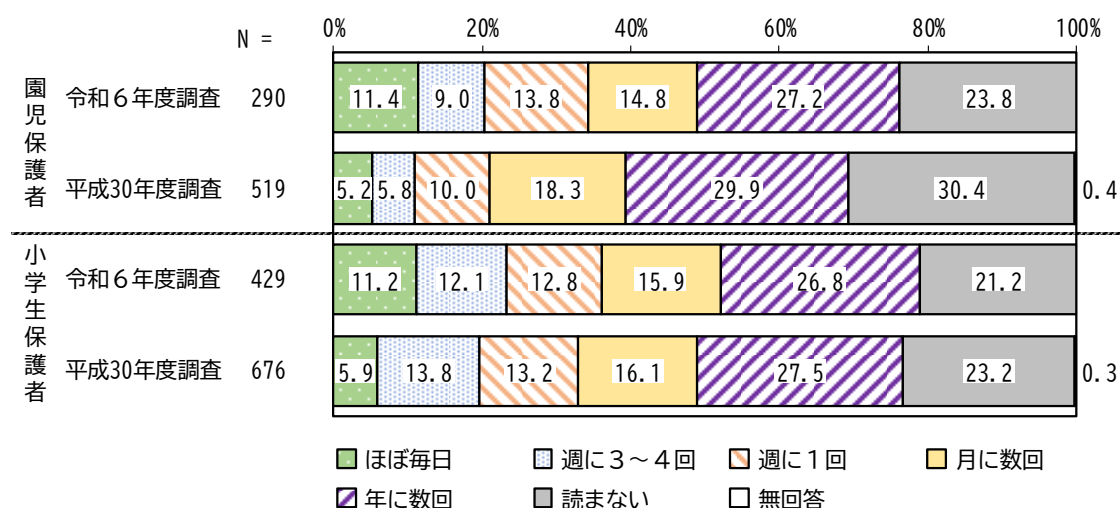
【園児保護者：問5 小学生保護者：問5】

園児保護者では、「年に数回」の割合が27.2%と最も高く、次いで「読まない」の割合が23.8%、「月に数回」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が増加しています。一方、「読まない」の割合が減少しています。

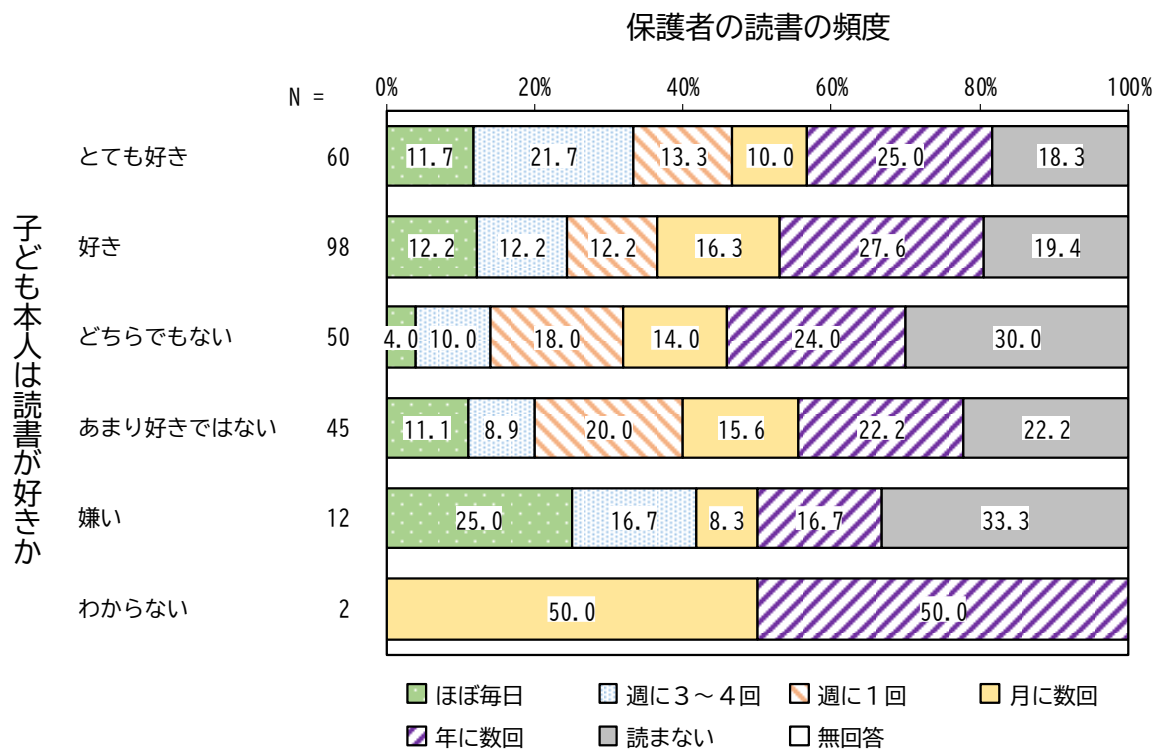
小学生保護者では、「年に数回」の割合が26.8%と最も高く、次いで「読まない」の割合が21.2%、「月に数回」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が増加しています。



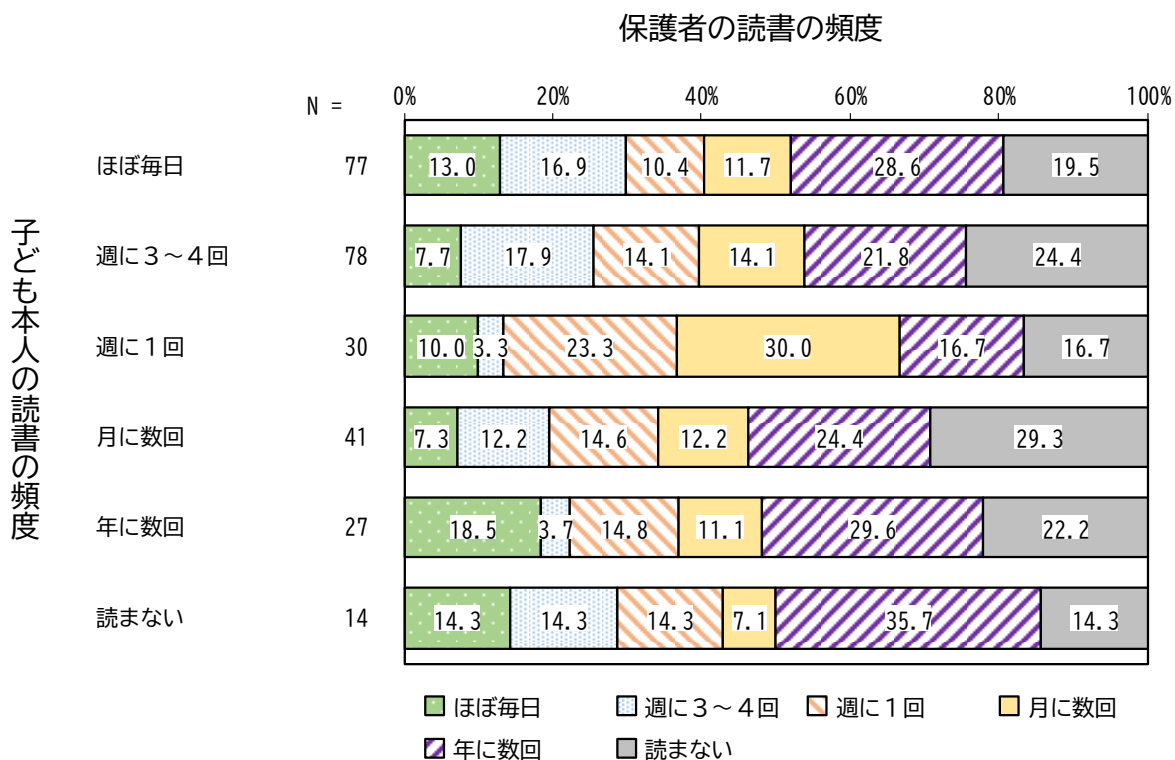
【小学生保護者 子ども本人は読書が好きか別】

子ども本人は読書が好きか別にみると、「とても好き」と「好き」を合わせた「好き」で「読まない」の割合が低くなっています。



【小学生保護者 子ども本人の読書の頻度別】

子ども本人の読書の頻度別にみると、週に1回で「月に数回」の割合が高くなっています。



『問5で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1回」「月に数回」「年に数回」と答えたかたにお尋ねします』

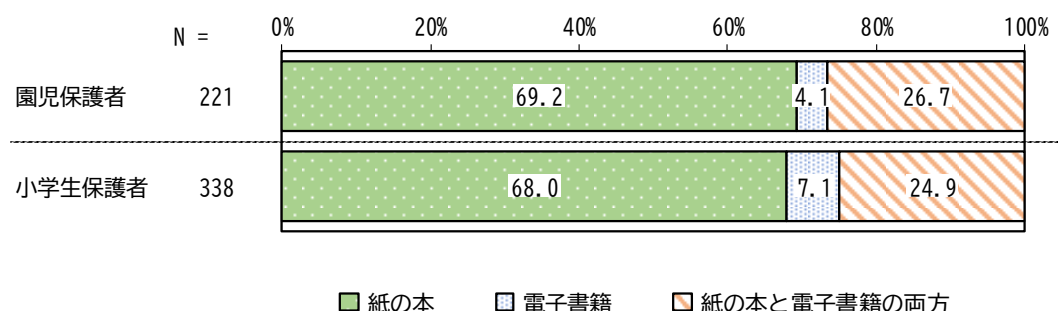
4 あなたは、どのような方法で読書しますか。（1つを選んでください）

【園児保護者：問6 小学生保護者：問6】

※今年度調査からの新規設問

園児保護者では、「紙の本」の割合が69.2%と最も高く、次いで「紙の本と電子書籍の両方」の割合が26.7%、「電子書籍」の割合が4.1%となっています。

小学生保護者では、「紙の本」の割合が68.0%と最も高く、次いで「紙の本と電子書籍の両方」の割合が24.9%、「電子書籍」の割合が7.1%となっています。



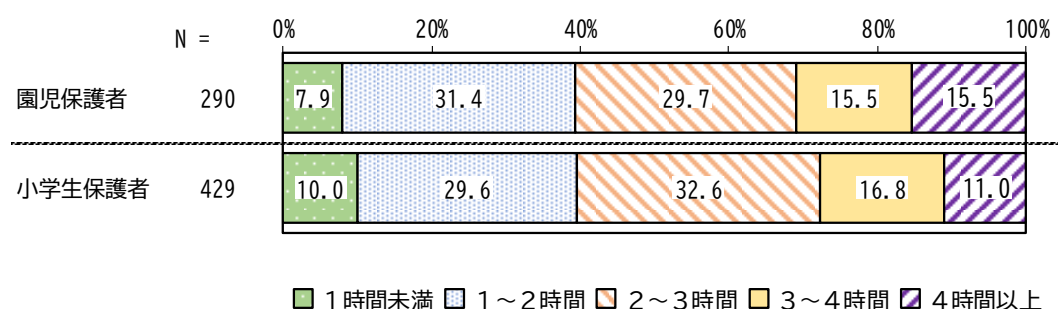
5 あなたは、1日にスマートフォン（携帯電話）やタブレットを何時間使いますか。自分用をお持ちでないかたは、家族などから借りて使う時間をお答えください。

（1つを選んでください）【園児保護者：問7 小学生保護者：問7】

※今年度調査からの新規設問

園児保護者では、「1～2時間」の割合が31.4%と最も高く、次いで「2～3時間」の割合が29.7%、「3～4時間」、「4時間以上」の割合が15.5%となっています。

小学生保護者では、「2～3時間」の割合が32.6%と最も高く、次いで「1～2時間」の割合が29.6%、「3～4時間」の割合が16.8%となっています。



(2) お子さんの読書活動について

6 あなたのお子さんは、本が好きだと思いますか。(1つを選んでください)

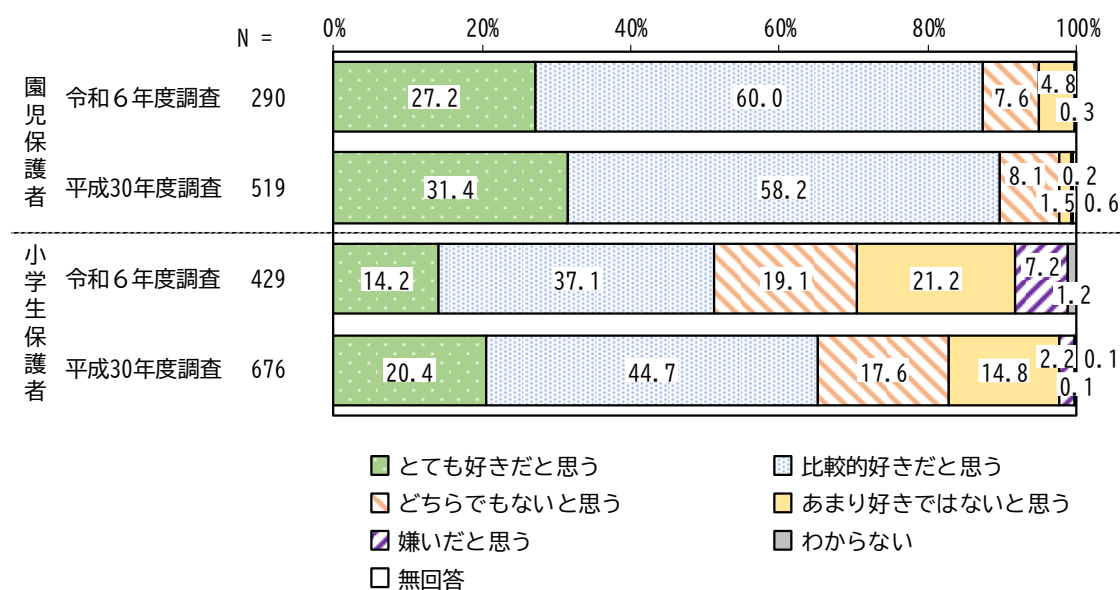
【園児保護者：問8 小学生保護者：問8】

園児保護者では、「比較的好きだと思う」の割合が60.0%と最も高く、次いで「とても好きだと思う」の割合が27.2%、「どちらでもないと思う」の割合が7.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「比較的好きだと思う」の割合が37.1%と最も高く、次いで「あまり好きではないと思う」の割合が21.2%、「どちらでもないと思う」の割合が19.1%となっています。

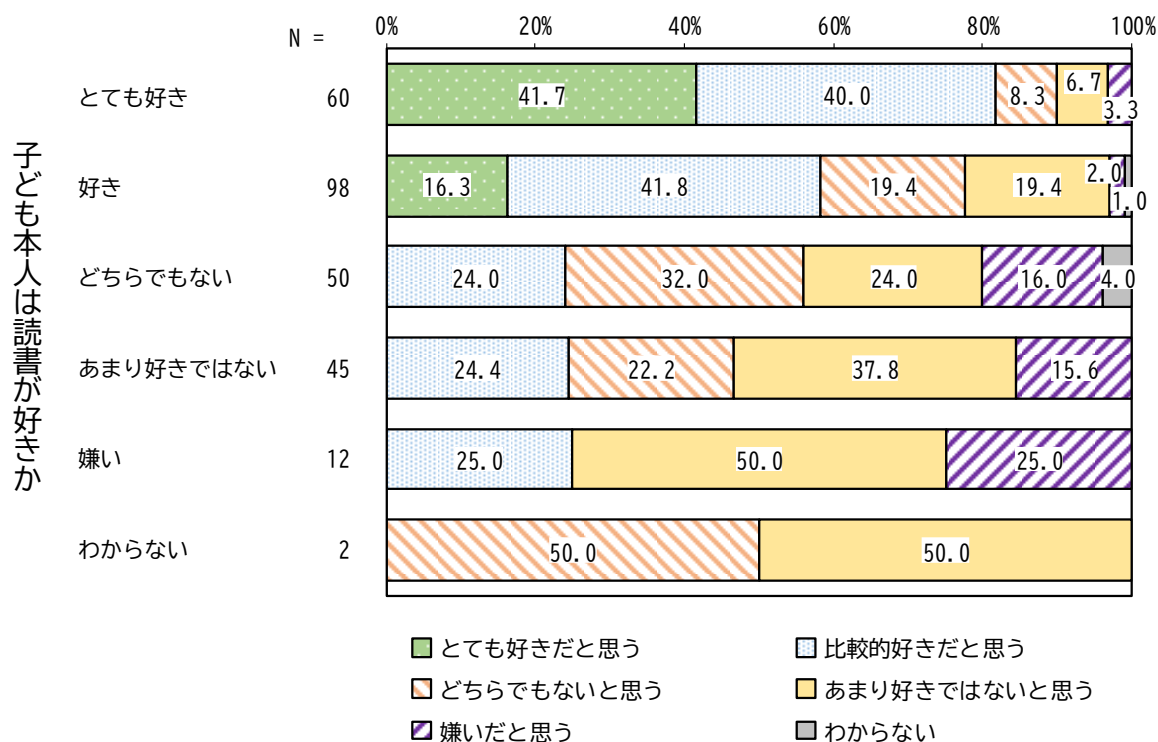
平成30年度調査と比較すると、「あまり好きではないと思う」の割合が増加しています。一方、「とても好きだと思う」「比較的好きだと思う」の割合が減少しています。



【小学生保護者 子ども本人は読書が好きか別】

子ども本人は読書が好きか別にみると、嫌いで「あまり好きではないと思う」の割合が高くなっています。

保護者は子どもが読書が好きだと思うか



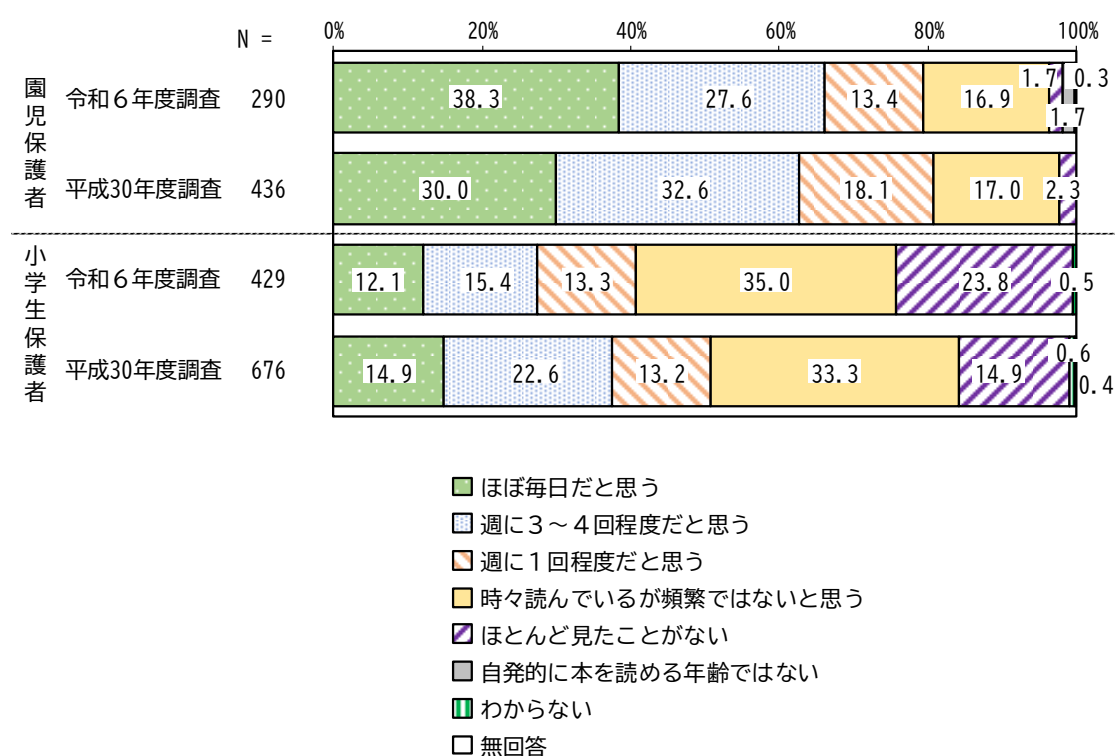
7 あなたのお子さんは、家庭でどの程度読書をしていますか。（1つを選んでください）
【園児保護者：問9 小学生保護者：問9】

園児保護者では、「ほぼ毎日だと思う」の割合が38.3%と最も高く、次いで「週に3～4回程度だと思う」の割合が27.6%、「時々読んでいるが頻繁ではないと思う」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎日だと思う」の割合が増加しています。一方、「週に3～4回程度だと思う」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「時々読んでいるが頻繁ではないと思う」の割合が35.0%と最も高く、次いで「ほとんど見たことがない」の割合が23.8%、「週に3～4回程度だと思う」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほとんど見たことがない」の割合が増加しています。一方、「週に3～4回程度だと思う」の割合が減少しています。



※園児保護者の前回調査は、集計方法の変更により「無回答」を除いて集計しています。

※園児保護者の前回調査では、「自発的に本を読める年齢ではない」の選択肢はありませんでした。

※小学生保護者調査では、「自発的に本を読める年齢ではない」の選択肢はありませんでした。

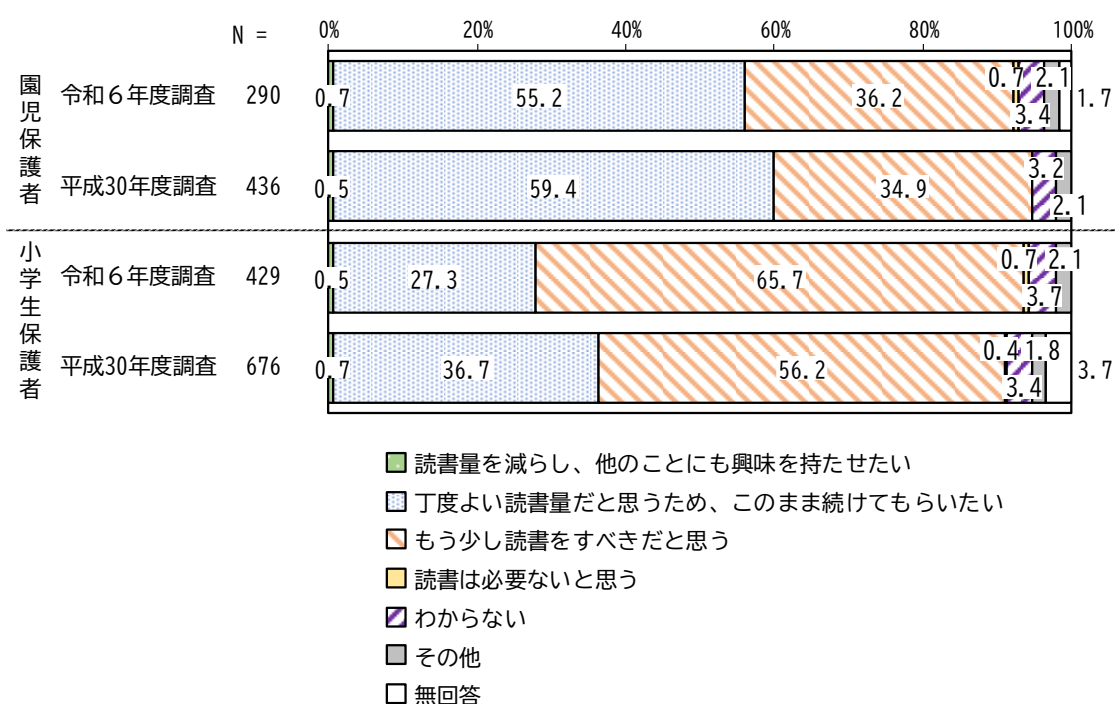
8 あなたのお子さんの、読書の状況について、どのようにお考えですか。
(1つを選んでください)【園児保護者：問10 小学生保護者：問10】

園児保護者では、「丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい」の割合が55.2%と最も高く、次いで「もう少し読書をすべきだと思う」の割合が36.2%、「わからない」の割合が3.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「もう少し読書をすべきだと思う」の割合が65.7%と最も高く、次いで「丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい」の割合が27.3%、「わからない」の割合が3.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「もう少し読書をすべきだと思う」の割合が増加しています。一方、「丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい」の割合が減少しています。

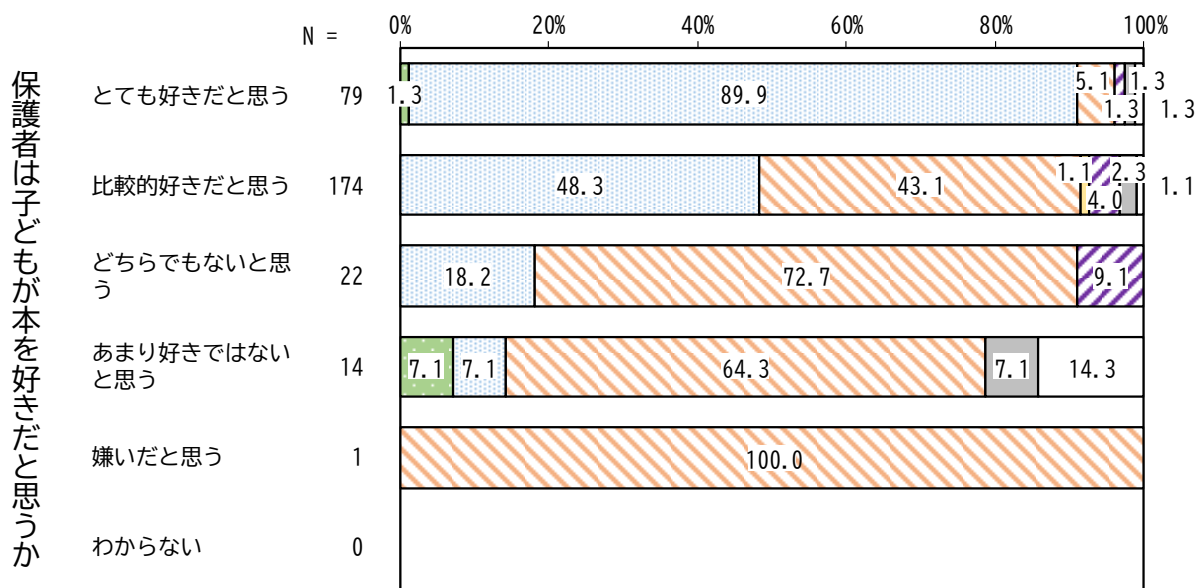


※園児保護者の前回調査は、集計方法の変更により「無回答」を除いて集計しています。

【園児保護者 子どもは本が好きだと思うか別】

子どもは本が好きだと思うか別にみると、とても好きだと思うで「丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい」の割合が高くなっています。

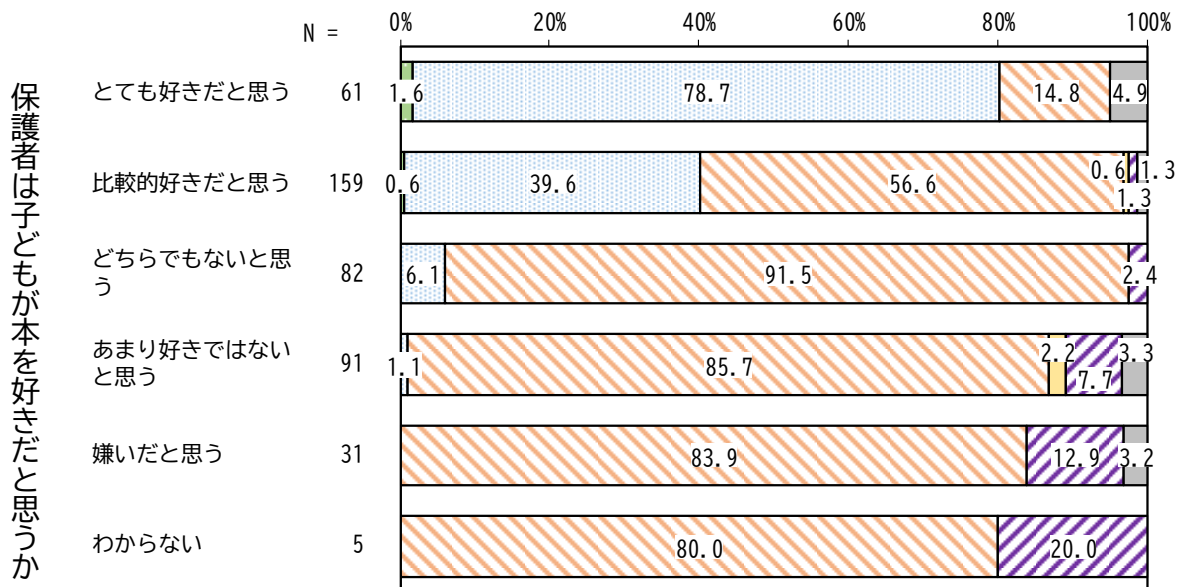
保護者は子ども読書の状況についてどう思うか



【小学生保護者 子どもは本が好きだと思うか別】

子どもは本が好きだと思うか別にみると、とても好きだと思うで「丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい」の割合が高くなっています。

保護者は子ども読書の状況についてどう思うか



- 読書量を減らし、他のことにも興味を持たせたい
- 丁度よい読書量だと思うため、このまま続けてもらいたい
- もう少し読書をすべきだと思う
- 読書は必要ないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

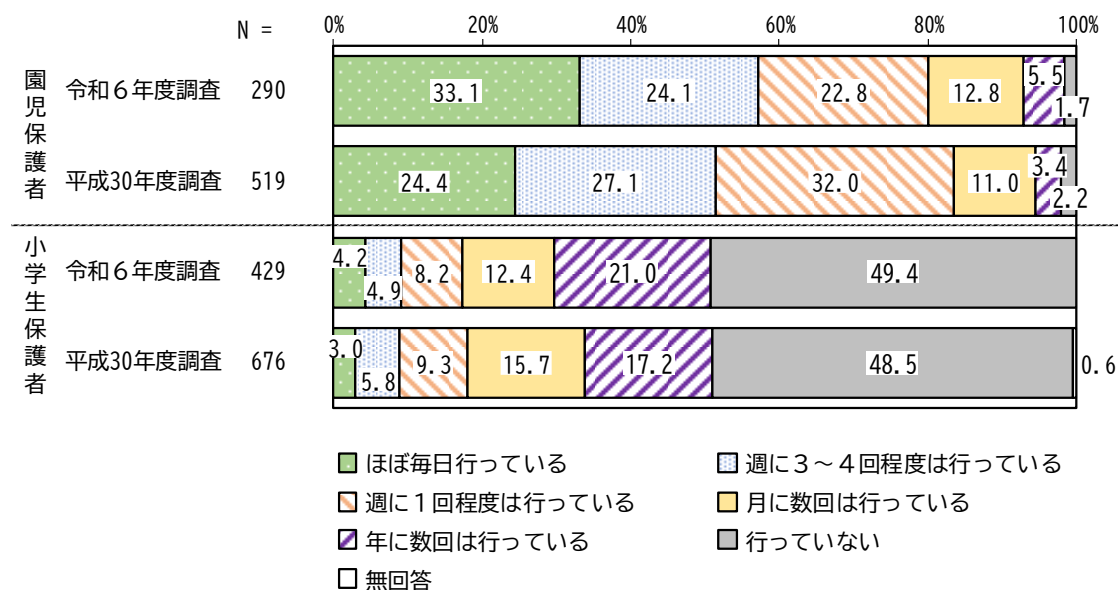
9 ご家庭で、お子さんに読み聞かせをしたり、お子さんと一緒に読書をしたりすることはありますか。（1つを選んでください）【園児保護者：問11 小学生保護者：問11】

園児保護者では、「ほぼ毎日行っている」の割合が33.1%と最も高く、次いで「週に3～4回程度は行っている」の割合が24.1%、「週に1回程度は行っている」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎日行っている」の割合が増加しています。

小学生保護者では、「行っていない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「年に数回は行っている」の割合が21.0%、「月に数回は行っている」の割合が12.4%となっています。

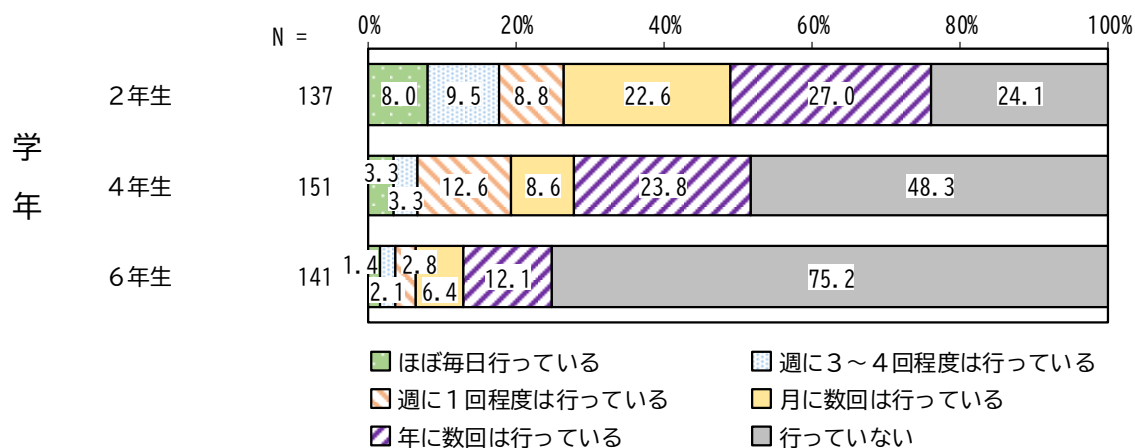
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【小学生保護者 学年別】

学年別にみると、6年生で「行っていない」の割合が高くなっています。

子どもに読み聞かせたり、一緒に読書をする頻度



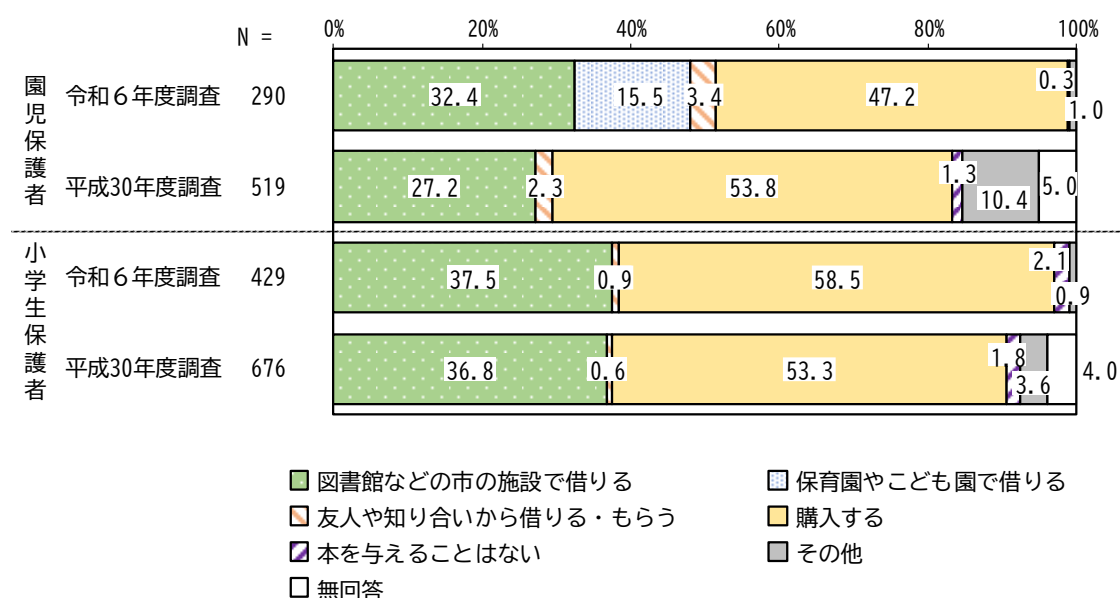
10 あなたのお子さんに、本を与える際、主に、どこでその本を入手しますか。
(1つを選んでください)【園児保護者：問12 小学生保護者：問12】

園児保護者では、「購入する」の割合が47.2%と最も高く、次いで「図書館などの市の施設で借りる」の割合が32.4%、「保育園やこども園で借りる」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「図書館などの市の施設で借りる」「保育園やこども園で借りる」の割合が増加しています。一方、「購入する」「その他」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「購入する」の割合が58.5%と最も高く、次いで「図書館などの市の施設で借りる」の割合が37.5%、「本を与えることはない」の割合が2.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「購入する」の割合が増加しています。



※園児保護者の前回調査では、「保育園やこども園で借りる」の選択肢はありませんでした。

※小学生保護者調査では、「保育園やこども園で借りる」の選択肢はありませんでした。

※小学生保護者の前回調査では、「友人や知り合いから借りる・もらう」の選択肢は「友人や知り合いから借りる」となっていました。

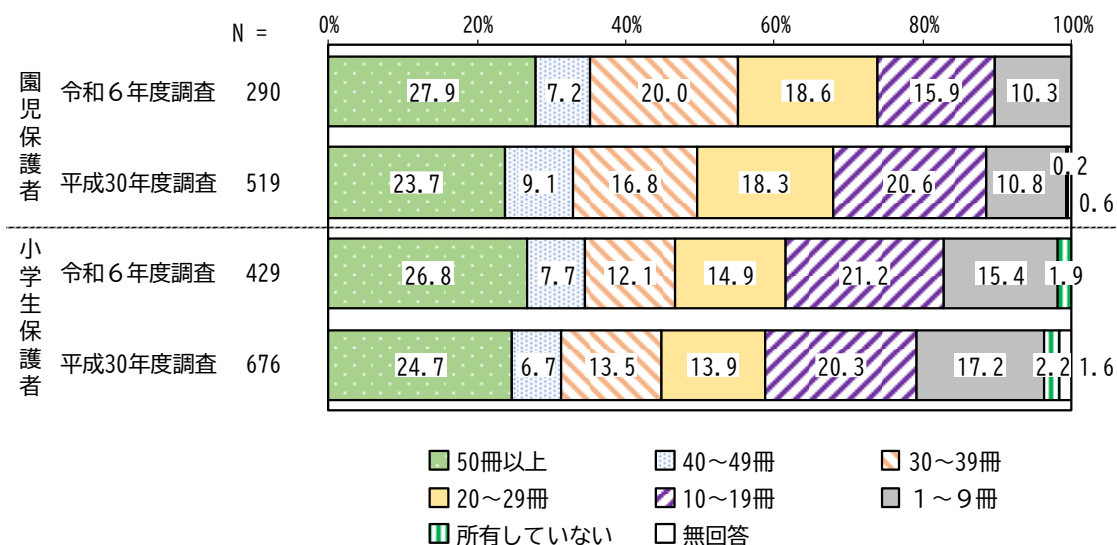
11 ご家庭で、子ども向けの本をどの程度所有されていますか。（1つを選んでください）
【園児保護者：問 13 小学生保護者：問 13】

園児保護者では、「50 冊以上」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「30～39 冊」の割合が 20.0%、「20～29 冊」の割合が 18.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

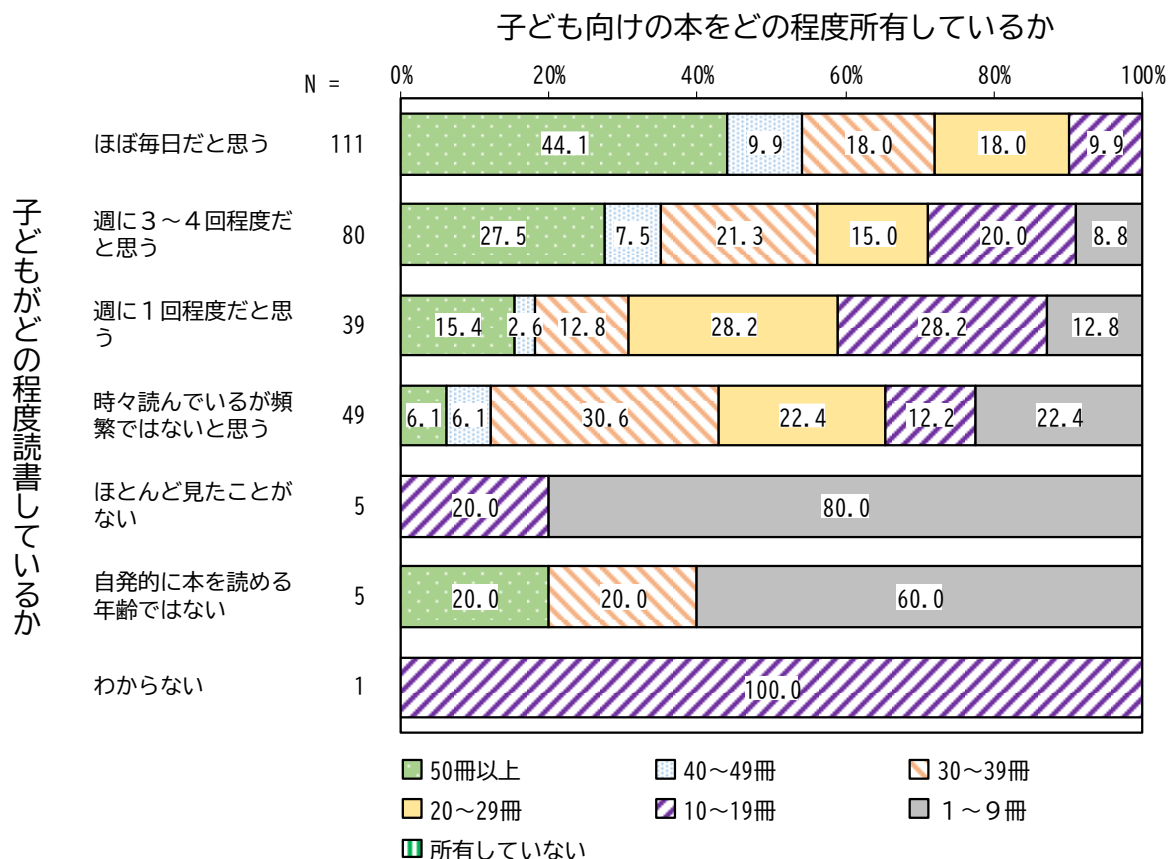
小学生保護者では、「50 冊以上」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「10～19 冊」の割合が 21.2%、「1～9 冊」の割合が 15.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



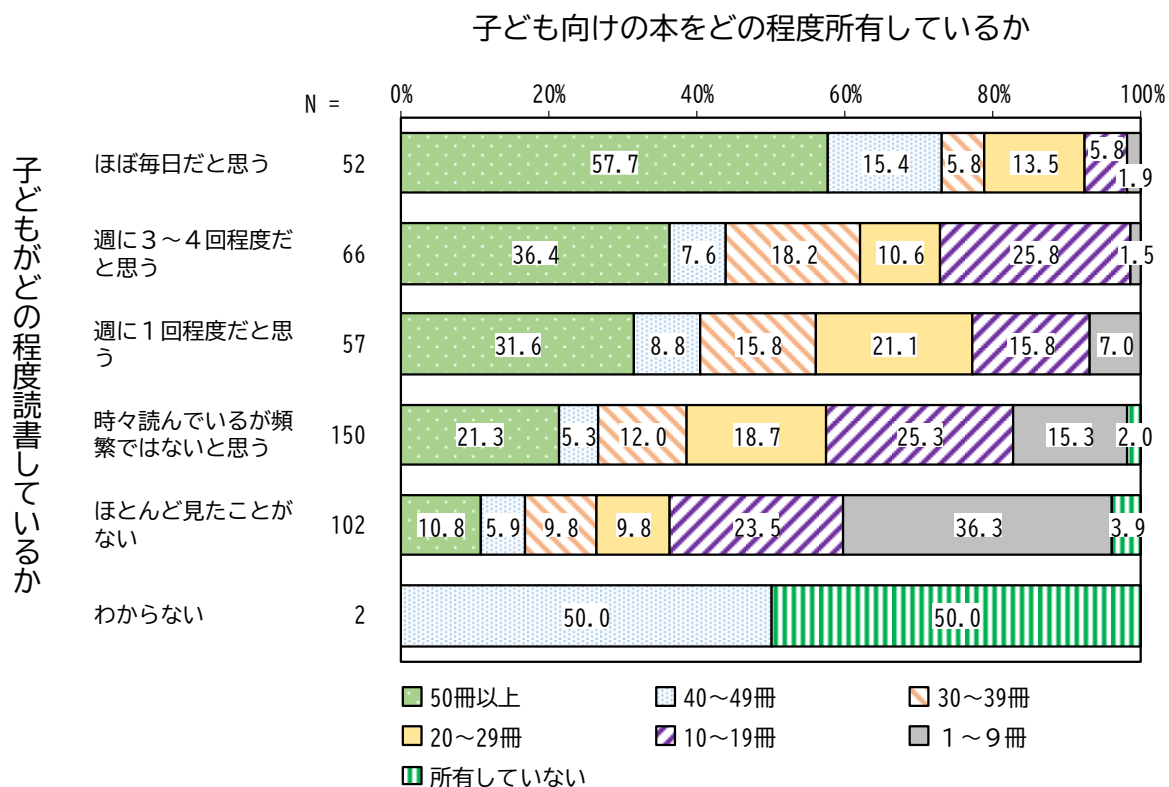
【園児保護者 子どもがどの程度読書しているか別】

子どもがどの程度読書しているか別にみると、ほぼ毎日だと思うで「50 冊以上」の割合が高くなっています。また、ほとんど見たことがないで「1～9冊」の割合が高くなっています。



【小学生保護者 子どもがどの程度読書しているか別】

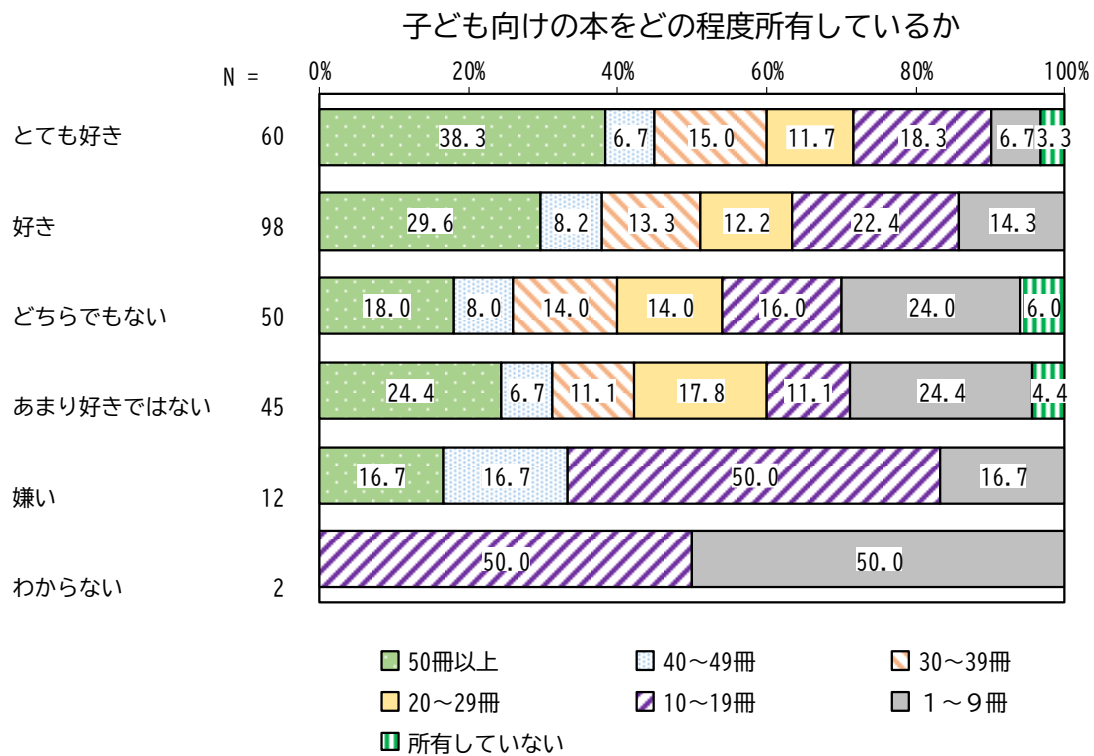
子どもがどの程度読書しているか別にみると、ほぼ毎日だと思うで「50 冊以上」の割合が高くなっています。また、ほとんど見たことがないで「1～9冊」の割合が高くなっています。



【小学生保護者 子ども本人は読書が好きか別】

子ども本人は読書が好きか別にみると、とても好きで「50 冊以上」の割合が高くなっています。一方、嫌いで「10～19 冊」の割合が高くなっています。

子ども本人は読書が好きか

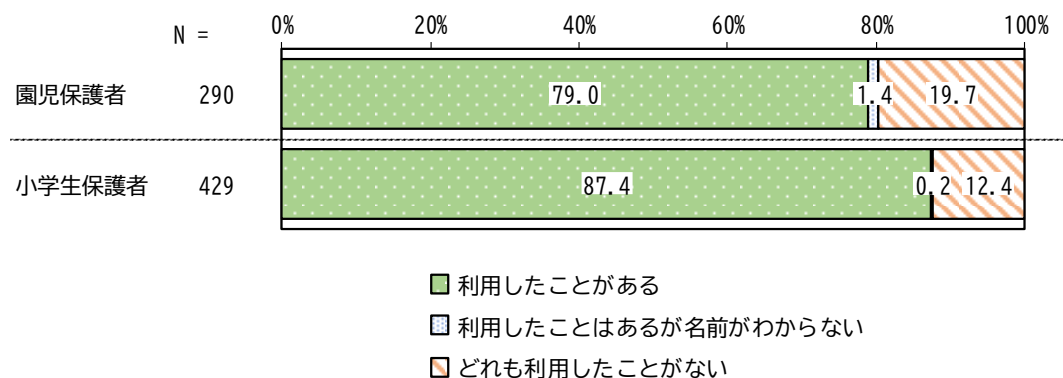


(3) 岡崎市の図書館などの利用について

12 あなたは、中央図書館（りぶら内）、市民センター図書室など、施設を利用したことがありますか。（1つを選んでください）【園児保護者：問 14 小学生保護者：問 14】

園児保護者では、「利用したことがある」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「どれも利用したことがない」の割合が 19.7%、「利用したことはあるが名前がわからない」の割合が 1.4%となっています。

小学生保護者では、「利用したことがある」の割合が 87.4%と最も高く、次いで「どれも利用したことがない」の割合が 12.4%、「利用したことはあるが名前がわからない」の割合が 0.2%となっています。



『問 14 で「利用したことがある」と答えたかたにお尋ねします』

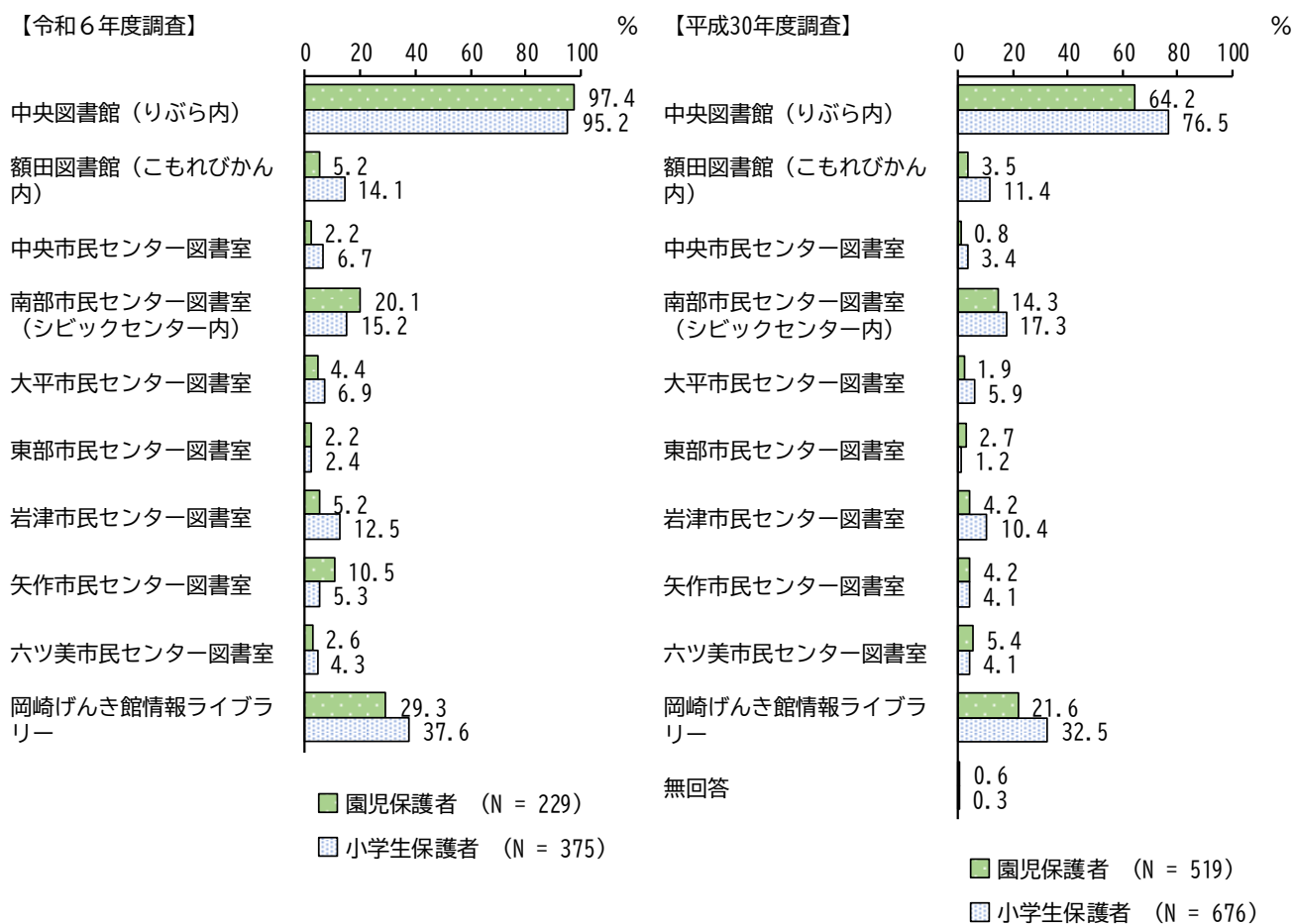
13 あなたが、利用したことがある施設はどれですか。
(あてはまるものすべてを選んでください)【園児保護者：問 15 小学生保護者：問 15】

園児保護者では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 97.4%と最も高く、次いで「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 29.3%、「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」の割合が 20.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」「矢作市民センター図書室」「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が増加しています。

小学生保護者では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 95.2%と最も高く、次いで「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 37.6%、「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」の割合が 15.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が増加しています。



『問 14 で「利用したことがある」と答えたかたにお尋ねします』

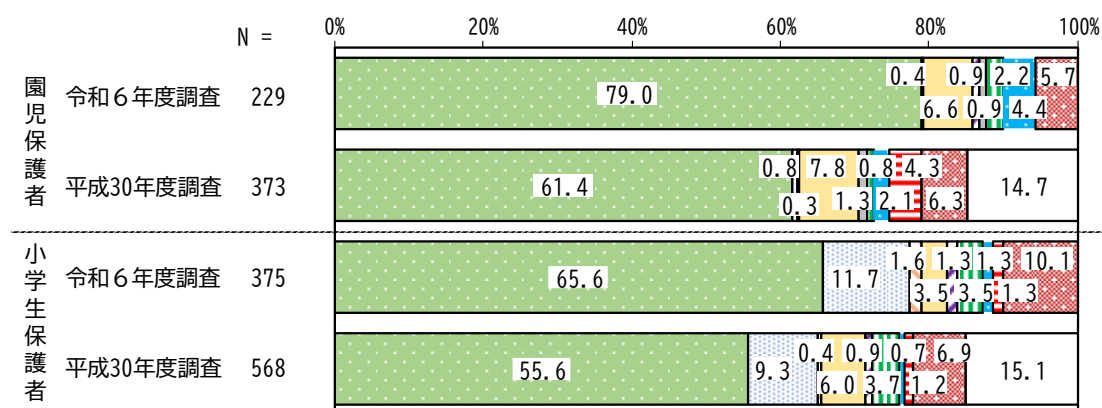
14 あなたが、最もよく利用する施設はどこですか。（1 つを選んでください）
 【園児保護者：問 16 小学生保護者：問 16】

園児保護者では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「南部市民センター図書室（シビックセンター内）」の割合が 6.6%、「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 5.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」の割合が増加しています。

小学生保護者では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「額田図書館（こもれびかん内）」の割合が 11.7%、「岡崎げんき館情報ライブラリー」の割合が 10.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」の割合が増加しています。



- 中央図書館（りぶら内）
- 額田図書館（こもれびかん内）
- 中央市民センター図書室
- 南部市民センター図書室（シビックセンター内）
- 大平市民センター図書室
- 東部市民センター図書室
- 岩津市民センター図書室
- 矢作市民センター図書室
- 六ツ美市民センター図書室
- 岡崎げんき館情報ライブラリー
- 無回答

『問 14 で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』

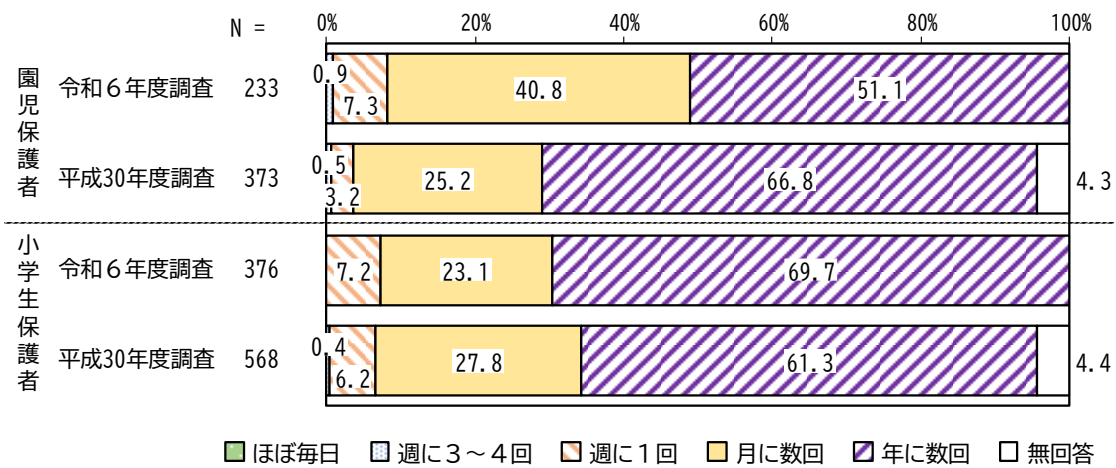
15 あなたは、図書館などを、どの程度利用していますか。（1つを選んでください）
【園児保護者：問 17 小学生保護者：問 17】

園児保護者では、「年に数回」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 40.8%、「週に 1 回」の割合が 7.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「月に数回」の割合が増加しています。一方、「年に数回」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「年に数回」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 23.1%、「週に 1 回」の割合が 7.2%となっています。

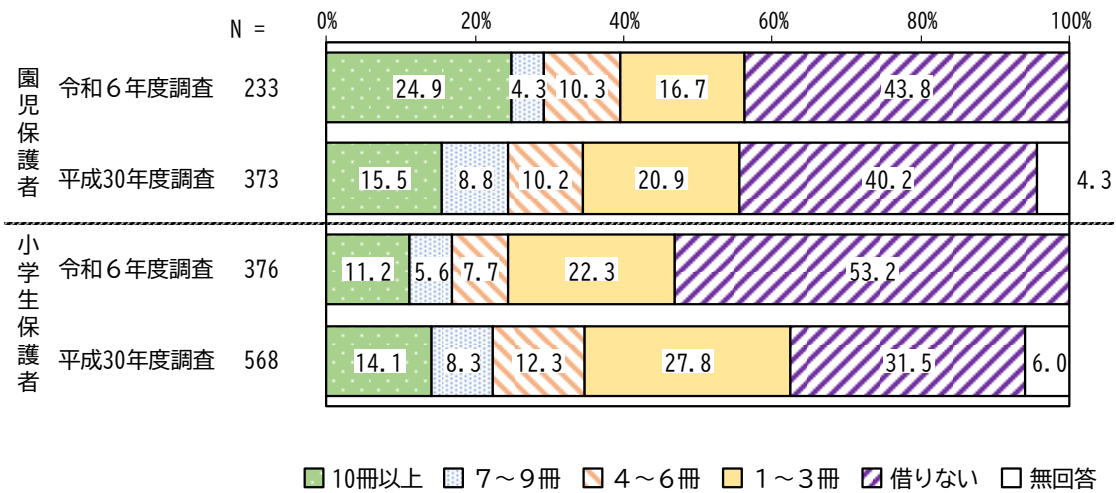
平成 30 年度調査と比較すると、「年に数回」の割合が増加しています。



『問 14 で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』

16 あなたは、図書館などから、1 か月に何冊程度の本を借りていますか。
(1 つを選んでください)【園児保護者：問 18 小学生保護者：問 18】

園児保護者では、「借りない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「10 冊以上」の割合が 24.9%、「1 ～ 3 冊」の割合が 16.7%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「10 冊以上」の割合が増加しています。
小学生保護者では、「借りない」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「1 ～ 3 冊」の割合が 22.3%、「10 冊以上」の割合が 11.2%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「借りない」の割合が増加しています。一方、「1 ～ 3 冊」の割合が減少しています。



『問 14 で「利用したことがある」「利用したことはあるが名前がわからない」と答えたかたにお尋ねします』

17 あなたが、図書館などを利用する目的は何ですか。

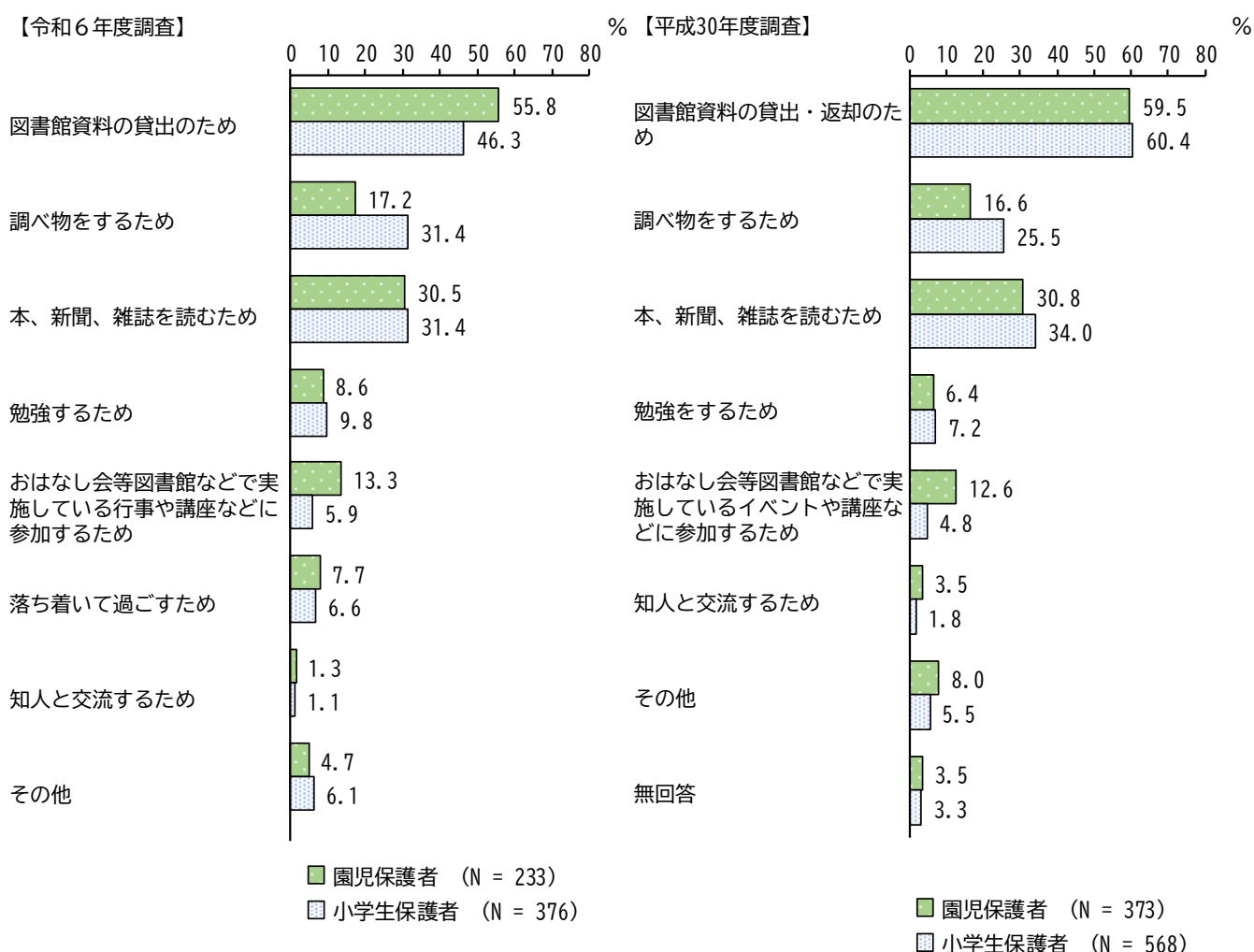
(あてはまるものすべてを選んでください)【園児保護者：問 19 小学生保護者：問 19】

園児保護者では、「図書館資料の貸出のため」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「本、新聞、雑誌を読むため」の割合が 30.5%、「調べ物をするため」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生保護者では、「図書館資料の貸出のため」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「調べ物をするため」、「本、新聞、雑誌を読むため」の割合が 31.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「調べ物をするため」の割合が増加しています。一方、「図書館資料の貸出のため」の割合が減少しています。



※前回調査では、「図書館資料の貸出のため」の選択肢は「図書館資料の貸出・返却のため」、「おはなし会等図書館などで実施している行事や講座などに参加するため」の選択肢は「おはなし会等図書館などで実施しているイベントや講座などに参加するため」となっていました。

※前回調査では、「落ち着いて過ごすため」の選択肢はありませんでした。

『問 14 で「どれも利用したことがない」と答えたかたにお尋ねします』

18 あなたが、図書館などを利用したことがない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてを選んでください)【園児保護者：問 20 小学生保護者：問 20】

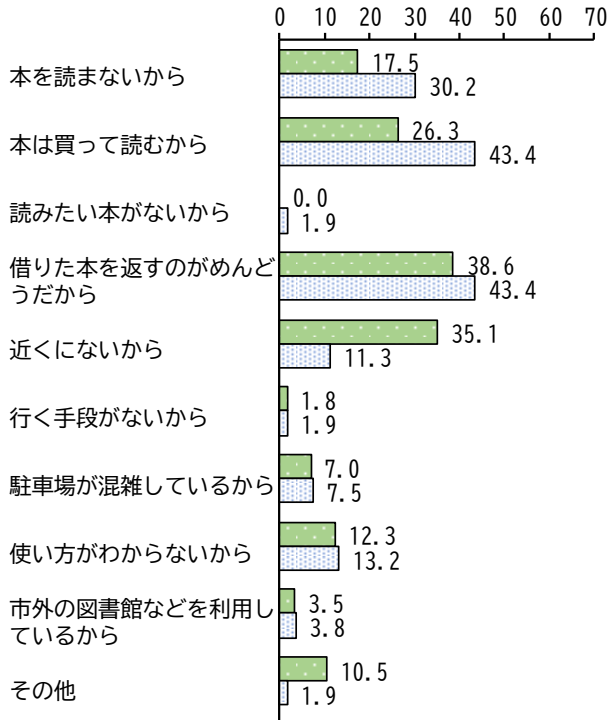
園児保護者では、「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「近くにないから」の割合が 35.1%、「本は買って読むから」の割合が 26.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「本を読まないから」「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が増加しています。一方、「市外の図書館などを利用しているから」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「本は買って読むから」、「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「本を読まないから」の割合が 30.2%となっています。

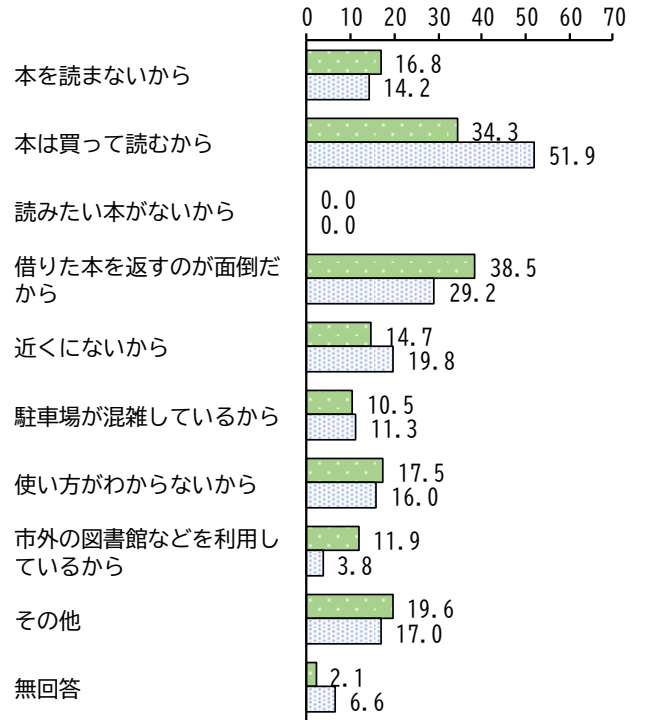
平成 30 年度調査と比較すると、「本を読まないから」「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が増加しています。一方、「本は買って読むから」「近くにないから」の割合が減少しています。

【令和 6 年度調査】



■ 園児保護者 (N = 57)
■ 小学生保護者 (N = 53)

% 【平成 30 年度調査】



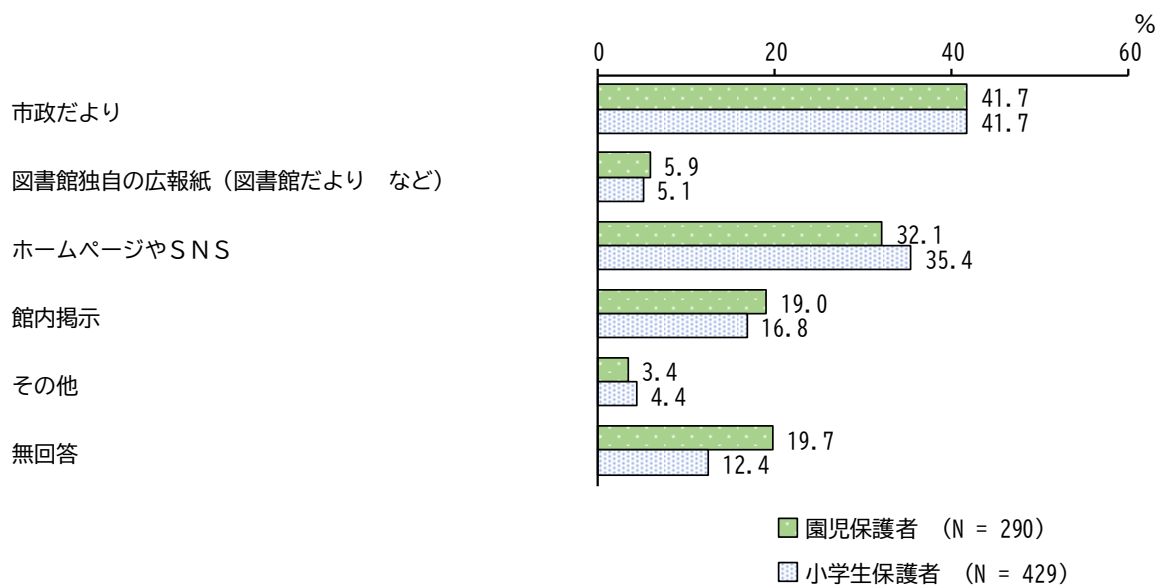
■ 園児保護者 (N = 143)
■ 小学生保護者 (N = 106)

※前回調査では、「行く手段がないから」の選択肢はありませんでした。

19 あなたは、図書館に関する情報をどこから入手していますか。
 (あてはまるものすべてを選んでください)【園児保護者：問 21 小学生保護者：問 21】
 ※今年度調査からの新規設問

園児保護者では、「市政だより」の割合が41.7%と最も高く、次いで「ホームページやSNS」の割合が32.1%、「館内掲示」の割合が19.0%となっています。

小学生保護者では、「市政だより」の割合が41.7%と最も高く、次いで「ホームページやSNS」の割合が35.4%、「館内掲示」の割合が16.8%となっています。



20 岡崎市では、おはなし会などを様々な場所で開催していますが、聞く側として参加したことがある場所をお答えください。(あてはまるものすべてを選んでください)
【園児保護者：問 22 小学生保護者：問 22】

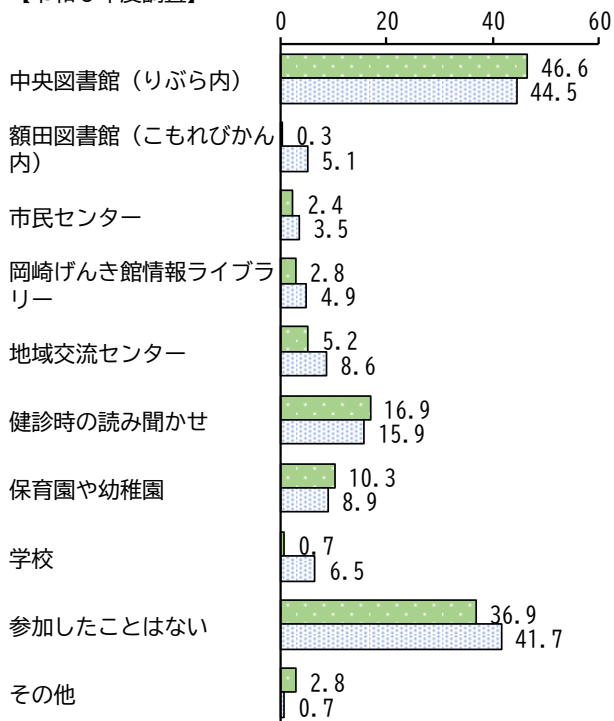
園児保護者では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が 36.9%、「健診時の読み聞かせ」の割合が 16.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」の割合が増加しています。一方、「地域交流センター」「健診時の読み聞かせ」「保育園や幼稚園」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「中央図書館（りぶら内）」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が 41.7%、「健診時の読み聞かせ」の割合が 15.9%となっています。

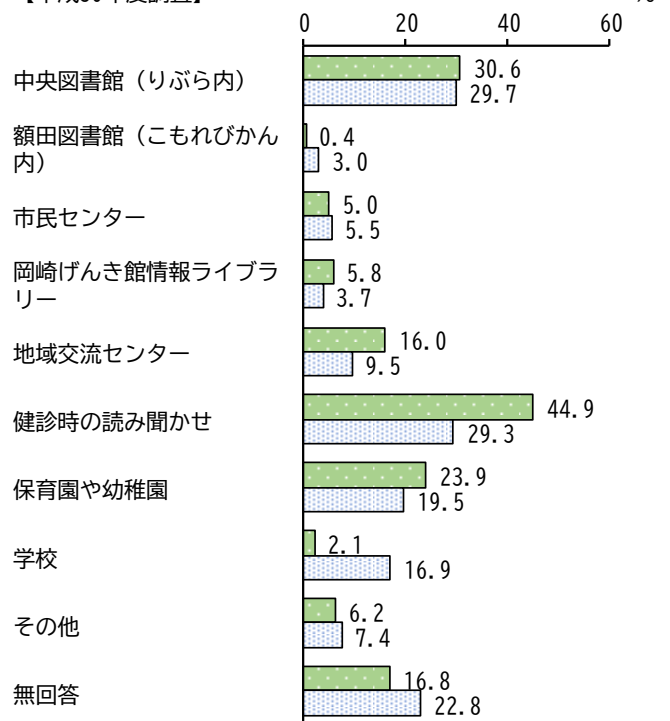
平成 30 年度調査と比較すると、「中央図書館（りぶら内）」の割合が増加しています。一方、「健診時の読み聞かせ」「保育園や幼稚園」「学校」の割合が減少しています。

【令和 6 年度調査】



■ 園児保護者 (N = 290)
■ 小学生保護者 (N = 429)

【平成30年度調査】



■ 園児保護者 (N = 519)
■ 小学生保護者 (N = 676)

※前回調査では、「保育園や幼稚園」の選択肢は「保育園、幼稚園、こども園」となっていました。
※前回調査では、「参加したことはない」の選択肢はありませんでした。

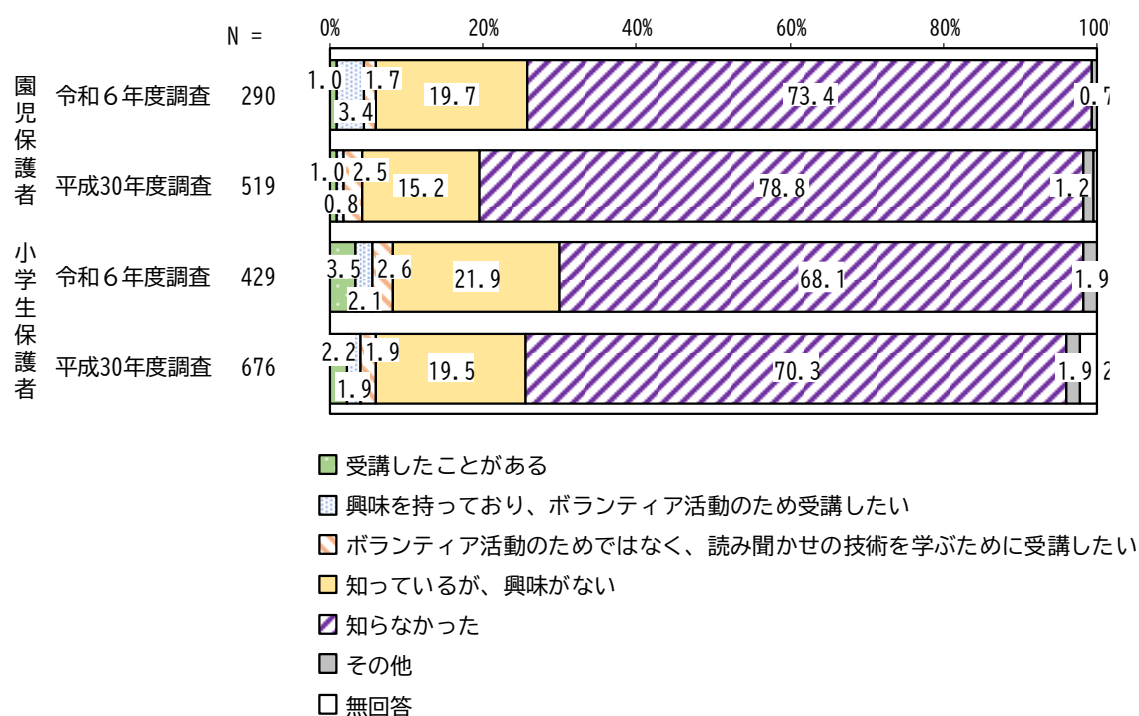
21 図書館では、読み聞かせボランティアのための養成講座を実施していますが、ご存知ですか。
（1つを選んでください）【園児保護者：問 23 小学生保護者：問 23】

園児保護者では、「知らなかった」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「知っているが、興味がない」の割合が 19.7%、「興味を持っており、ボランティア活動のため受講したい」の割合が 3.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知らなかった」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「知らなかった」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「知っているが、興味がない」の割合が 21.9%、「受講したことがある」の割合が 3.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) 子どもの読書活動や読書に対する考え方などについて

22 あなたは、下のア～キについて、紙の本と電子書籍のどちらがより当てはまると思いますか。
 (それぞれ1つ選んでください)【園児保護者：問 24 小学生保護者：問 24】
 ※今年度調査からの新規設問

園児保護者では、『イ. 情報量が豊富』で「電子書籍」割合が、『ウ. 文字を目で追いやすい』『キ. 子どもに与えたい』で「紙の本」の割合が高くなっています。

小学生保護者では、『イ. 情報量が豊富』で「どちらも同じ」の割合が、『ウ. 文字を目で追いやすい』『エ. 読み返しやすいい』『キ. 子どもに与えたい』で「紙の本」の割合が高くなっています。

【園児保護者】

回答者数 = 290

ア. 内容を理解しやすい

イ. 情報量が豊富

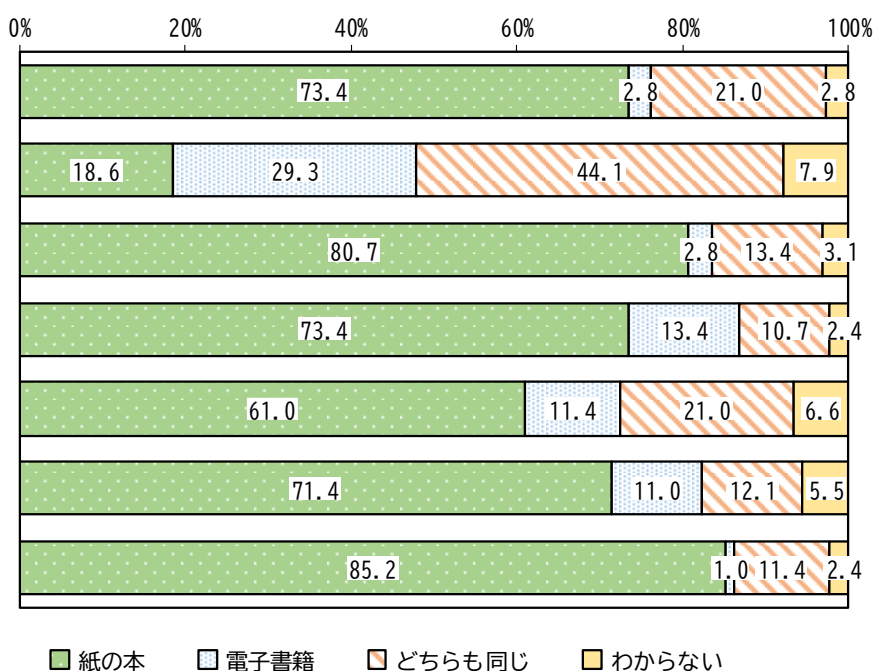
ウ. 文字を目で追いやすい

エ. 読み返しやすいい

オ. 物語や小説が読みやすい

カ. 図鑑や辞典・事典が読みやすい

キ. 子どもに与えたい



【小学生保護者】

回答者数 = 429

ア. 内容を理解しやすい

イ. 情報量が豊富

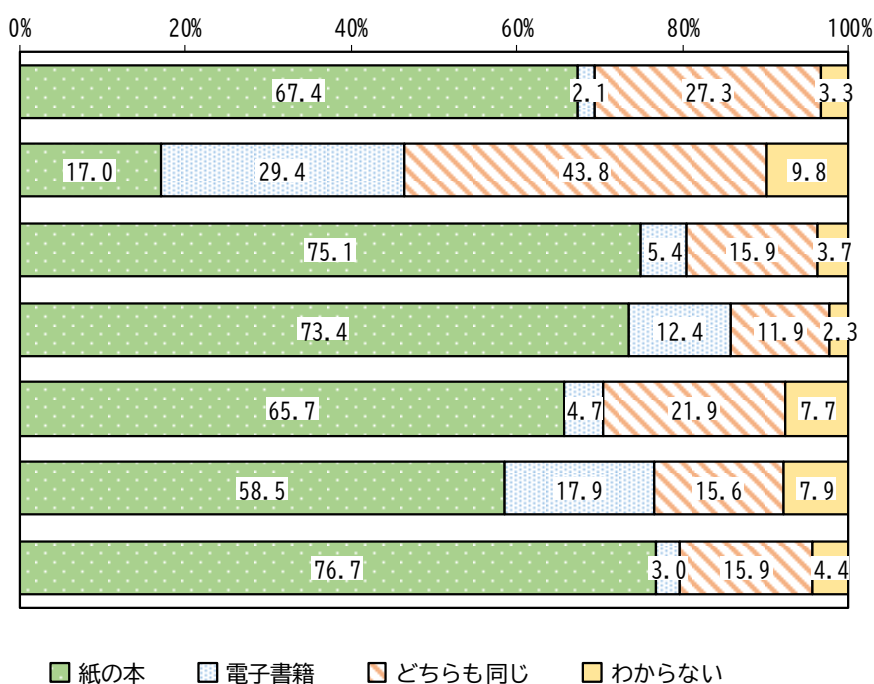
ウ. 文字を目で追いやすい

エ. 読み返しやすいい

オ. 物語や小説が読みやすい

カ. 図鑑や辞典・事典が読みやすい

キ. 子どもに与えたい



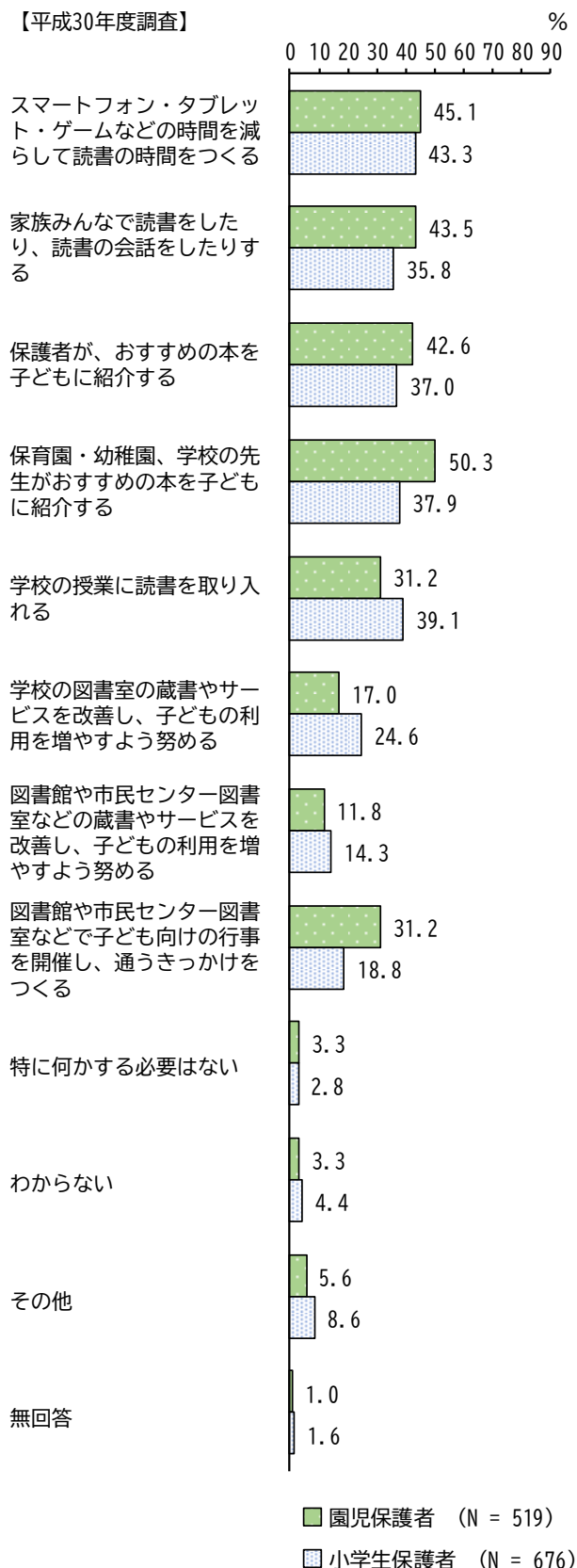
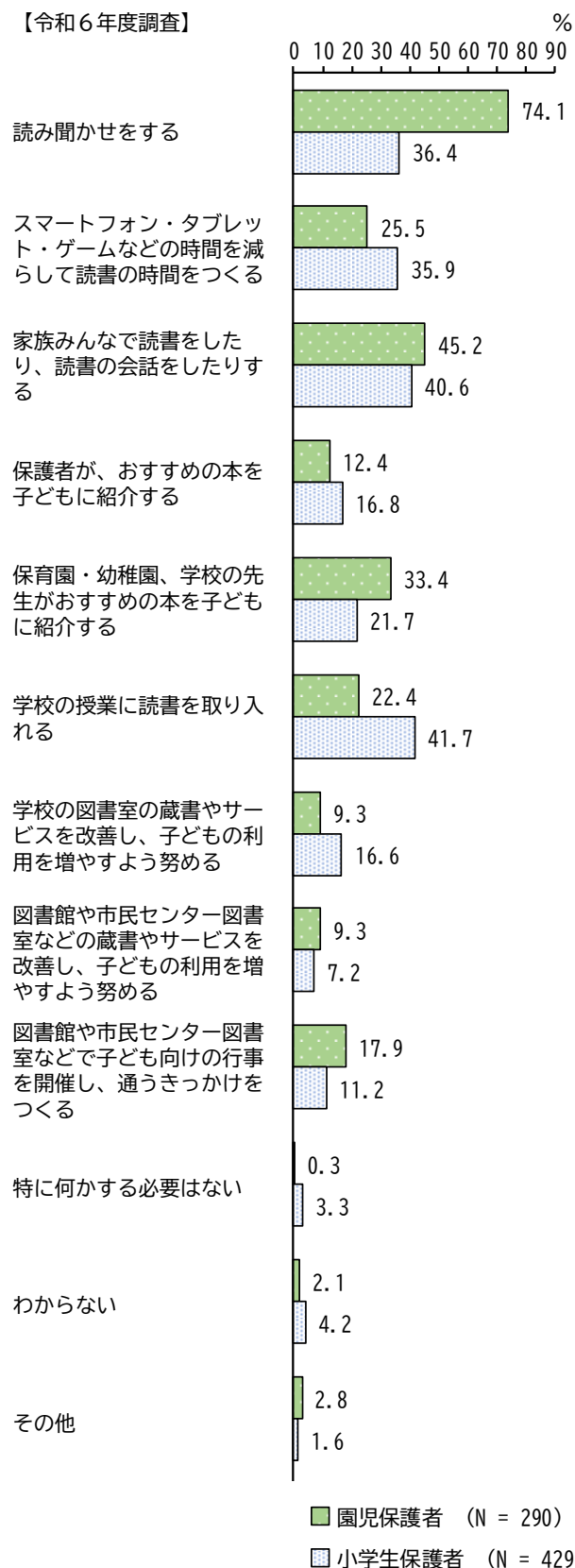
- 23 あなたは、子どもの読書活動を活発化させる（読書好きにさせる、読書を習慣づけるなど）ために、学校等、地域、家庭でどのような取り組みが必要だと考えますか。
（3つまで選んでください）【園児保護者：問 25 小学生保護者：問 25】

園児保護者では、「読み聞かせをする」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「家族みんなで読書をしたり、読書の会話をしたりする」の割合が 45.2%、「保育園・幼稚園、学校の先生がおすすめの本を子どもに紹介する」の割合が 33.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「スマートフォン・タブレット・ゲームなどの時間を減らして読書の時間をつくる」「保護者が、おすすめの本を子どもに紹介する」「保育園・幼稚園、学校の先生がおすすめの本を子どもに紹介する」「学校の授業に読書を取り入れる」「学校の図書室の蔵書やサービスを改善し、子どもの利用を増やすよう努める」「図書館や市民センター図書室などで子ども向けの行事を開催し、通うきっかけをつくる」の割合が減少しています。

小学生保護者では、「学校の授業に読書を取り入れる」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「家族みんなで読書をしたり、読書の会話をしたりする」の割合が 40.6%、「読み聞かせをする」の割合が 36.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「スマートフォン・タブレット・ゲームなどの時間を減らして読書の時間をつくる」「保護者が、おすすめの本を子どもに紹介する」「保育園・幼稚園、学校の先生がおすすめの本を子どもに紹介する」「学校の図書室の蔵書やサービスを改善し、子どもの利用を増やすよう努める」「図書館や市民センター図書室などの蔵書やサービスを改善し、子どもの利用を増やすよう努める」「図書館や市民センター図書室などで子ども向けの行事を開催し、通うきっかけをつくる」「その他」の割合が減少しています。



※前回調査では、「読み聞かせをする」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「保護者が、おすすめの本を子どもに紹介する」の選択肢は「保護者が、ためになる本や面白い本を子どもに積極的に紹介する」、「保育園・幼稚園、学校の先生がおすすめの本を子どもに紹介する」の選択肢は「保育園、幼稚園、こども園、学校の先生がためになる本や面白い本を子どもに積極的に紹介する」となっていました。

Ⅲ 調査結果を踏まえた課題等

(1) 小学生・中学生・高校生

① 子どもの読書活動について

○特に小学生、中学生において、本を読むことが好きの割合が減少、不読率※が上昇しています。

「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要」（文部科学省令和 5 年 3 月 28 日発表）で指摘されているのと同様に、新型コロナウイルスの発生を受け実施された臨時休業等により、学校図書館へのアクセスが一定期間制限されたり、図書館においても、臨時休館や開館時間の短縮、入館人数の制限等を余儀なくされたことなどから、子どもが読書活動をする機会が減少し、“本を読むことが好き”の割合の減少、不読率の上昇につながったことも考えられます。

○不読率は年齢が上がるにつれ上昇しており、児童期に身に付けた読書習慣が年齢を重ねるごとに定着していない現状がうかがえ、図書館をはじめ家庭、地域、学校における発達段階に応じた効果的な取組が必要です。

○中学生以下では、スマートフォン（携帯電話）やタブレットの使用時間が長い人は本を読んでいる傾向となっており、家庭等におけるスマートフォンやタブレットの使用状況と読書活動との関連性について考えていく必要があります。

※ 不読率・・・1 か月に本を 1 冊も読まない子どもの割合

② 多様な読書の方法

○紙媒体による読書が多いものの、電子書籍を読んでいる割合も 2 割を超えており、紙と電子、ハイブリッド型読書への対応が必要です。

○電子書籍について、小学生では、「文字が読みやすい」、中学生、高校生では「情報量が豊富」での割合が高く、探求的な学習活動などにおける情報読書において、より活用が見込まれます。

○子どもの年齢によって、関心のある本のジャンルは異なっており、子どものニーズを踏まえた蔵書の充実が求められます。

③ 読書をするきっかけづくり

○読書のきっかけとして、幼少期に家で本に接する機会が多いことにより読書をするきっかけにつながっている状況もうかがえます。しかし、「家で本を読んでもらったから」は減少しており、幼少期から家庭において、本と触れ合える環境づくりが重要です。

○本を読まない理由として、本を読むのはつまらないといった読書に対して関心や興味がない人もいます。また、身近に読みたい本がないといった理由もあげられており、興味、関心を高められるよう、情報発信をしていく必要があります。

④ 家庭における読書の環境

○本を好きな子どもの家庭では、その家族も本を読んでおり、「家読（うちどく）※」など家庭における読書活動を推進することが重要です。

※ 家読…家族や身近な人と本を読んで感想を話し合い、読書習慣を共有することでコミュニケーションを深める取組

⑤ 図書館や図書室の利用促進

○知りたいことや分からないことをインターネットで調べることが多くなっていますが、図書館や図書室の利用を促進し、情報の正確性や信頼性を見極めるスキルの向上とともに子どもが質の高い情報源を活用できるよう支援する必要があります。

○小学生、中学生は本を借りたり、読んだりする目的で学校図書館を利用している一方で、高校生は勉強する場として活用している状況がうかがえます。また、小学生では、友達や図書室の先生と交流するための割合も増加するなど、年齢層の学校図書館に対するニーズは様々です。利用を増やすためには、イベントの開催や落ち着ける場所であることなどといった意見も多く、子どもの居場所としてのニーズが高まっています。

○小学生、中学生では、読みたい本がないことを理由に学校図書館を利用していない状況であり、また全体で占める割合は低い小学生、中学生、高校生で、「使い方がわからない」割合も増加しています。子どもたちのニーズに応じた蔵書の充実と学校図書館の利用方法を周知する機会の確保が学校図書館の利用を促進するためには重要です。

○図書館や市民センター図書室などを利用する目的は、年齢が下がるにつれ、「本を読むため」の割合が高く、年齢が上がるにつれ「勉強をするため」の割合が高く、本を借りている頻度も低くなっており、年齢に応じた効果的な取組が必要です。

○図書館や市民センター図書室をより利用してもらうために必要なこととして、全ての学年で、「まんがや雑誌を置くこと」の割合が高くなっており、子どもの読書活動推進のひとつのニーズとしてとらえ、読書へのきっかけとして蔵書を検討していく必要があります。

また、「落ち着ける場所であること」「勉強できる場所を増やすこと」「友達と話したり、グループ学習ができる場所があること」なども上位となっており、子どもの居場所としての活用が期待されています。

⑥ 読書活動に関する周知・啓発

○中央図書館・額田図書館のティーンズコーナーを知らない割合は6割を超え、ティーンズ向け図書館情報紙「図書缶」についても中学生では知らない割合は約5割となっており、ティーンズコーナー、ティーンズ向け図書館情報紙「図書缶」の周知が必要です。

⑦ 今後の読書活動に向けて

- コロナ禍による読み聞かせや様々な取組の中断、図書館利用の制限など、本へのアクセスがしにくい状況は、少なからず子どもの読書活動に影響を及ぼしており、子どもが本に親しむための環境づくりに向けて、切れ目なく継続できる取組を検討する必要があります。
- 小学生、中学生では「学校の図書室の本を増やすこと」の割合が高くなっており、蔵書の充実が求められています。また、「学校の授業で読書をする時間をとること」の割合も高く、学校と連携し、子どもの読書活動を推進する必要があります。

(2) 保護者

① 子どもの読書活動に向けた保護者への啓発等について

- 保護者が読書を好きではない、嫌いと回答した子どもは、同様に読書があまり好きでない、嫌いという傾向となっており、子どもだけでなく保護者への読書の大切さに関する啓発や家読などの家庭における読書活動を推進する必要があります。
- 園児保護者において週1回以上読書する割合が、平成30年度調査と比較し増加している、紙の本との併用を合わせ電子書籍を利用している割合が園児保護者、小学生保護者ともに3割となっていることから、スマートフォン等の普及が、電子書籍を身近なものにし、幼児期の保護者においても読書をする機会の一因となっていることが考えられます。

② 学校、園、家庭と連携した読書活動

- 園児保護者に比べ、小学生保護者で子どもの読書の頻度が少なく、また、今後もう少し読書すべきと考えている割合が高くなっています。幼児期においては、読書が好き、読書を3～4日以上している割合が高いものの、小学生になるとその割合は減少しており、幼児期の身に付いた読書への意識や行動が、年齢があがっても継続できるよう学校や家庭と連携した読書活動が重要です。
- 園児保護者、小学生保護者ともに、子どもが読書をほぼ毎日している家庭では、子ども向け本の所有冊数が多いという傾向が見られ、身近に本を読める環境づくりが重要です。

③ 図書館の利用促進

○園児保護者では図書館、保育園や子ども園などが約5割となっており、図書館等を活用していることがうかがわれ、蔵書の充実が求められます。

○子どもの年齢によって、借りる冊数、利用する目的が異なっており、幼児期は多くの冊数を借りています。

また、図書館などを利用しない理由として、「本は買って読むから」「借りた本を返すのがめんどうだから」の割合が高く、図書館を市民がより利用しやすい仕組みづくりの検討が必要です。

○図書館に関する情報の入手方法については市政だよりだけでなく、ホームページやSNSなども高くなっており、多様な媒体での情報発信が必要です。館内掲示も一定数おり、再度、来館してもらえよう、館内掲示の内容や方法への工夫も必要です。

④ 読書活動に関する周知・啓発

○園児保護者、小学生保護者とも中央図書館でのおはなし会や読み聞かせ会の参加が多く、より多くの人に参加してもらうため、様々な場や手段により情報を発信し、周知を図っていくことが必要です。

平成30年度調査と比較し、「健診時の読み聞かせ」が大きく減少しているのは、コロナ禍では乳幼児健診における読み聞かせの実施を控えていたことが要因と考えられます。

○平成30年度調査に比べ、読み聞かせボランティアのための養成講座を知らなかった割合は減少しているものの、依然として高い状況であり、引き続き、周知を図っていくことが必要です。

⑤ 今後の読書活動に向けて

○読み聞かせや学校での授業に読書を取り入れるなど、子どもの年齢によって必要だと思われる取組が変わっています。また、家族で読書についての話をすることについては、園児保護者、小学生保護者でも高くなっており、園、学校と連携し読書活動を推進するとともに、家読など家庭における読書の大切さをさらに周知していく必要があります。

また、「保護者が、おすすめの本を子どもに紹介する」の割合が減少しており、保護者が読書について関心を高められるよう取組を行う必要があります。